

「子どもの居場所作り」アンケート結果

# 子どもの居場所づくりの取組への 父親の参加意識等のアンケート

文部科学省「放課後子どもプラン」推進事業

平成20年3月

# 「子どもの居場所作り」アンケート結果

## 目次

I. 調査の概要	1
II. 質問と回答	4
III. 調査結果の分析	9
1 子どもたちの育成活動への参加・不参加の状況	9
2-1 参加している人の活動分野	12
2-2 活動の拠点	16
2-3 活動の時間帯	19
2-4 活動の頻度	23
2-5 参加のきっかけ	27
2-6 参加者の活動形態	31
2-7 団体活動の成果	35
2-8 団体活動上の課題	39
3-1 参加しやすい活動の形態	44
3-2 参加したい活動の分野	49
3-3 活動への参加にあたって必要なこと	53
3-3 活動への参加にあたって必要なこと	53
4-1 「放課後子どもプラン」の認知度	58
4-2 「放課後子どもプラン」への参加意向	61
4-3 「放課後子どもプラン」のことを知りたいか	64
IV. 付言「放課後子どもプラン」推進のために	67

## I. 調査の概要

### 1 調査の目的

父親など地域の大人の放課後対策への参加の実態と阻害要因、参加促進への条件などを調査、把握することにより、放課後における子どもの安全、安心な活動を支援し、健全な育成を図る取組みを推進するための基礎的な参考資料とする。

### 2 調査の内容

- (1) 子どもたちの育成活動への参加状況
- (2) 参加者の活動内容及び不参加者が参加しやすい活動内容
- (3) 参加者の活動の拠点
- (4) 参加者の活動の時間帯
- (5) 参加するようになったきっかけ
- (6) 参加者の活動形態及び不参加者が参加しやすい活動形態
- (7) 参加者の活動の成果
- (8) 参加者の団体活動上の課題及び不参加者の参加条件
- (9) 「放課後子どもプラン」の認知度

### 3 調査の設計

調査機関 おやじ日本

調査地域 全国各地域

調査対象 本調査に賛同する者

調査方法 集合調査、電子調査

(説明) おやじ日本及びその友好団体の会員が居住地域の会合や職域などで調査票を配付し、またホームページで調査票を公開し、本調査への賛同者が調査票に随意に記入する方法によった。

調査票 後掲「使用した調査票」参照

調査期間 平成19年9月30日～12月29日

### 4 回収結果

回収数 1,266件

なお、回収率は調査対象数を前提としていないため算出しない。

## 「子どもの居場所作り」アンケート結果

### 5 調査回答者の属性

#### 性別

男性	861人	( 68. 0%)
女性	378人	( 29. 9%)
無回答	27人	( 2. 1%)
総数	1,266人	

#### 年齢層別

10歳代	15人	( 1. 2%)
20歳代	58人	( 4. 6%)
30歳代	224人	( 17. 7%)
40歳代	617人	( 48. 7%)
50歳代	245人	( 19. 4%)
60歳代以上	81人	( 6. 4%)
無回答	19人	( 1. 5%)
総数	1,266人	

#### 仕事別

勤務	954人	( 75. 4%)
自営	152人	( 12. 2%)
就学	26人	( 2. 1%)
無職	99人	( 7. 8%)
無回答	35人	( 2. 8%)
総数	1,266人	

#### 子ども別（複数項目の重複該当者を含む）

幼児	189人	( 14. 9%)
小学生	447人	( 35. 3%)
中学生	339人	( 26. 8%)
高校生	288人	( 22. 7%)
子どもなし	163人	( 12. 9%)
過去に育児歴あり	192人	( 15. 2%)
総数	1,266人	

#### 地域別

愛知県	59人	(4. 7%)
秋田県	11人	(8. 7%)
愛媛県	149人	(11. 8%)
茨城県	7人	(5. 5%)
大阪府	11人	(8. 7%)

## 「子どもの居場所作り」アンケート結果

香川県	1人 (0.08%)
神奈川県	27人 (2.1%)
埼玉県	79人 (6.2%)
千葉県	85人 (6.7%)
東京都	664人 (52.4%)
兵庫県	1人 (0.08%)
広島県	147人 (11.6%)
宮城県	1人 (0.08%)
無回答	25人 (2.0%)
総数	1,266人

### 6 注意事項

- (1) 比率は百分率（小数点以下第2位を四捨五入。このため合計が100%にならない項目がある）で表示した。
- (2) 基数（実数）は n として表示し、各項目の比率は当該件数を100%として算出した。
- (3) クロス集計では分析軸の「その他」「無回答」は表示していない。このため n の合計数と総数が一致しない項目がある。
- (4) クロス集計の n が小さい（十分といえない）場合は統計的誤差を生じる可能性がある。

## Ⅱ. 質問と回答

問1 あなたは、お住まいの地域で、放課後や休日などの時間に、子どもたちの育成活動に参加していますか。 N=1,266

- a. はい 40.2% (509人)
- b. いいえ 59.2% (750人)
- 無回答 0.6% (7人)

問2 問1で「a. はい」と答えた方に伺います。

1) どのような活動ですか。該当するものに○をしてください。(複数選択も可)

N=509

- a. スポーツ体験活動 46.8% (238人)
- b. 予習、復習、補習等の学習活動 1.8% (9人)
- c. 読書、読み聞かせ活動 3.9% (20人)
- d. 伝統文化・芸能等の体験活動 11.2% (57人)
- e. 音楽、工作等体験活動 5.9% (30人)
- f. 昔遊び、伝承遊び活動 6.3% (32人)
- g. 行事、お祭り等の交流活動 52.7% (268人)
- h. キャンプ、野外体験活動 19.4% (99人)
- i. 登下校時等の安全確保、防犯、防災活動 29.1% (148人)
- j. 環境美化活動 14.9% (76人)
- k. 地域の高齢者等異世代との交流活動 9.6% (49人)
- l. その他 5.5% (28人)

\*PTA活動、少年野球チーム指導、サッカークラブ指導、すくすくスクール、プレーパーク、みみずくの会、学童クラブでの活動、青少年指導員活動、青色パトロール、農作業体験、部活動支援、文化祭準備、本屋での万引き対策など

2) 活動の拠点はどこですか。(複数選択も可)

N=509

- a. 小学校 69.7% (355人)
- b. 中学校 21.8% (111人)
- c. その他 30.3% (154人)

\*高校、スポーツ会館、図書館、児童館・学童クラブコ、コミュニティーセンターなど

「子どもの居場所作り」アンケート結果

3) 活動されている時間帯は、主にどのあたりですか。(複数選択も可) N=509

- a. 平日の午前中 9.0% (46人)
- b. 平日の午後 14.7% (75人)
- c. 平日の夕方 20.0% (102人)
- d. 休日の午前中 72.1% (367人)
- e. 休日の午後 53.6% (273人)
- f. 休日の夕方 19.6% (100人)

4) おおよそどの程度活動に参加していますか。 N=509

a. 年

- 1回 1.8% (9人)
- 2回 3.5% (18人)
- 3回 8.1% (41人)
- 4回 6.9% (35人)
- 5回 5.3% (27人)
- 6回 6.7% (34人)
- 7回 0.4% (2人)
- 8回 0.8% (4人)
- 10回 2.2% (11人)
- 12回 0.6% (3人)
- 15回 0.2% (1人)
- 20回 0.2% (1人)

b. 月

- 1回 17.9% (91人)
- 2回 10.2% (52人)
- 3回 2.4% (12人)
- 4回 1.8% (9人)
- 5回 0.2% (1人)
- 6回 0.4% (2人)
- 7回 0.2% (1人)
- 8回 0.4% (2人)
- 10回 0.2% (1人)
- 45回 0.4% (2人)
- 112回 0.2% (1人)

c. 週

- 1回 10.2% (52人)

「子どもの居場所作り」アンケート結果

2回	7.7%	(39人)
3回	3.9%	(20人)
4回	2.2%	(11人)
7回	0.4%	(2人)
14回	0.4%	(2人)
21回	0.4%	(2人)
d. その他	0.2%	(1人)
無回答	0.4%	(2人)

5) 参加するようになったきっかけは何ですか。(複数選択も可) N=509

- a. PTA 活動に関わっていた 51.7% (263人)
- b. 町会自治会に関わっていた 20.4% (104人)
- c. 知人の勧誘があった 17.9% (91人)
- d. 学校関係者からの要請を受けた 9.4% (48人)
- e. 専門的な技能を活かしたかった 5.1% (26人)
- f. 子どもの育成に関心があった 27.1% (138人)
- g. その他 13.6% (69人)

\*おやじの会の誘い、学童クラブ、子どものクラブ活動、子どもの万引き  
他校の事例を見て、地域クラブ、父母会など

6) どのような形態で参加していますか。 N=509

- a. おやじの会（父親を中心に活動する地域団体）のメンバーとして  
36.3% (185人)
- b. おやじの会以外の地域団体のメンバーとして 53.0% (270人)
- c. 団体ではなく個人として 19.1% (97人)

7) 前問で「a. おやじの会」「b. 地域団体」と回答した方に伺います。 N=455

①どのような成果が得られましたか。(複数選択も可)

- a. 子どもの成長に対する理解、関心が深まった 45.3% (206人)
- b. 健全育成活動の大切さを実感できた 30.8% (140人)
- c. 校長や教師の苦勞が理解できた 23.7% (108人)
- d. 父親同士で子育てや教育の話ができた 30.1% (137人)
- e. 学校活動への理解が深まった 33.4% (152人)
- f. 地域活動の大切さが理解できた 47.5% (216人)
- g. 親同士の連帯感が強まった 43.3% (197人)
- h. 家族の連帯意識が強まった 13.0% (59人)

「子どもの居場所作り」アンケート結果

i. 特にない 1. 8% (8人)

②団体活動にどのような課題があると思いますか。(複数選択も可) N=455

a. 校長等学校関係者との連携の強化が必要である 32. 3% (147人)

b. 仕事との日程調整が難しい 46. 6% (212人)

c. 企画・調整・周知等の負担が重い 21. 3% (97人)

d. 実施回数が少なく効果が期待できない 4. 8% (22人)

e. 地域活動についてのノウハウがない 6. 2% (28人)

f. 他の地域団体との情報交換の機会がない 13. 2% (60人)

g. 人間関係が煩わしい 5. 7% (26人)

h. その他 5. 3% (24人)

\* おやじの会の意識の高揚、責任や役割への理解不足、母親の理解、メンバーが広がらない、恒例行事化、参加する子どもが少ない、資金不足、高齢化など

問3 問1で「b. いいえ」と回答した方のみにご意向を伺います。

1) どのような形であれば活動に参加しやすいと思いますか。 N=750

a. おやじの会(父親中心に活動する地域団体)のメンバーとして

18. 9% (142人)

b. おやじの会以外の地域団体のメンバーとして 33. 1% (248人)

c. 団体でなく個人として 22. 5% (169人)

d. 今後とも参加できない 24. 0% (180人)

\* 多忙、時間が取れない(仕事日程、休日勤務、他の用務との競合など)、健康上の不安がある、子どもが大きくなった、子どもがいないなど

無回答 1. 5% (11人)

2) 前問で「a. おやじの会」「b. 地域団体」「c. 個人」と回答した方のみにご伺います。

①今後、活動するとすればどのような分野であれば参加したいと思いますか。該当するものに○をしてください。(複数選択も可) N=559

a. スポーツ体験活動 36. 0% (201人)

b. 予習、復習、補習等の学習活動 10. 7% (60人)

c. 読書、読み聞かせ活動 17. 4% (97人)

d. 伝統文化・芸能等の体験活動 13. 1% (73人)

e. 音楽、工作等体験活動 11. 1% (62人)

f. 昔遊び、伝承遊び活動 9. 3% (52人)

g. 行事、お祭り等の交流活動 42. 2% (236人)

h. キャンプ、野外体験活動 24. 5% (137人)

「子どもの居場所作り」アンケート結果

- i. 登下校時等の安全確保、防犯、防災活動 29.0% (162人)
- j. 環境美化活動 24.7% (133人)
- k. 地域の高齢者等異世代との交流活動 10.2% (57人)
- l. その他 2.9% (16人)

\* 自然ボランティアなど

②活動への参加にあたって、どのようなことが必要だと思われますか。(複数選択も可)

N=559

- a. 校長等学校関係者とのコミュニケーション 31.3% (175人)
- b. 自分の仕事の日程調整 48.1% (269人)
- c. 学校で行われる活動の様子や呼びかけ 29.2% (163人)
- d. 活動に必要なノウハウやマニュアル 25.6% (143人)
- e. 他の「おやじの会」との情報意見交換 7.9% (44人)
- f. 地域に関わる人々との人間関係 56.9% (318人)
- g. その他 0.0% (0人)

問4 文部科学省と厚生労働省の連携で実施されている「放課後子どもプラン」について伺います。現在実施されている「放課後子どもプラン」のことをご存知ですか。

N=1,266

- a. 知っている 23.6% (299人)
- b. 知らない 73.7% (933人)
- 無回答 2.7% (34人)

①(「a. 知っている」と答えた方) このプランに参加したいと思いますか。 N=299

- a. すでに参加している 12.4% (37人)
- b. 参加したいと思う 55.5% (166人)
- c. 参加したいとは思わない 27.4% (82人)
- 無回答 4.7% (14人)

②(「b. 知らない」と答えた方) このプランのことを知りたいと思いますか。 N=933

- a. 知りたいと思う 75.8% (707人)
- b. 知りたいとは思わない 20.9% (195人)
- 無回答 3.3% (31人)

### Ⅲ. 調査結果の分析

#### 1 子どもたちの育成活動への参加・不参加の状況

##### ◇ 子どもの健全育成活動に参加している人は4割強

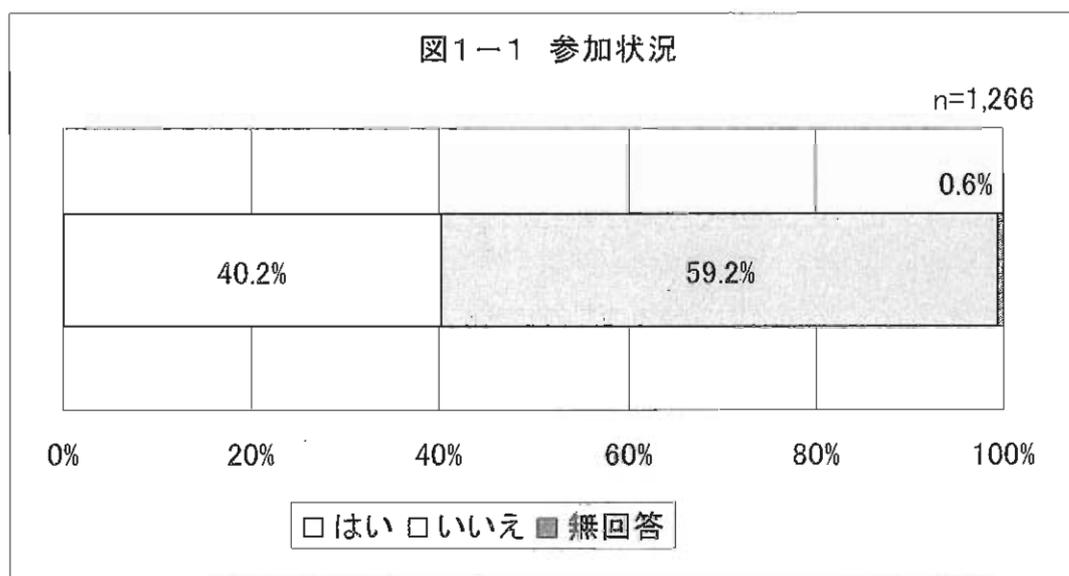
問1 あなたは、お住まいの地域で、放課後や休日などの時間に、子どもたちの育成活動に参加していますか。

a.はい

b.いいえ

##### 【総括】

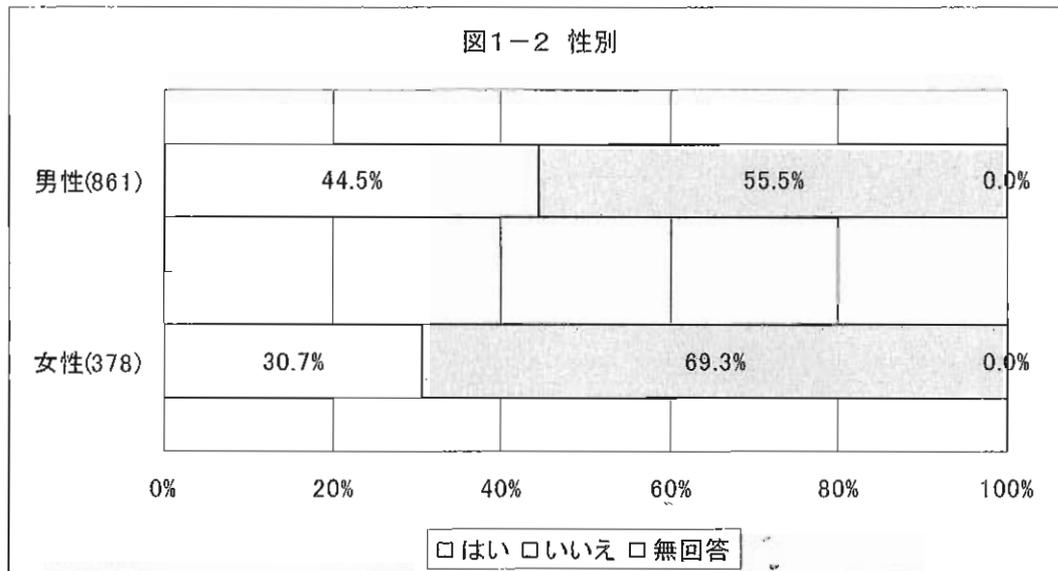
放課後や休日の育成活動への参加状況を聞いたところ、「はい」（以下、「育成活動に参加している」）40.2%、「いいえ」（以下、「育成活動に参加していない」）59.2%と、参加していない人の割合が19ポイント上回っている。



「子どもの居場所作り」アンケート結果

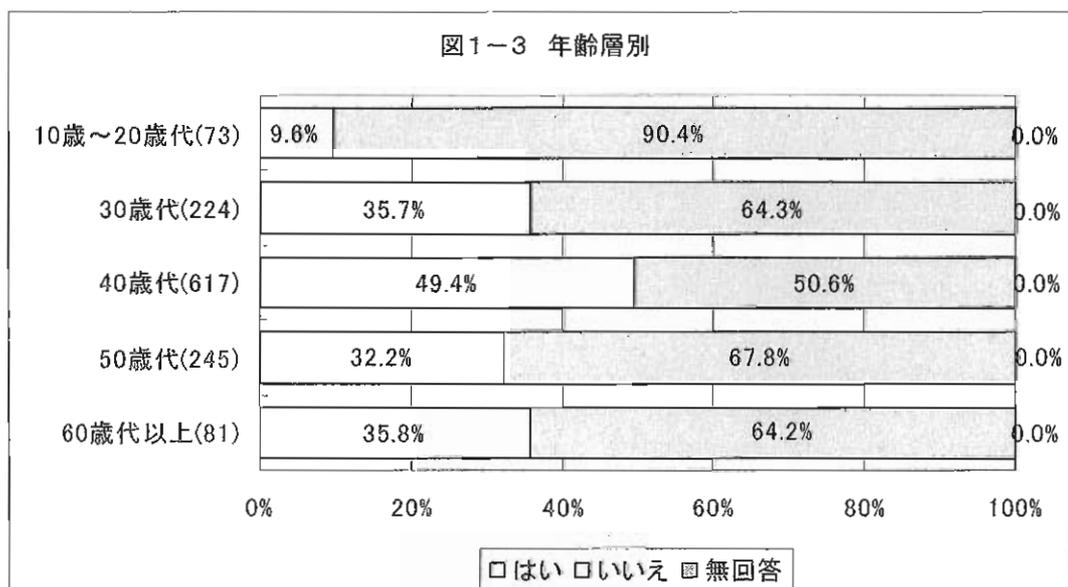
【性別】

性別にみると、育成活動に参加している割合は男性（44.5%）が女性（30.7%）より13.8ポイント高くなっている。



【年齢層別】

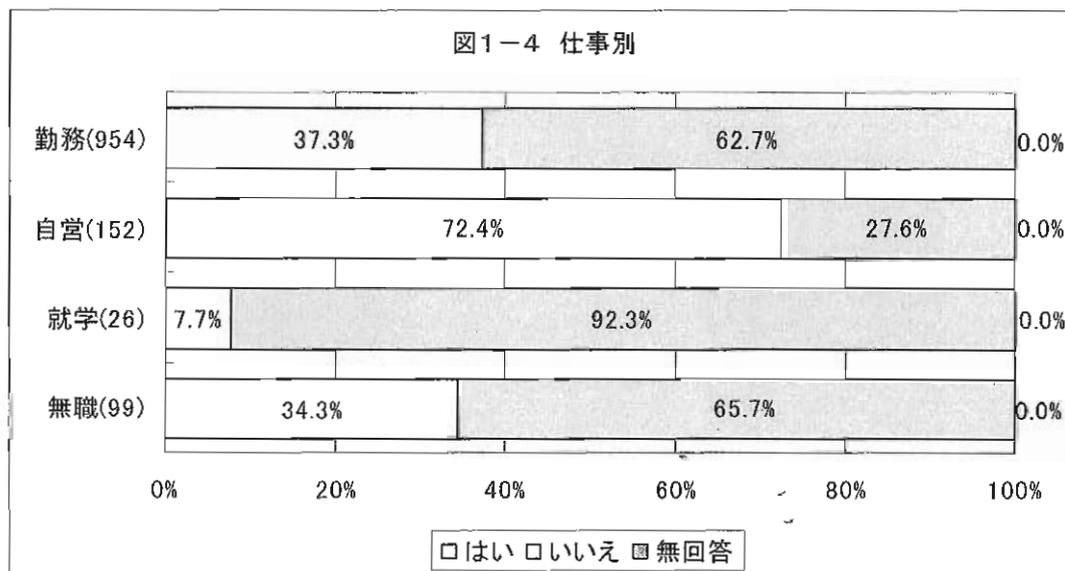
年齢層別にみると、すべての年齢層で、育成活動に参加していない割合が参加している割合を上回り、10～20歳代では9割を越えている。育成活動に参加している割合は40歳代（49.4%）が最も高くなっている。



## 「子どもの居場所作り」アンケート結果

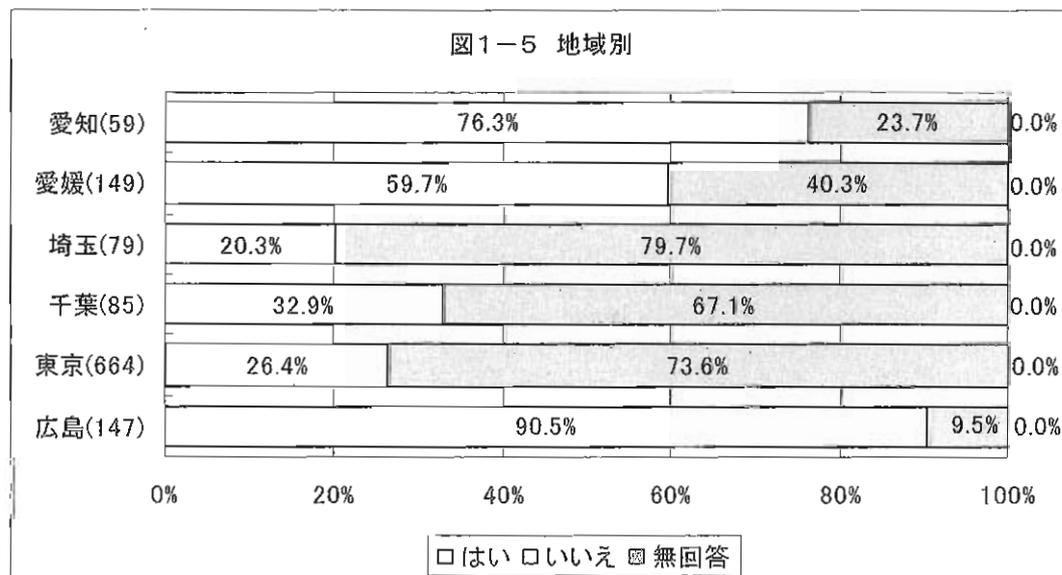
### 【仕事別】

仕事別にみると、育成活動に参加している割合は「自営」の人で72.3%と高くなっているが、「勤務」、「就学」、「無職」の人の参加割合は全体の参加率（40.2%）を下回っている。



### 【地域別】

地域別（ある程度の基数のある6都県。五十音順）にみると、埼玉県、千葉県、東京都で育成活動に参加している割合は全体の参加率（40.2%）を下回っている。広島県と愛知県が際立っているが、調査方法（「調査の概要」3参照）に因るもので統計的有意さは低い。



## 2-1 参加している人の活動分野

◇「行事、お祭り等の交流活動」が約3割でトップ

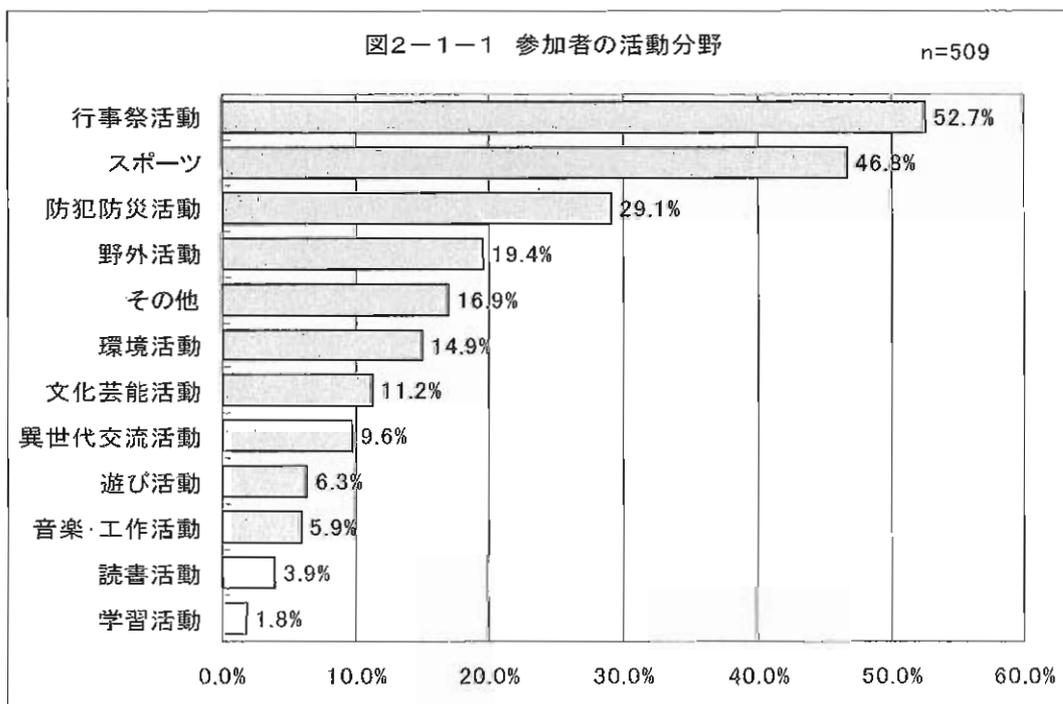
問2 問1で「a. はい」と答えた方に伺います。

1) どのような活動ですか。該当するものに○をしてください。(複数選択も可)

- a. スポーツ体験活動    b. 予習、復習、補習等の学習活動    c. 読書、読み聞かせ活動
- d. 伝統文化・芸能等の体験活動    e. 音楽、工作等体験活動    f. 昔遊び、伝承遊び活動
- g. 行事、お祭り等の交流活動    h. キャンプ、野外体験活動
- i. 登下校時等の安全確保、防犯、防災活動    j. 環境美化活動
- k. 地域の高齢者等異世代との交流活動    l. その他

### 【総括】

前問で「はい」と回答（以下「子どもの健全育成活動に参加している」）した人（509人）に活動の分野（国の「放課後子どもプラン」推進のため連携方策で例示された取組みを参考に発問）を複数選んでもらったところ、「行事、お祭り等の交流活動」の割合が5割を越え、「スポーツ体験活動」の割合も5割に近くなっている。「予習、復習、補習等の学習活動読書」や「読み聞かせ活動」の割合は際立って低い。

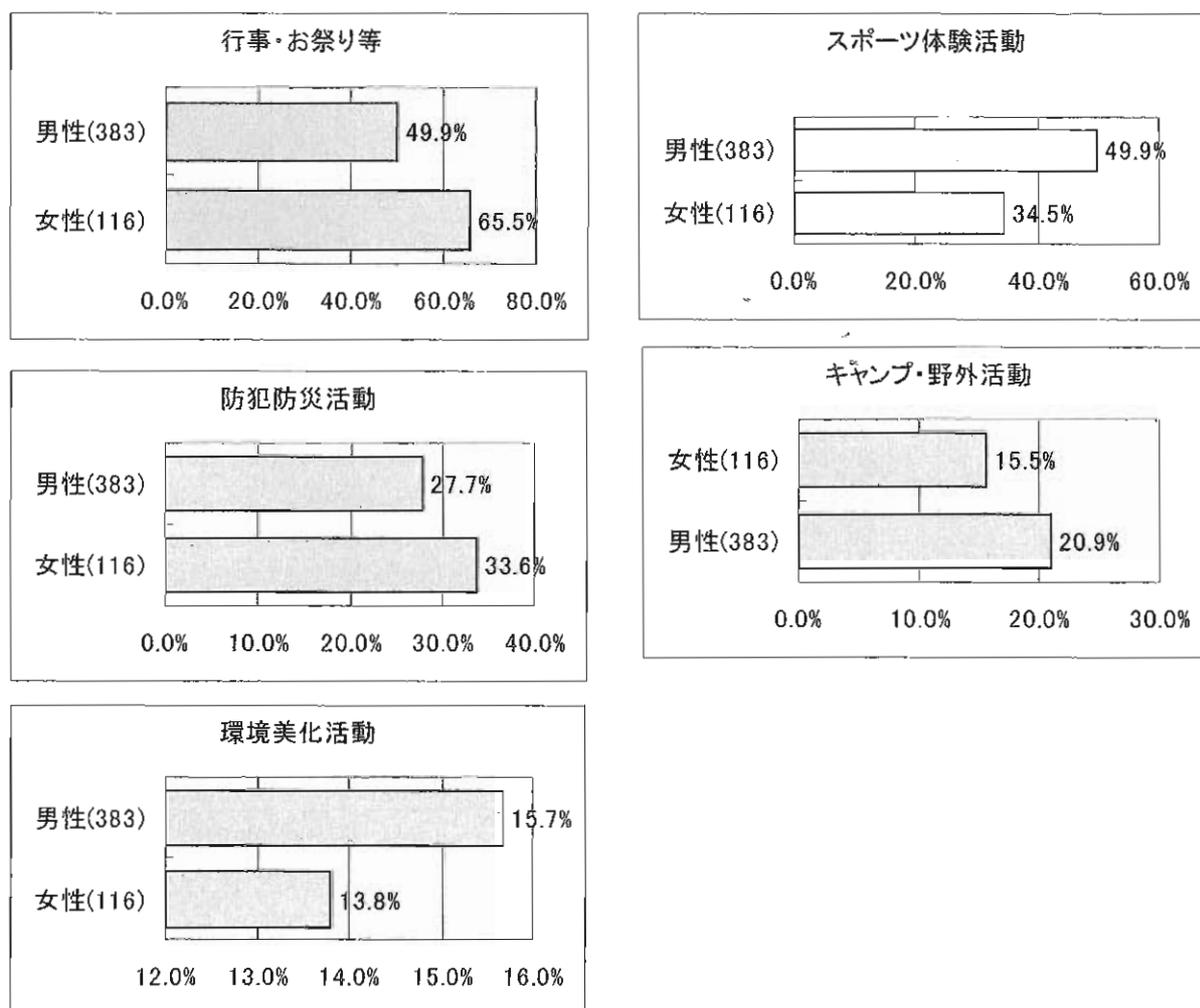


## 「子どもの居場所作り」アンケート結果

### 【性別】

上位5分野を性別にみると、「行事・お祭り等の交流活動」の割合は女性が6割半ばで男性を15.6ポイント上回り、「スポーツ体験活動」では男性が5割弱で女性を15.4ポイント上回っている。「登下校時等の安全確保、防犯、防災活動」の割合は女性が約6ポイント高くなっている。

図2-1-2 性別

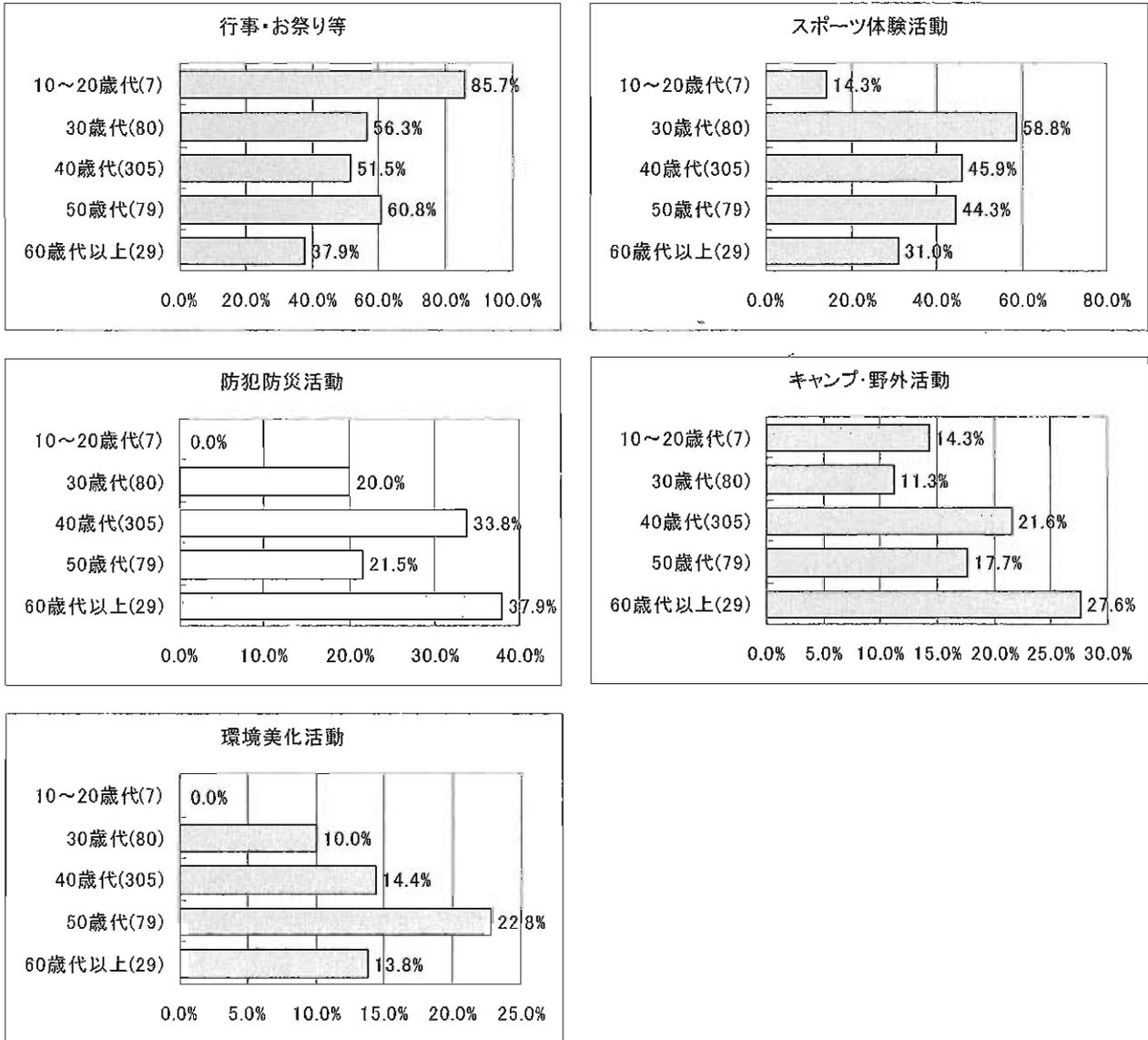


「子どもの居場所作り」アンケート結果

【年齢層別】

上位5分野を年齢層別にみると、30歳代から50歳代で「行事、お祭り等の交流活動」の割合が5割を越えている。30歳代では「スポーツ体験活動」の割合も6割に迫っている。

図2-1-3 年齢層別

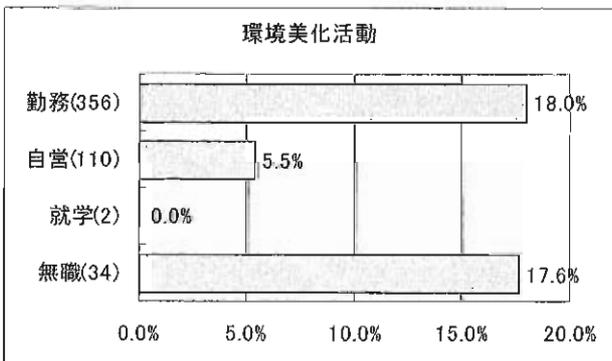
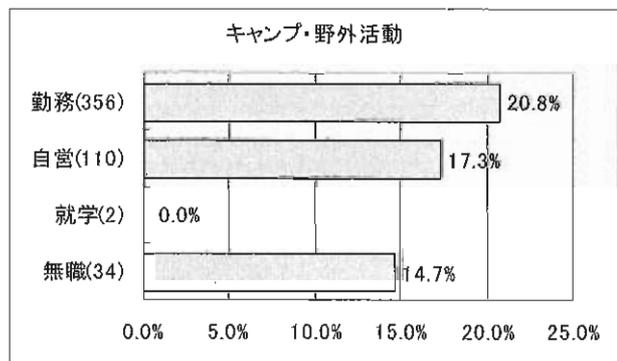
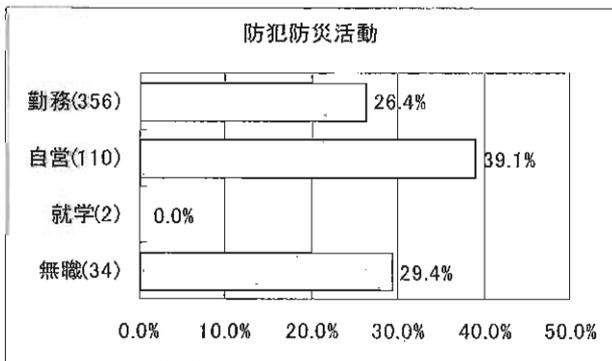
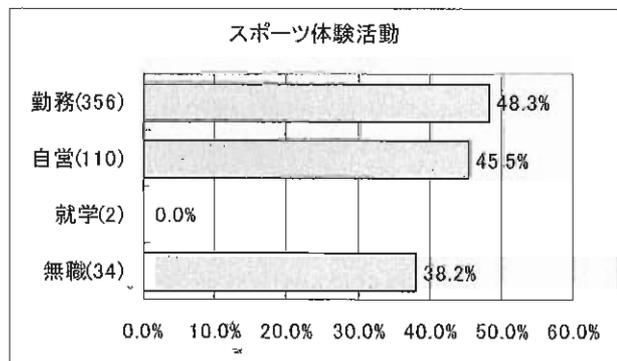
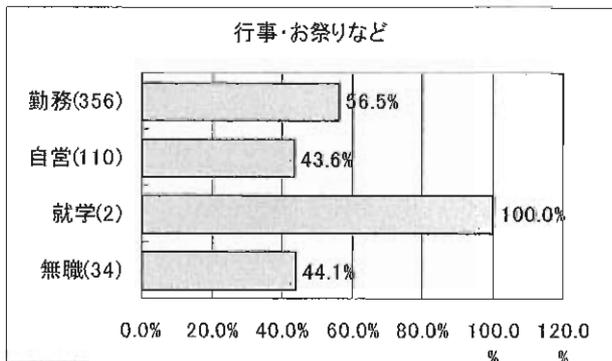


「子どもの居場所作り」アンケート結果

【仕事別】

上位5分野を仕事別にみると、「勤務」の人では「行事、お祭り等の交流活動」の割合（56.5%）が最も高く、「自営」を約13ポイント上回っている。「自営」の人では「スポーツ体験活動」の割合（45.5%）が最も高いが、「勤務」の人を3ポイント弱下回っている。「登下校時等の安全確保、防犯、防災活動」の割合は「自営」の人（39.1%）が「勤務」の人より12.5ポイント高くなっている。

図2-1-4 仕事別



## 2-2 活動の拠点

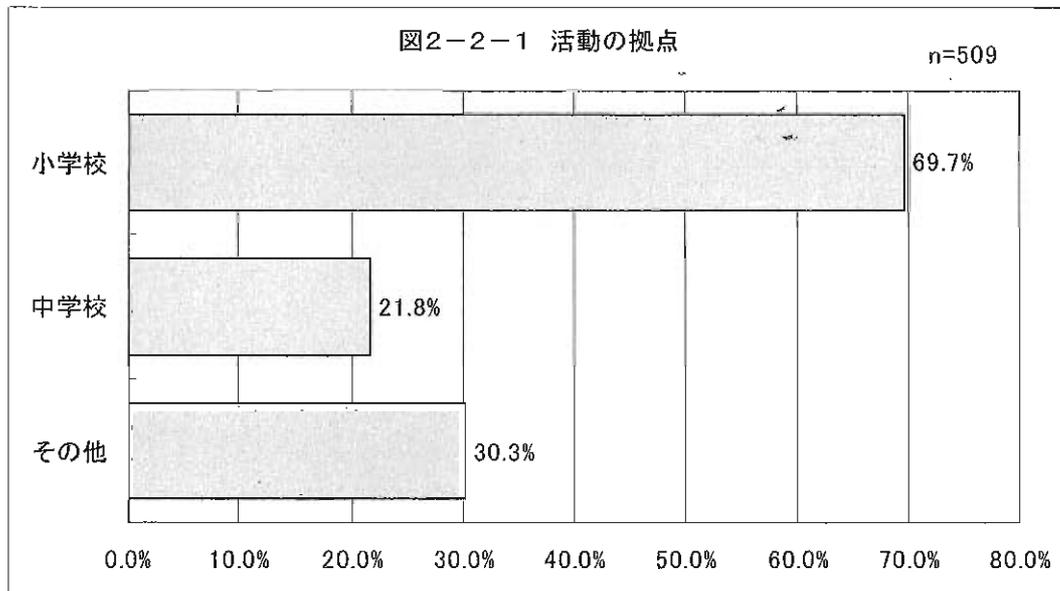
### ◇ 小学校利用者が7割弱

2) 活動の拠点はどこですか。(複数選択も可)

a. 小学校    b. 中学校    c. その他

#### 【総括】

子どもの育成活動に参加している人(509人)に活動の拠点を聞いたところ、「小学校」の割合が69.7%、「中学校」の割合が21.8%となっている。

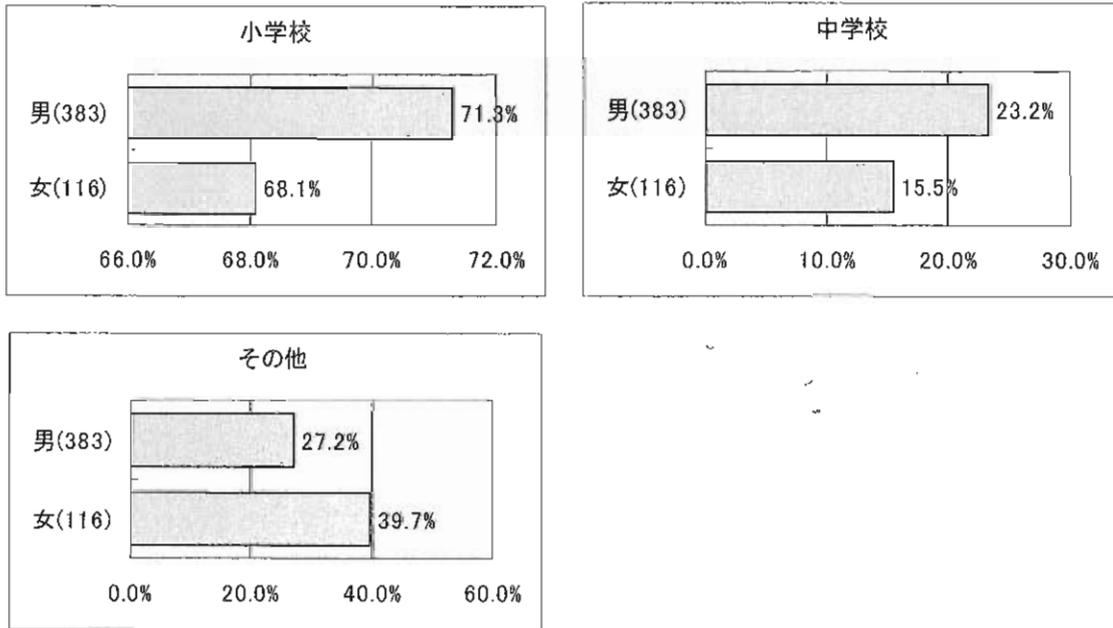


# 「子どもの居場所作り」アンケート結果

## 【性別】

性別にみると、男性、女性とも「小学校」の割合が7割前後と高くなっている。「中学校」の割合は男性が女性より7.7ポイント高く、「その他」の割合では女性が男性を12.5ポイント上回っている。

図 2-2-2 性別

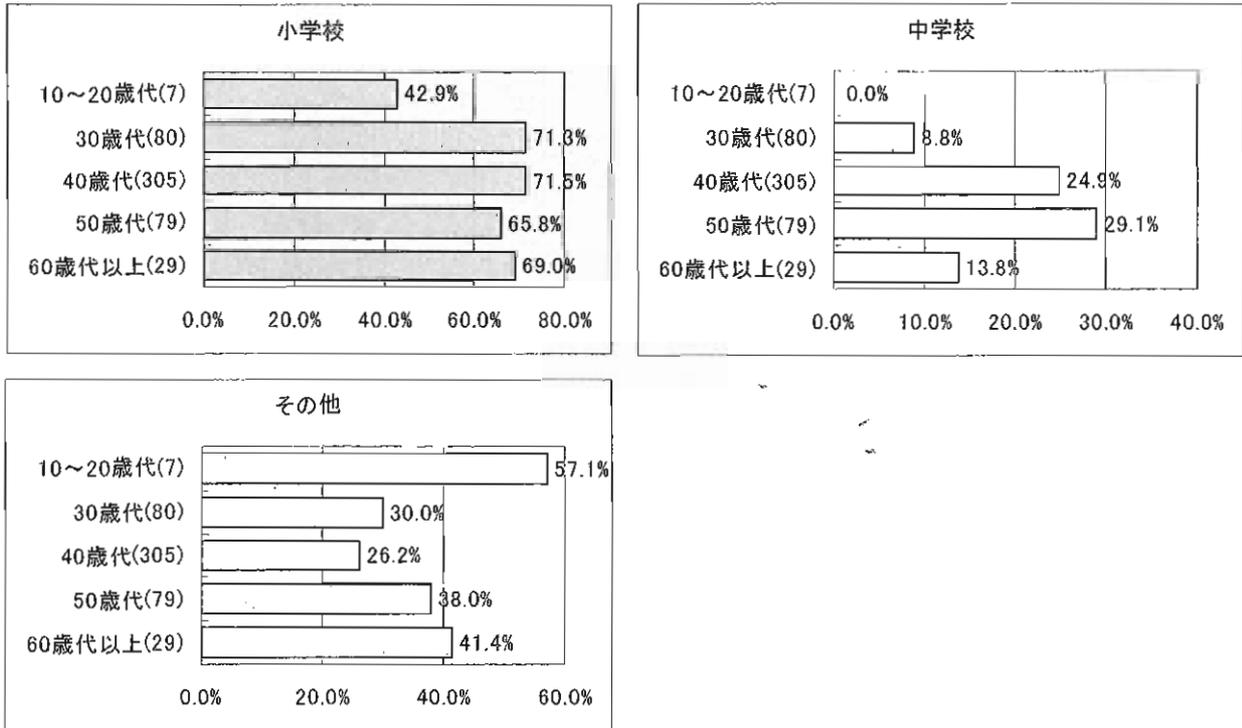


# 「子どもの居場所作り」アンケート結果

## 【年齢層別】

年齢層別にみると、30歳代と40歳代で「小学校」の割合が7割を越え、また、30歳代以降の各年齢層で「その他」の割合も高く、使用施設の分散化がみられる。

図2-2-3 年齢層別



## 2-3 活動の時間帯

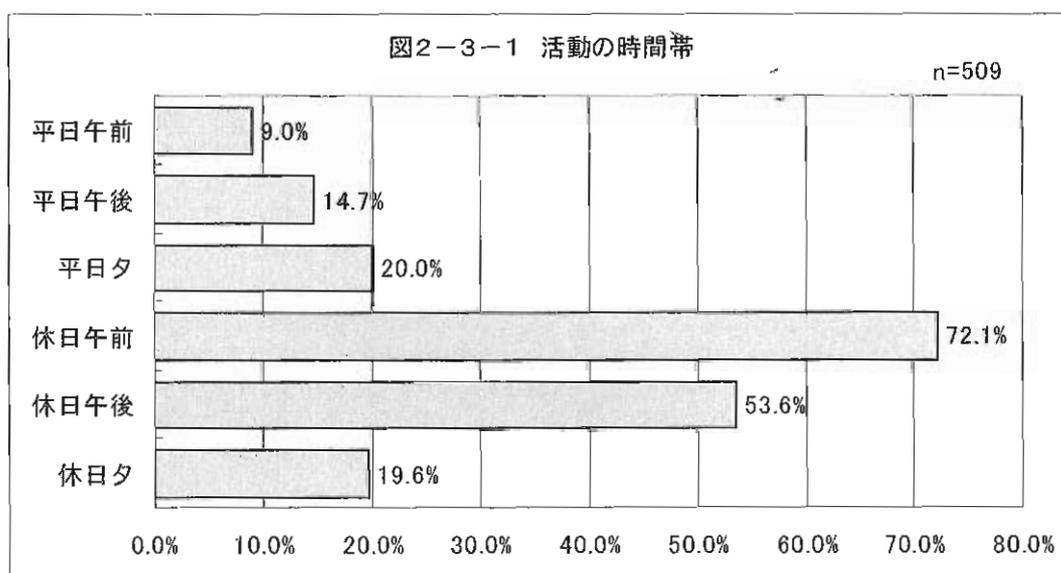
### ◇7割強が「休日の午前中」

3) 活動されている時間帯は、主にどのあたりですか。(複数選択も可)

- a. 平日の午前中    b. 平日の午後    c. 平日の夕方  
d. 休日の午前中    e. 休日の午後    f. 休日の夕方

#### 【総括】

育成活動に参加している人(509人)に主な活動時間帯を聞いたところ、「休日の午前中」の割合が72.1%と最も高く、「休日の午後」の割合も5割半ばとなっている。

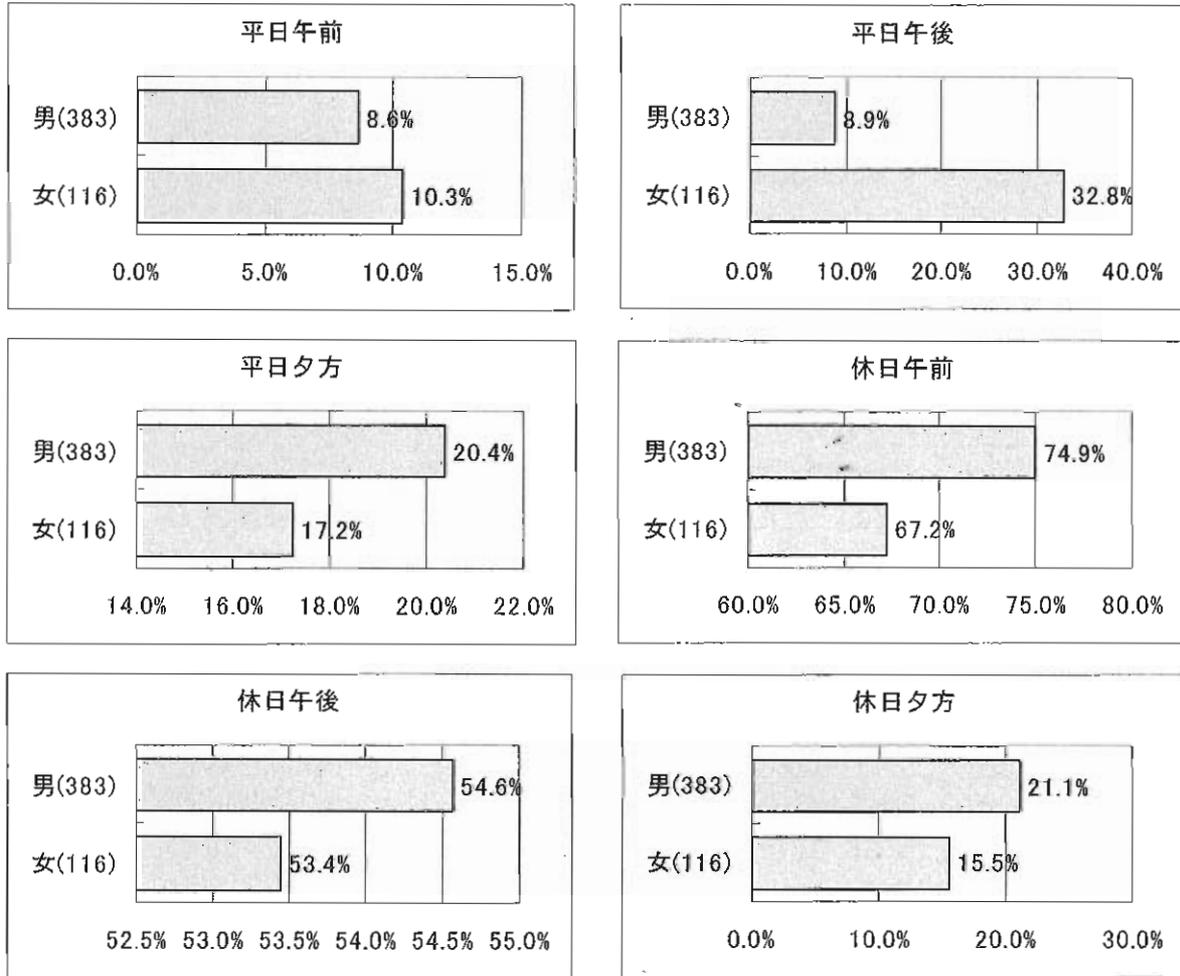


「子どもの居場所作り」アンケート結果

【性別】

性別にみると、「平日の午後」の割合は女性が男性を約24ポイント上回り、「休日の午前中」の割合は男性が7.7ポイント上回っている。

図2-3-2 性別

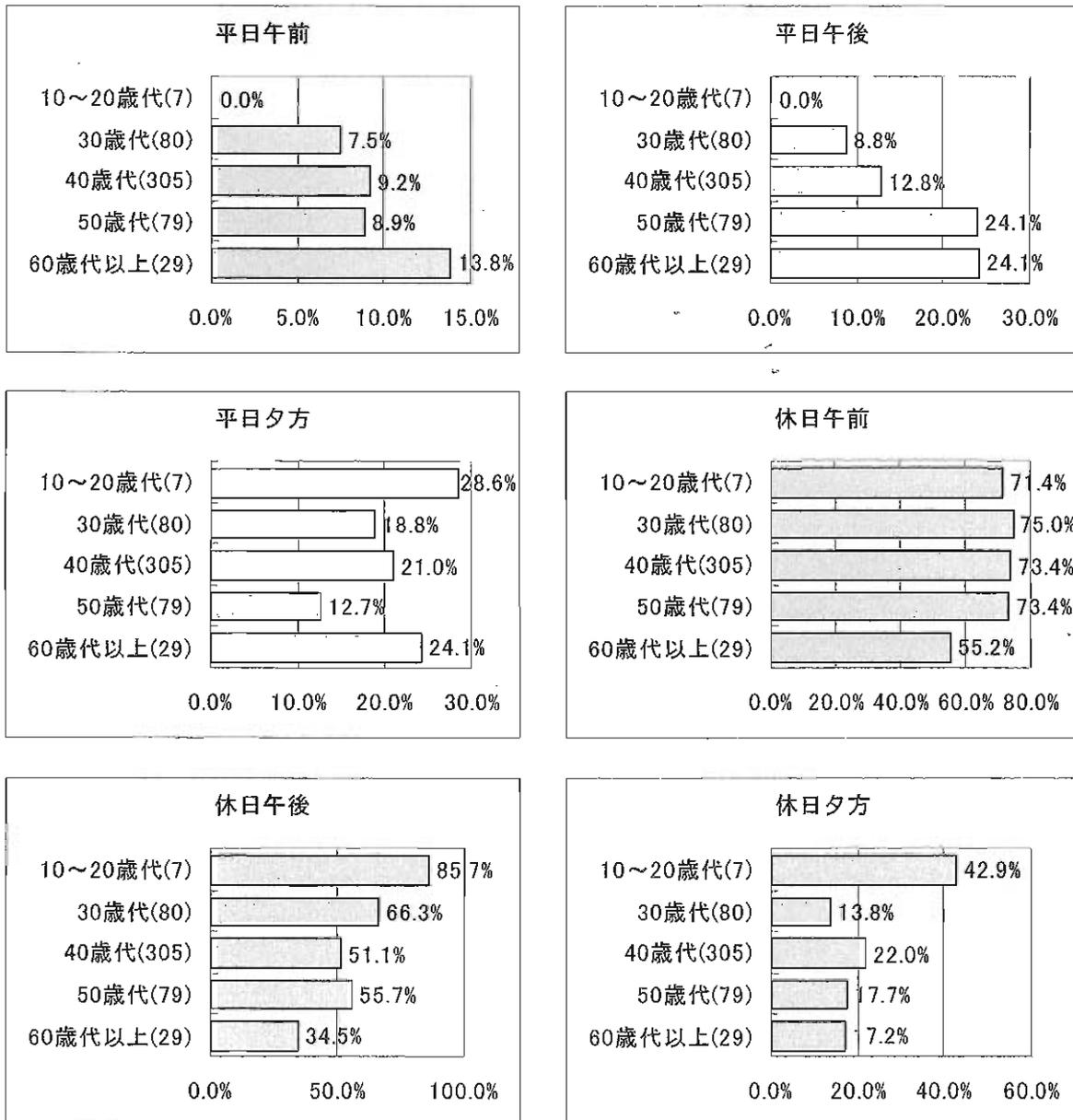


「子どもの居場所作り」アンケート結果

【年齢層別】

年齢層別にみると、30歳代～50歳代の「休日の午前中」の割合は7割半ばに達している。30歳代の「休日の午後」の割合は67.1%と、40歳代、50歳代より10ポイント以上高くなっている。

図2-3-3 年齢層別

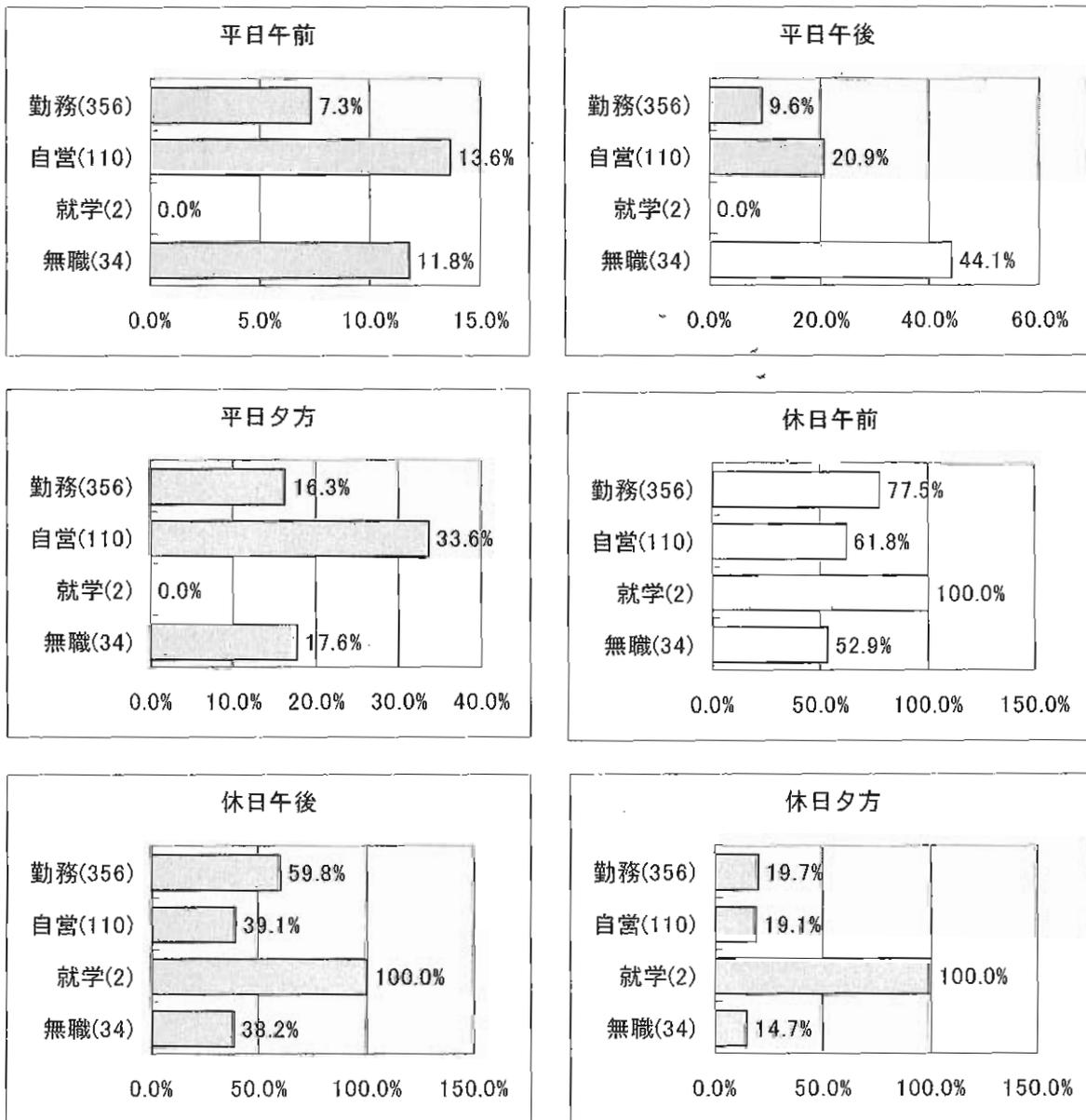


「子どもの居場所作り」アンケート結果

【仕事別】

仕事別にみると、「休日の午前」、「休日の午後」の割合は「勤務」が「自営」をそれぞれ13.5ポイント、18.3ポイント上回り、「平日の午後」、「平日の夕方」の割合は「自営」が「勤務」をそれぞれ17.1ポイント、15.7ポイント上回っている。

図2-3-4 仕事別



## 2-4 活動の頻度

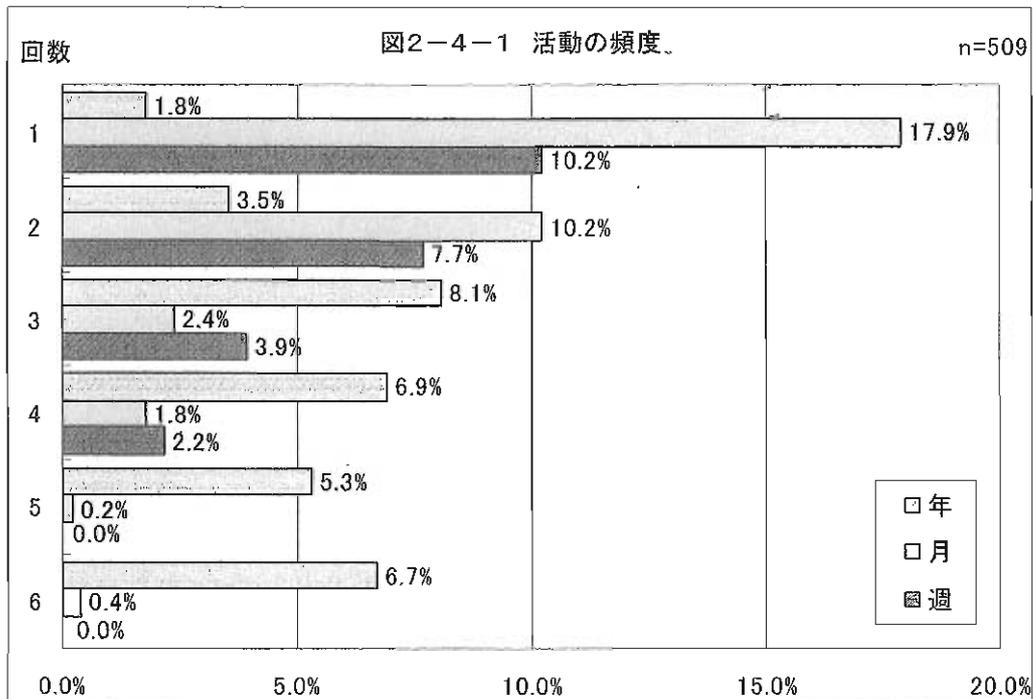
### ◇「月1回程度」が2割弱

4) おおよそどの程度活動に参加していますか。

a. 年( )回程度    b. 月( )回程度    c. 週( )回程度    d. その他( )

#### 【総括】

子どもの健全育成活動に参加している人(509人)におおよその活動頻度を聞いたところ、「月1回程度」の割合が最も高く(17.9%)、「月2回程度」、「週1回程度」も1割を越えている。

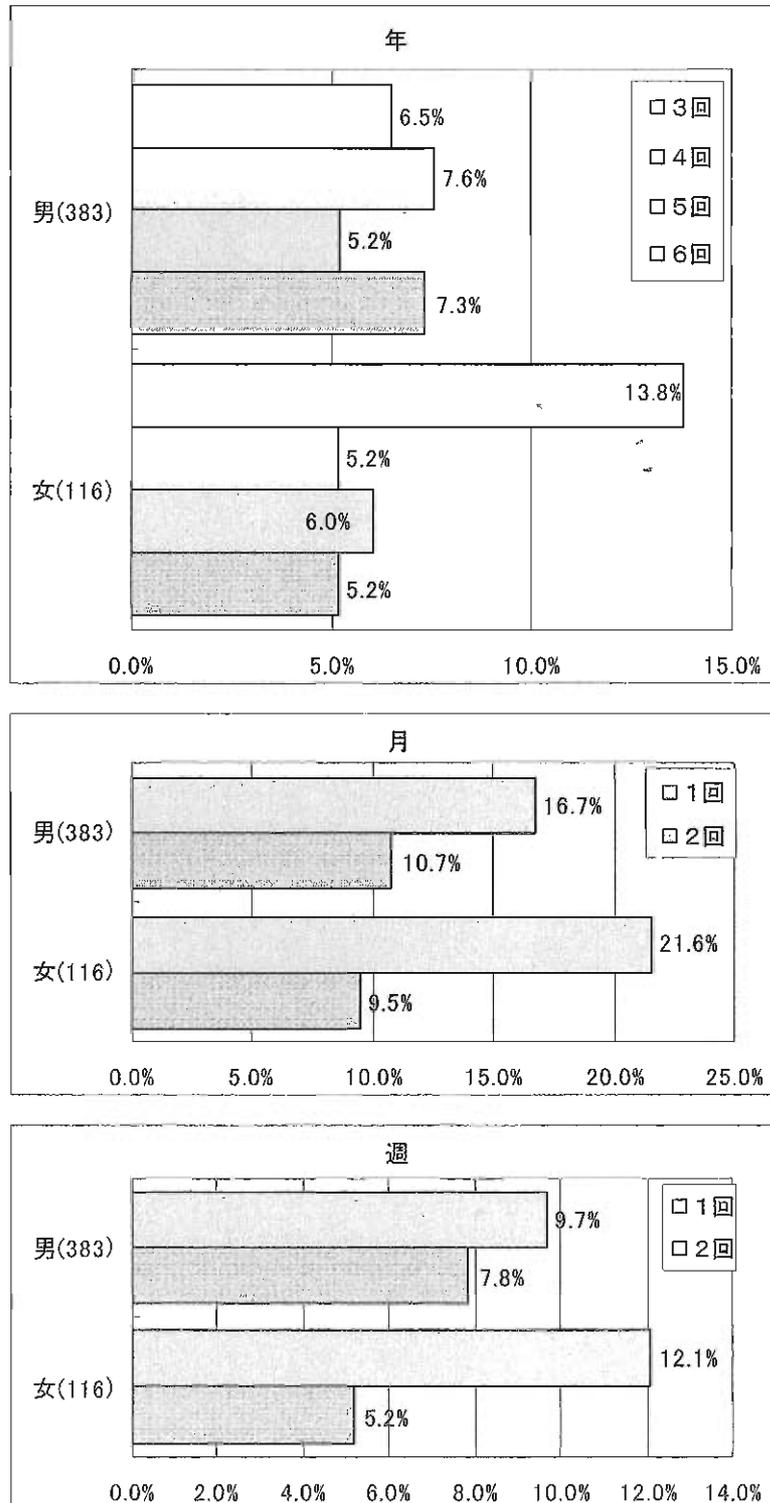


「子どもの居場所作り」アンケート結果

【性別】

活動頻度の高い項目を性別にみると、男性女性とも「月1回程度」の割合が最も高く、女性が男性を約5ポイント上回っている。

図2-4-2 性別

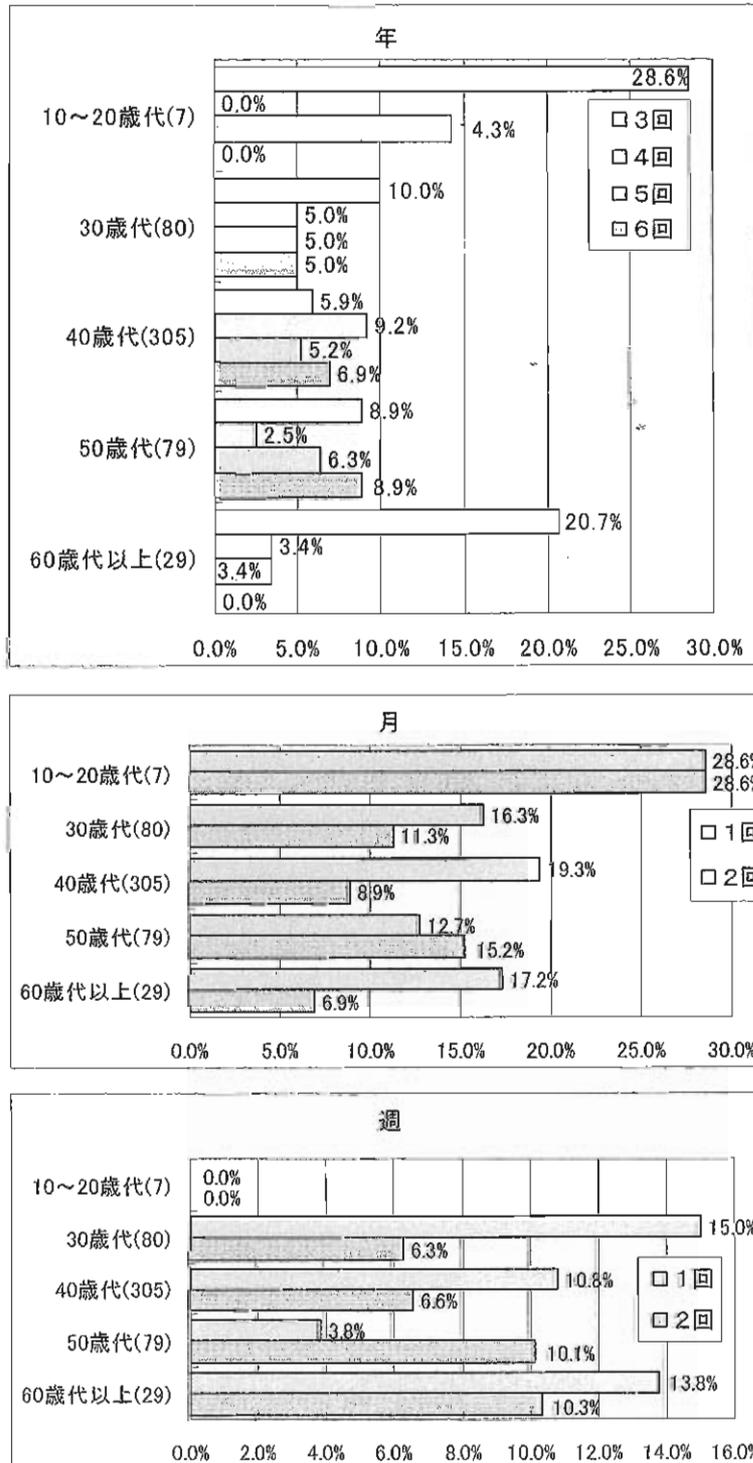


「子どもの居場所作り」アンケート結果

【年齢層別】

活動頻度の高い項目を年齢層別にみると、各層で「月1回程度」と「月2回程度」の割合が高く、40歳代で「月1回程度」の割合が19.5%になっている。また、30歳代と60歳代以上の層では「週1回程度」の割合が1割半ばになっている。

図2-4-3 年齢層別

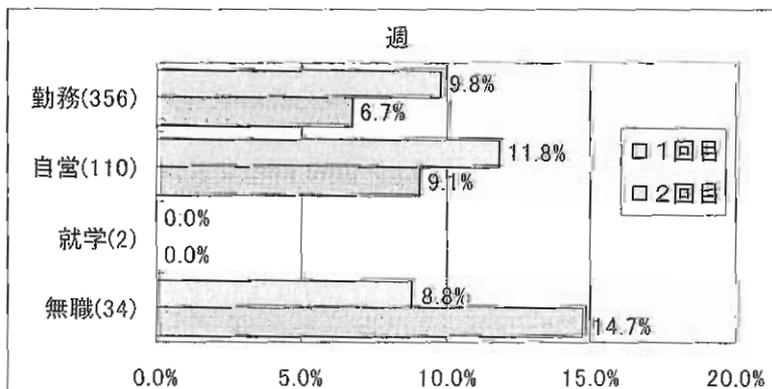
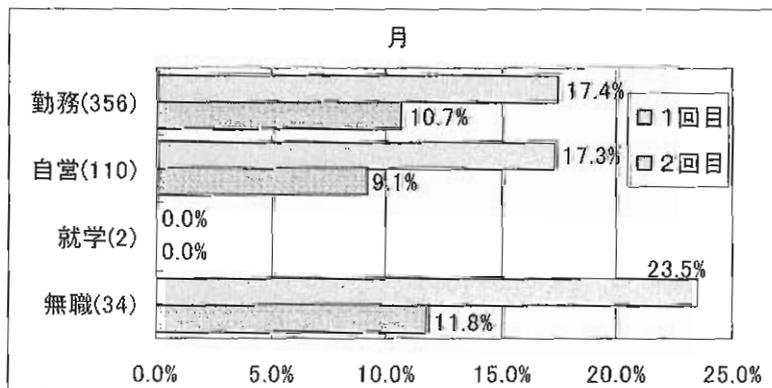
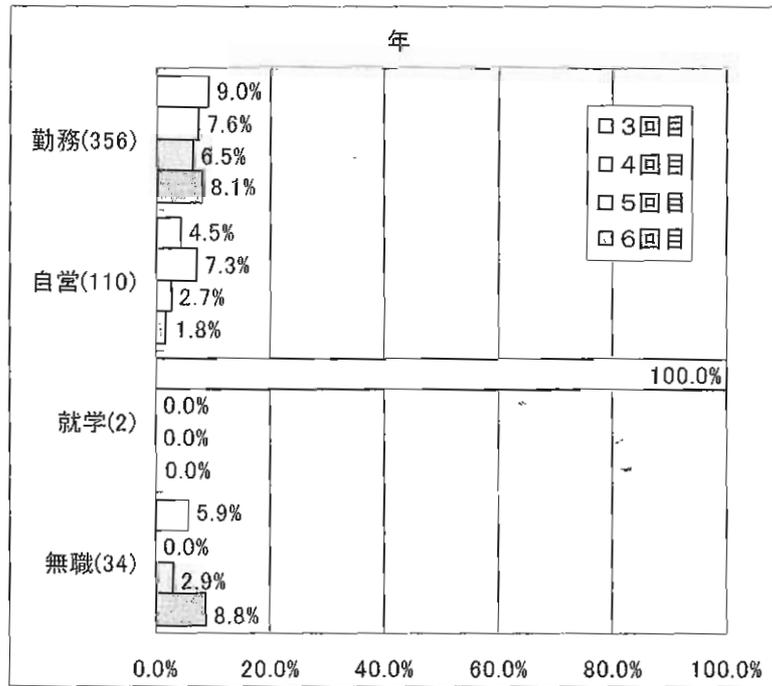


「子どもの居場所作り」アンケート結果

【仕事別】

活動頻度の高い項目を仕事別にみると、「月1回程度」が「無職」「自営」「勤務」の順で高くなっている。「無職」の人の活動頻度が高いが、基数（34）が十分といえない。

図2-4-4 仕事別



## 2-5 参加のきっかけ

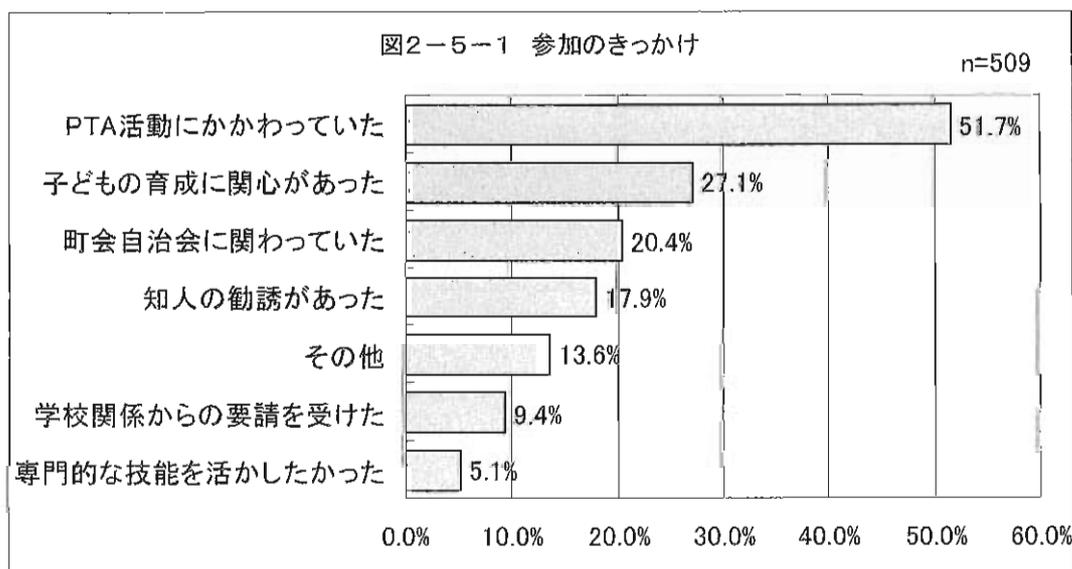
### ◇ PTA や町会自治会での活動への関わりが割強

5) 参加するようになったきっかけは何ですか。(複数選択も可)

- a. PTA 活動に関わっていた
- b. 町会自治会に関わっていた
- c. 知人の勧誘があった
- d. 学校関係者からの要請を受けた
- e. 専門的な技能を活かしたかった
- f. 子どもの育成に関心があった
- g. その他

#### 【総括】

育成活動に参加している人(509人)に、参加するようになったきっかけを聞いたところ、「PTA 活動に関わっていた」割合が51.7%、「町会自治会に関わっていた」20.4%で、72.3%の人が地域活動への関わりをあげている。また、4人に1人強の人が「子どもの育成に関心があった」と回答している。「専門的な技能を活かしたかった」の割合は最も低くなっている。

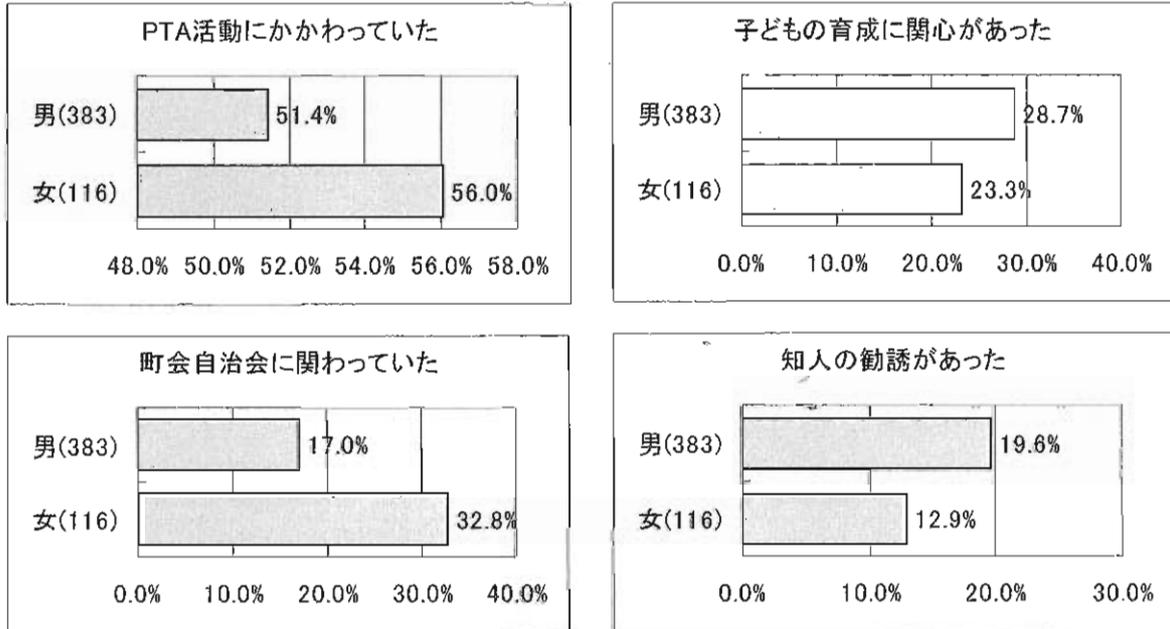


# 「子どもの居場所作り」アンケート結果

## 【性別】

性別にみると、「PTA 活動に関わっていた」と「町会自治会に関わっていた」の割合は女性が高く、「町会自治会に関わっていた」では男性を15.8ポイント上回っている。「子どもの育成に関心があった」では男性の割合が女性を5.4ポイント上回っている。

図2-5-2 性別

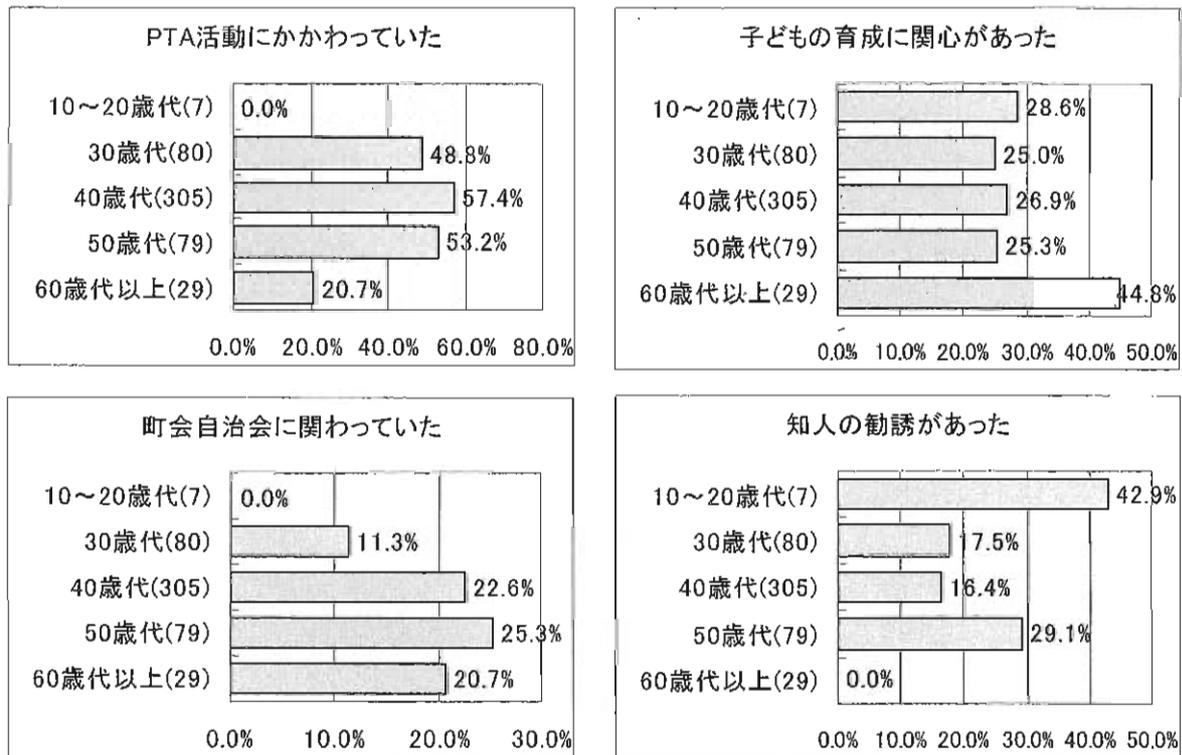


「子どもの居場所作り」アンケート結果

【年齢層別】

年齢層別にみると、40歳代と50歳代で「PTA活動にかかわっていた」の割合が5割強と高く、30～50歳代の4人に1人が「子どもの育成に関心があった」と回答している。「子どもの育成に関心があった」の割合が最も高いのは60歳代以上（44.8%）だが、基数（29）が十分とはいえない。

図2-5-3 年齢層別

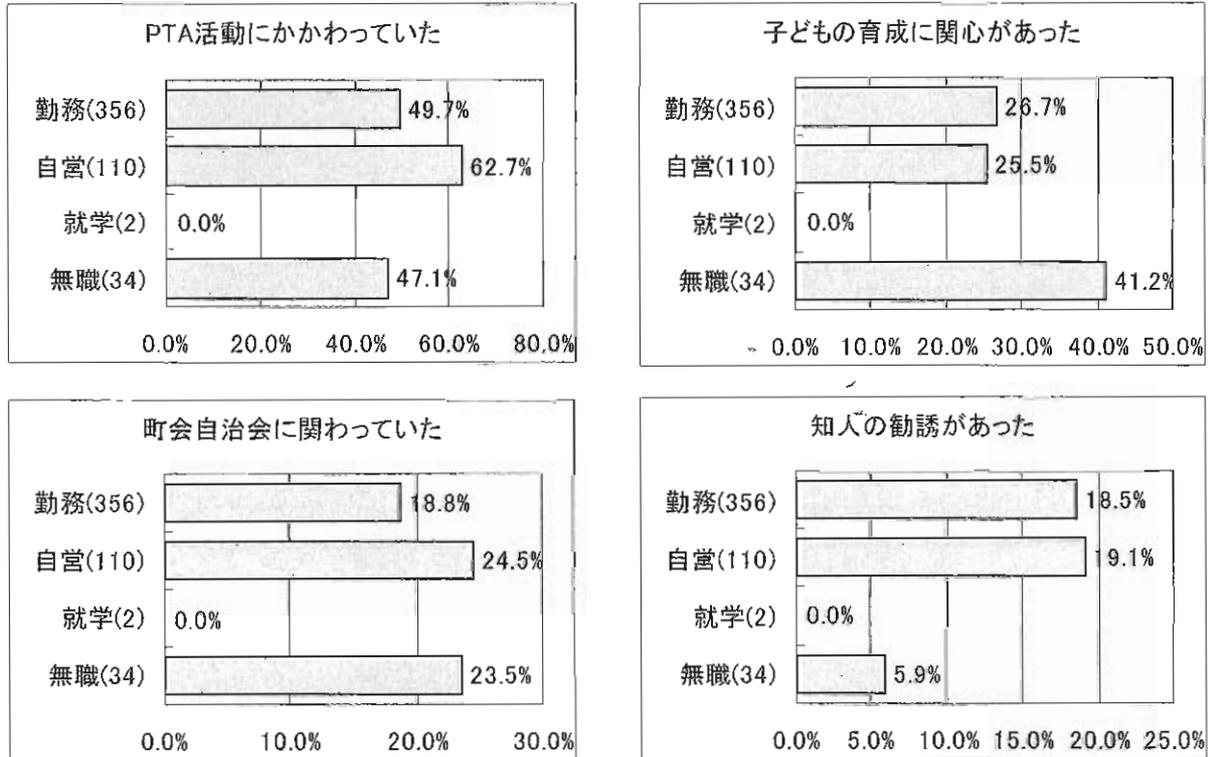


「子どもの居場所作り」アンケート結果

【仕事別】

仕事別にみると、「PTA活動に関わっていた」の割合は「自営」(62.7%)が「勤務」を15ポイント弱上回っている。「子どもの育成に関心があった」の割合は「無職」が41.2%に上っているが、基数(34)が十分とはいえない。

図2-5-4 仕事別



## 2-6 参加者の活動形態

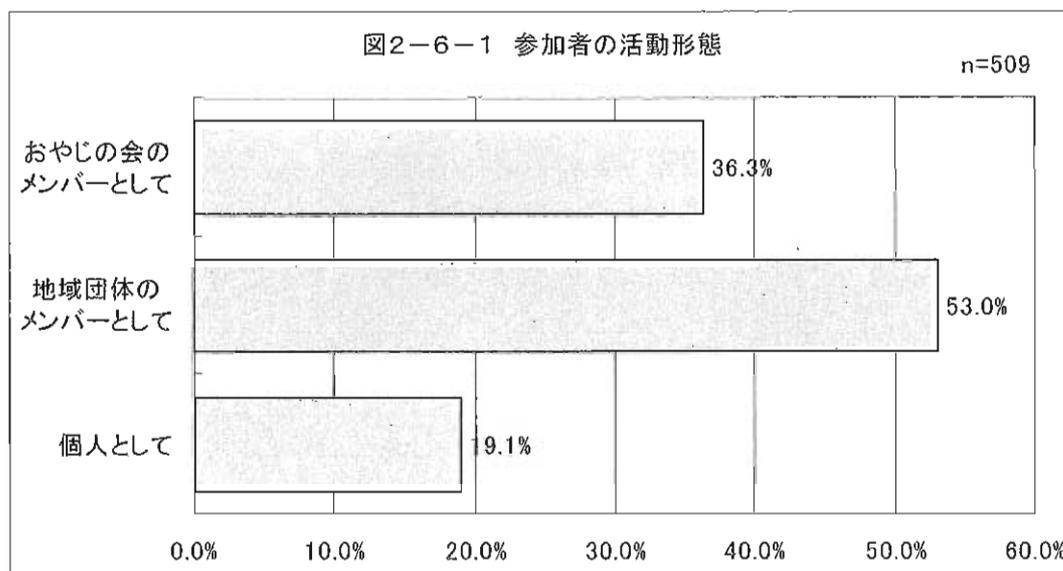
### ◇ 団体のメンバーとして活動している人は9割弱

6) どのような形態で参加していますか。

- a. おやじの会（父親を中心に活動する地域団体）のメンバーとして
- b. おやじの会以外の地域団体のメンバーとして
- c. 団体ではなく個人として

#### 【総括】

育成活動に参加している人(509人)に参加の形態を聞いたところ、「おやじの会以外の地域団体のメンバーとして」(53.0%)が過半を占め、「おやじの会（父親を中心に活動する地域団体）のメンバーとして」(36.3%)と合わせると、延べ9割弱(重複活動者9.0%を含む)が団体のメンバーとして活動している。

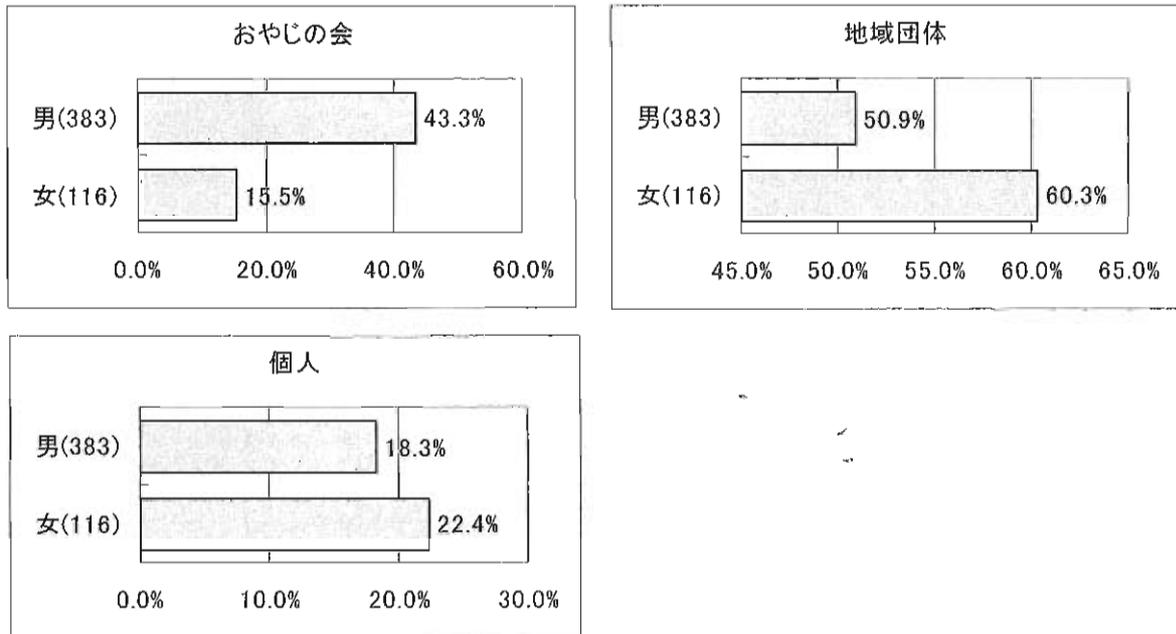


# 「子どもの居場所作り」アンケート結果

## 【性別】

性別にみると、「おやじの会のメンバーとして」の割合は男性が27.8ポイント高く、「おやじの会以外の地域団体のメンバーとして」の割合は女性が9.4ポイント高くなっている。

図2-6-2 性別

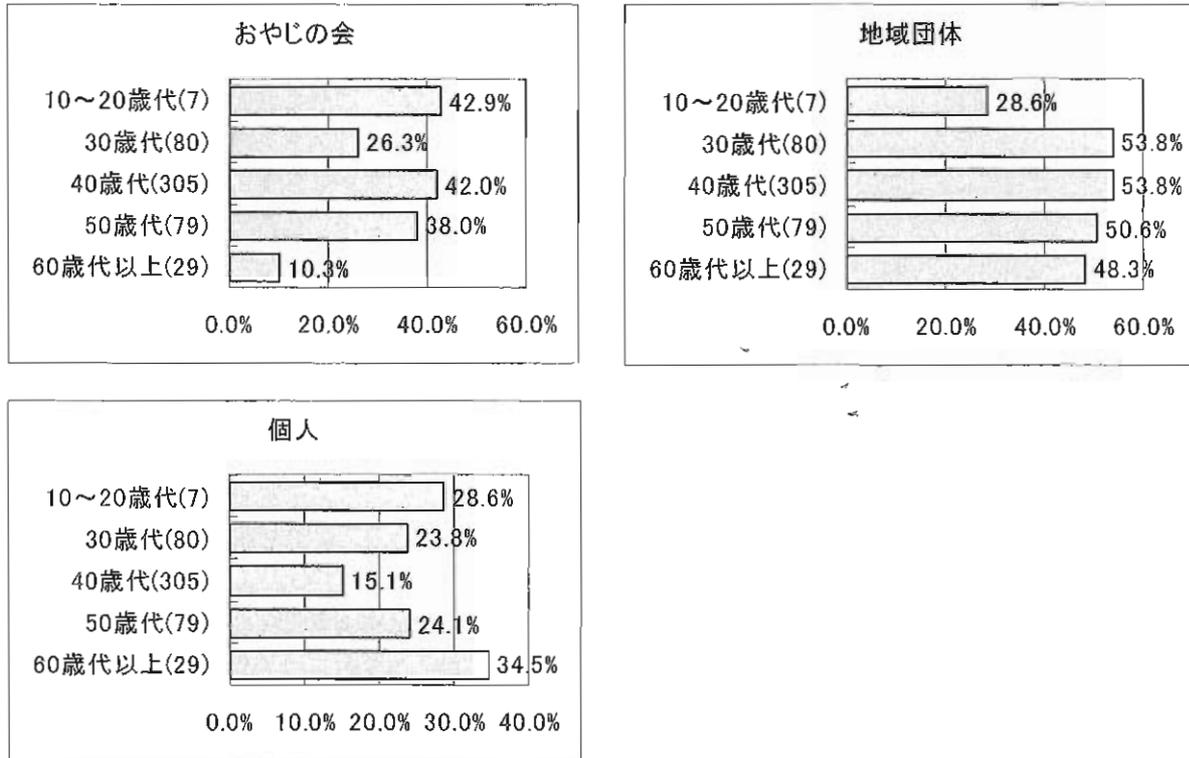


# 「子どもの居場所作り」アンケート結果

## 【年齢層別】

年齢層別にみると、「おやじの会のメンバーとして」の割合は40歳代の42.0%、「おやじの会以外の地域団体のメンバーとして」の割合は30歳代の53.8%、「団体ではなく個人として」の割合は60歳代以上の34.5%(基数は29で十分とはいえない)が最も高くなっている。

図2-6-3 年齢層別

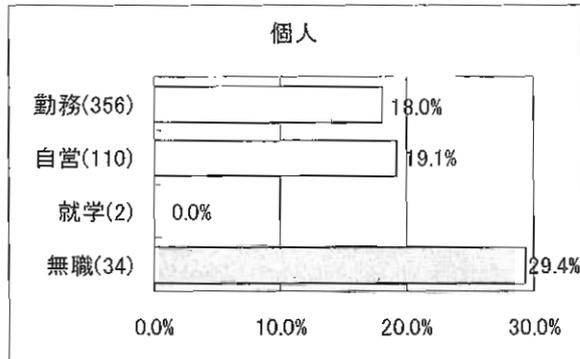
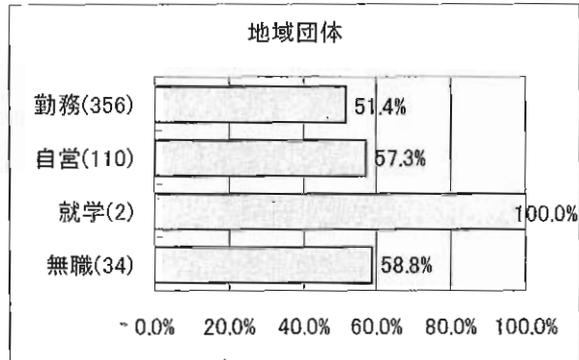
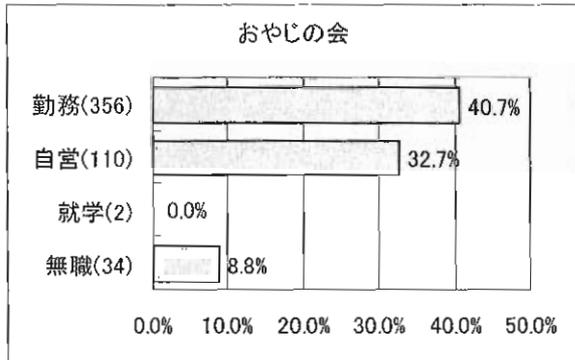


「子どもの居場所作り」アンケート結果

【仕事別】

職業別にみると、「おやじの会のメンバーとして」の割合は「勤務」(40.7%)、「おやじの会以外の地域団体のメンバーとして」の割合、「団体ではなく個人として」の割合は「無職」(基数は34で十分とはいえない)が最も高くなっている。

図2-6-4 仕事別



## 2-7 団体活動の成果

◇ 「地域活動の大切さが理解できた」と「子どもの成長に対する理解、関心が深まった」「親同士の連帯感が強まった」が4割台半ば

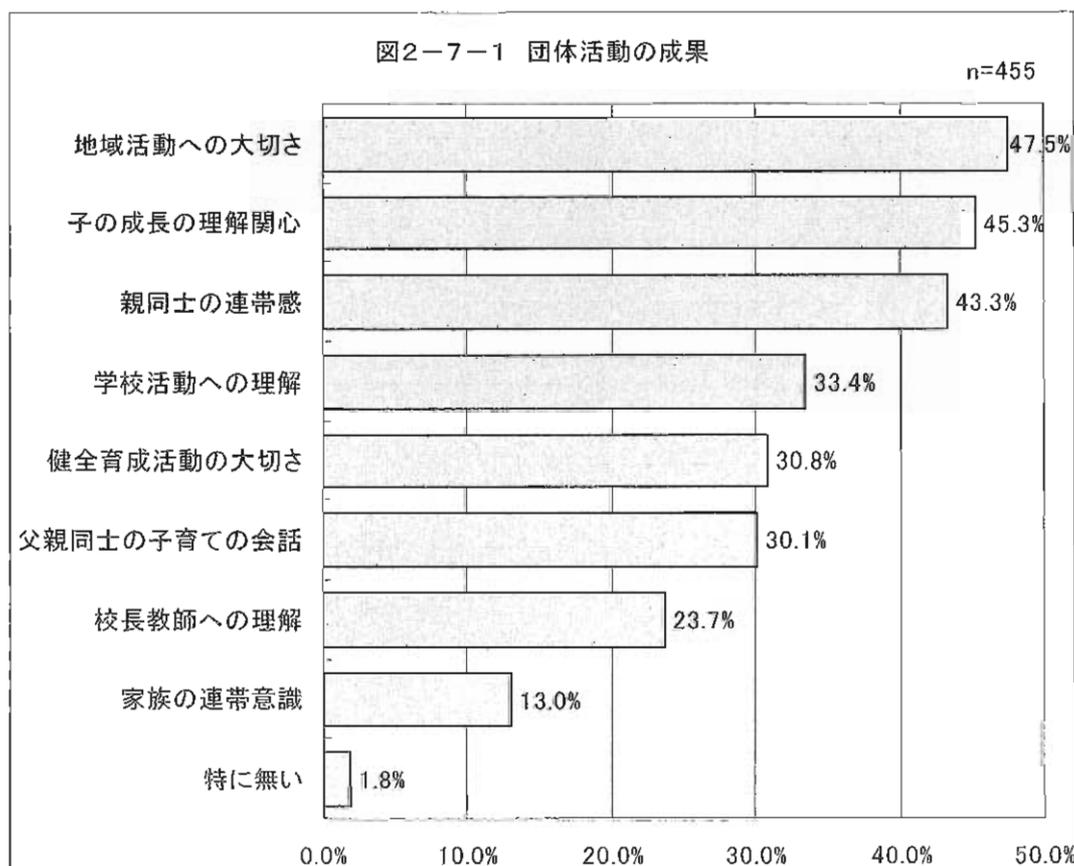
7)前問で「a.おやじの会」「b.地域団体」と回答した方に伺います。

①どのような成果が得られましたか。(複数選択も可)

- a.子どもの成長に対する理解、関心が深まった    b.健全育成活動の大切さを実感できた
- c.校長や教師の苦勞が理解できた    d.父親同士で子育てや教育の話ができた
- e.学校活動への理解が深まった    f.地域活動の大切さが理解できた
- g.親同士の連帯感が強まった    h.家族の連帯意識が強まった    i.特にない

### 【総括】

おやじの会及びおやじの会以外の地域団体のメンバーとして活動していると回答した人(455人)に、活動の成果を聞いたところ、「地域活動の大切さが理解できた」割合(47.5%)が最も高く、「子どもの成長に対する理解、関心が深まった」(45.3%)、「親同士の連帯感が強まった」(43.3%)の割合も4割台半ばとなっている。

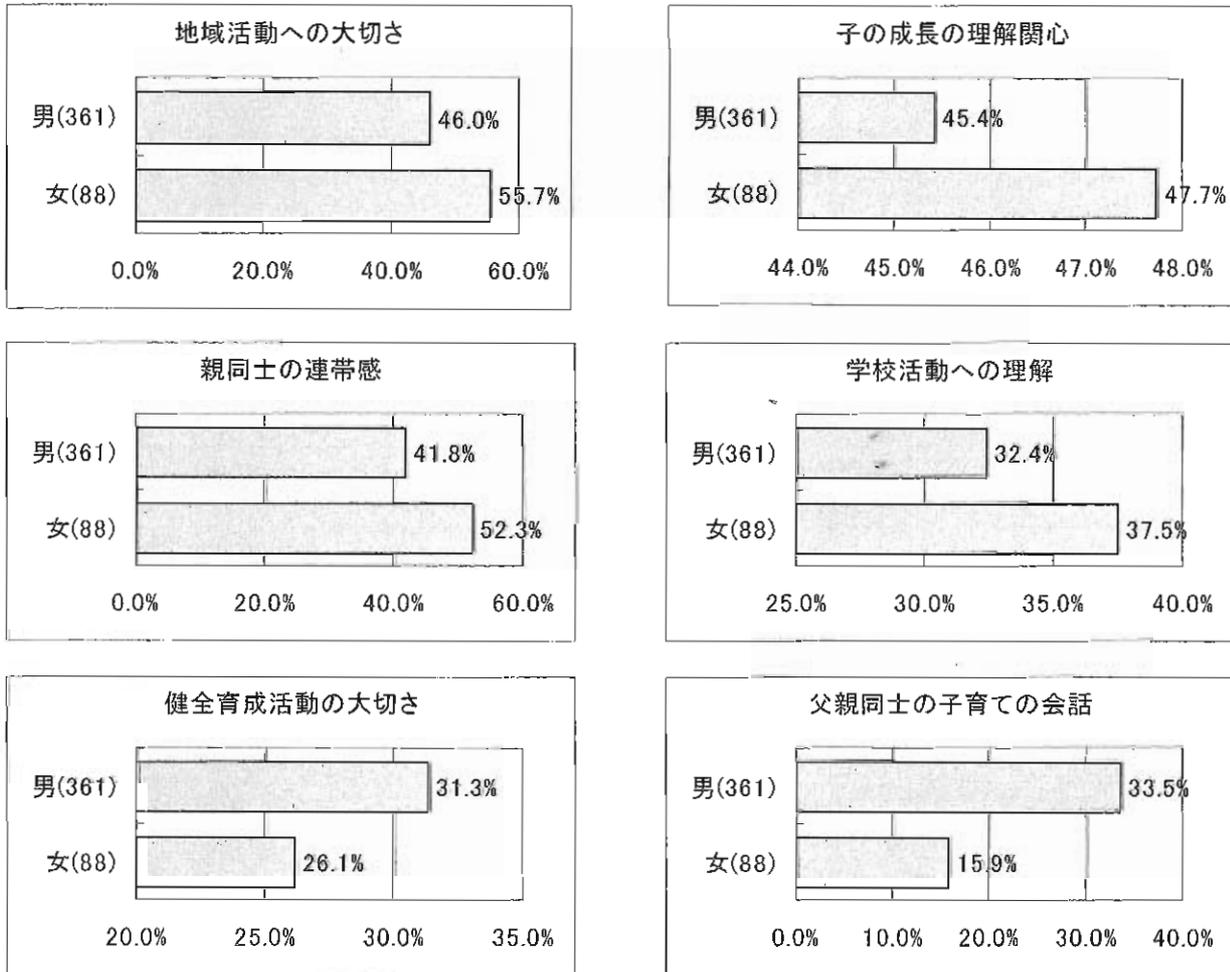


「子どもの居場所作り」アンケート結果

【性別】

上位6項目を性別にみると、男性女性とも「地域活動の大切さが理解できた」割合が最も高く、女性はその割合を男性を9.7ポイント上回っている。

図2-7-2 性別(上位6項目)

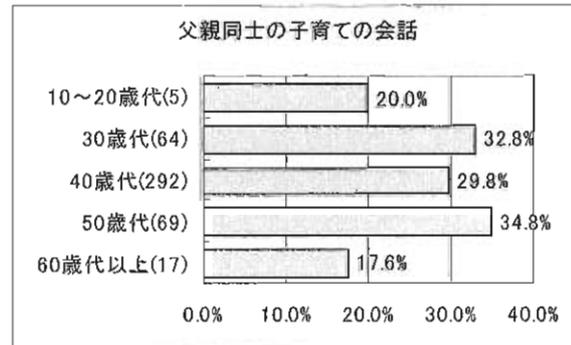
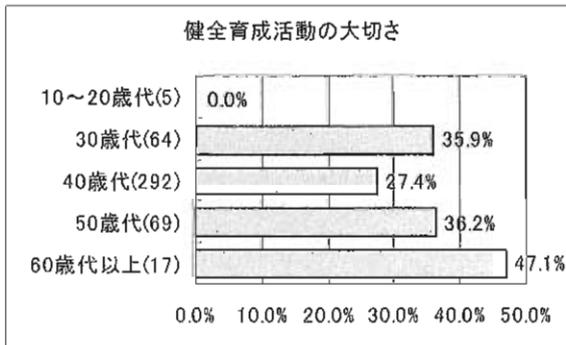
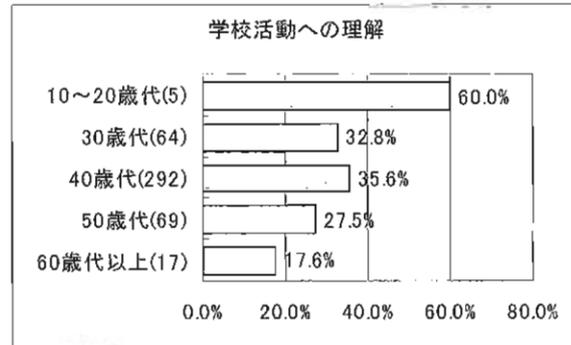
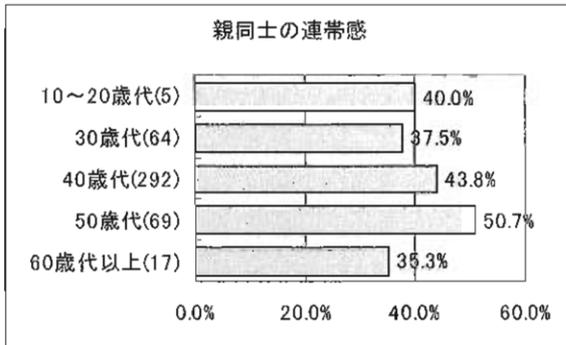
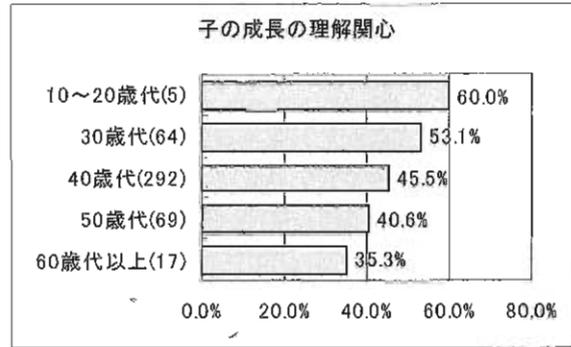
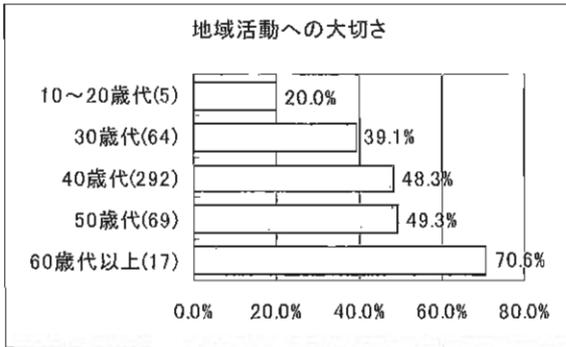


「子どもの居場所作り」アンケート結果

【年齢層別】

上位6項目を年齢層別にみると、年齢層が高くなるに連れて「地域活動の大切さが理解できた」の割合が高くなっている。30歳代では「子どもの成長に対する理解、関心が深まった」割合が最も高く(53.1%)、同じ子育て世代の50歳代を12.5ポイント上回っている。「親同士の連帯感が強まった」割合は50歳代(50.7%)が30歳代より13.2ポイント高くなっている。

図2-7-3 年齢層別(上位6項目)

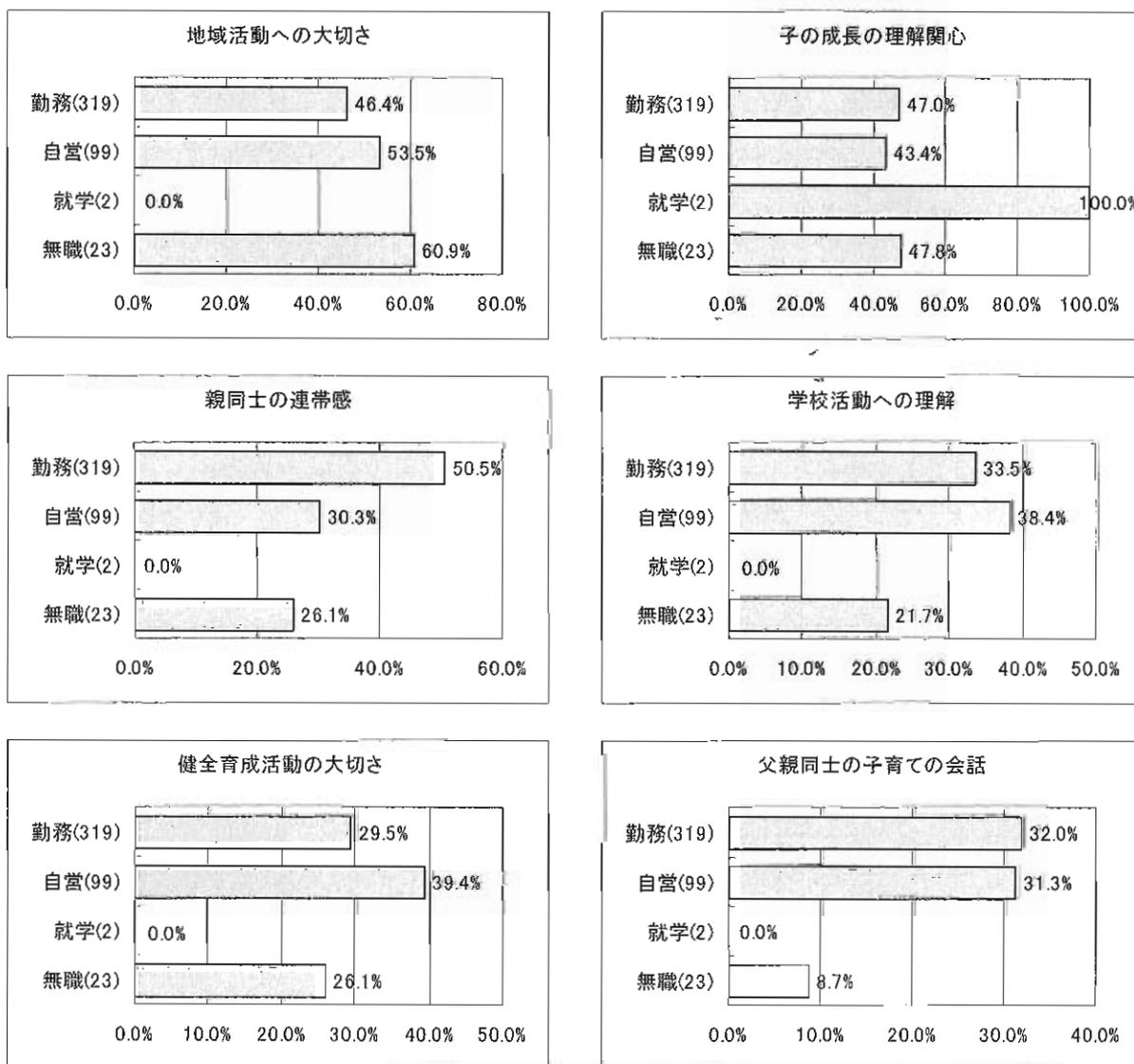


「子どもの居場所作り」アンケート結果

【仕事別】

上位6項目を仕事別にみると、「勤務」の人では「親同士の連帯感が強まった」の割合(50.5%)が最も高く、「自営」の人を20.2ポイント上回っている。「自営」の人では「地域活動の大切さが理解できた」の割合(53.5%)が最も高く、「勤務」の人を7.1ポイント上回っている。

図2-7-4 仕事別(上位6項目)



## 2-8 団体活動上の課題

### ◇ 4割半ばが「仕事との日程調整が難しい」

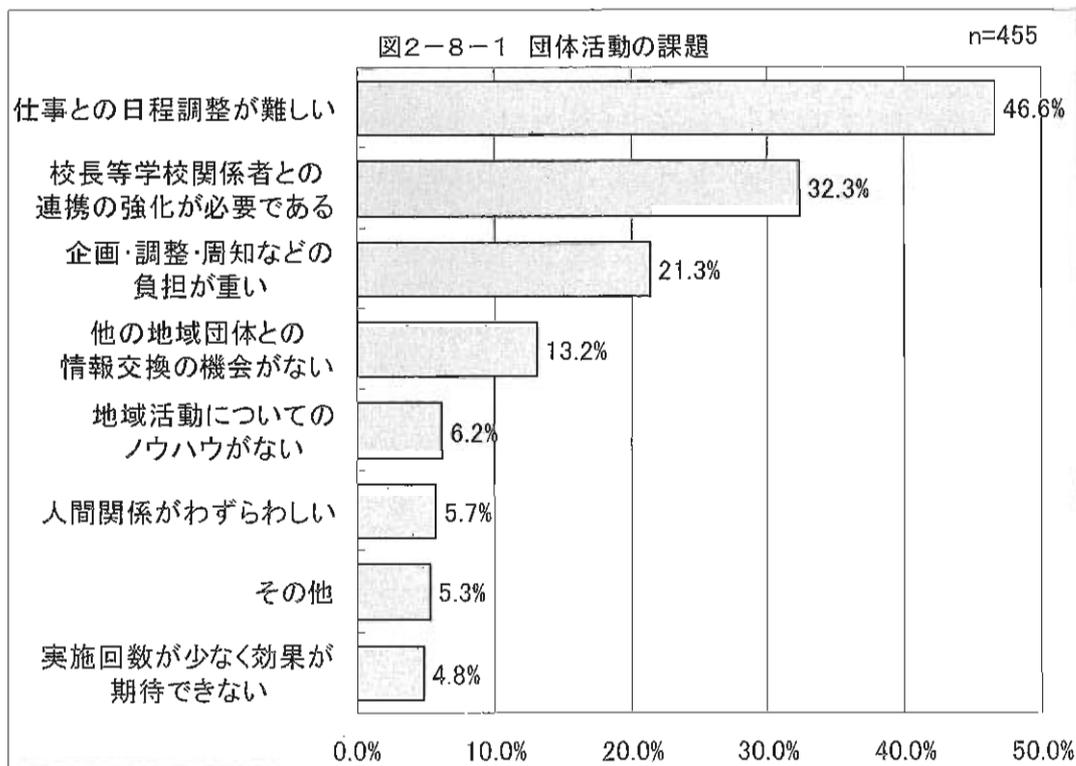
②団体活動にどのような課題があると思いますか。(複数選択も可)

- a. 校長等学校関係者との連携の強化が必要である
- b. 仕事との日程調整が難しい
- c. 企画・調整・周知等の負担が重い
- d. 実施回数が少なく効果が期待できない
- e. 地域活動についてのノウハウがない
- f. 他の地域団体との情報交換の機会がない
- g. 人間関係が煩わしい
- h. その他

#### 【総括】

おやじの会及びおやじの会以外の地域団体のメンバーとして活動していると回答した人(455人)に、団体活動上の課題を聞いたところ、「仕事との日程調整が難しい」(46.6%)と「校長等学校関係者との連携の強化が必要である」(32.3%)の割合が高くなっている。

図2-8-1 活動上の課題

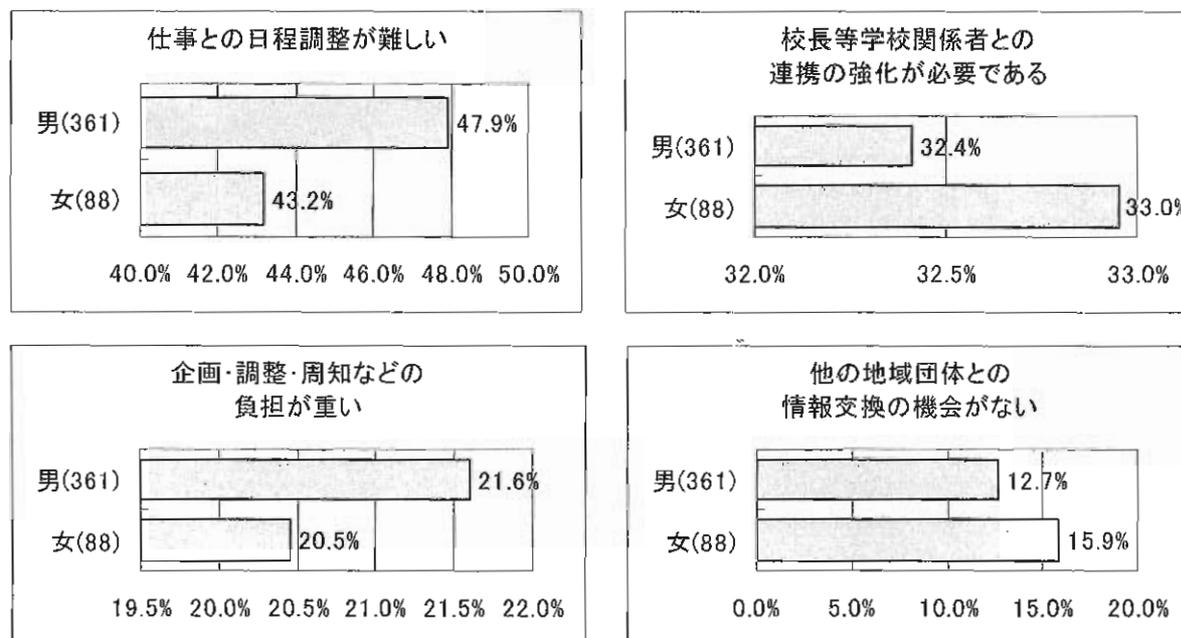


「子どもの居場所作り」アンケート結果

【性別】

上位4項目を性別にみると、男性女性とも「仕事との日程調整が難しい」の割合が4割台半ばで最も高く、「校長等学校関係者との連携の強化が必要である」の割合も3割台半ばとなっている。

図2-8-2 性別（上位4項目）

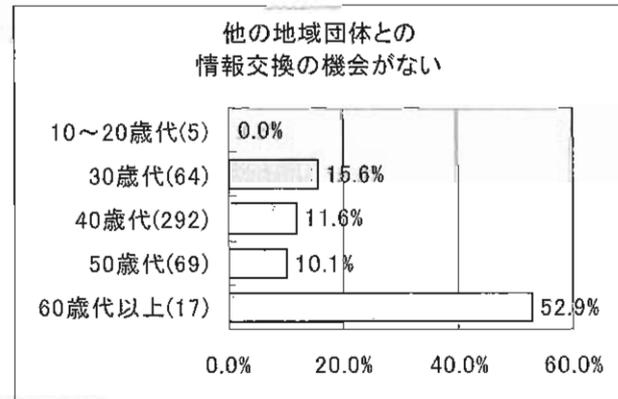
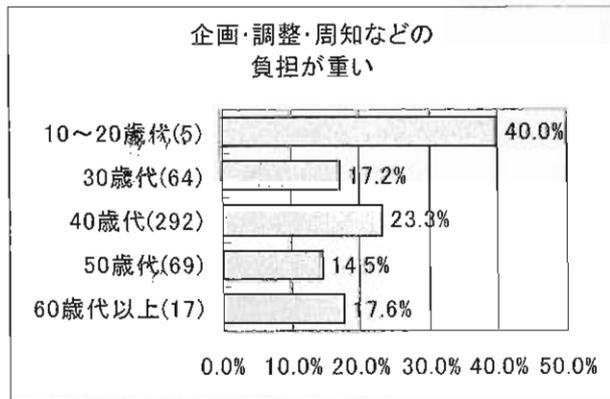
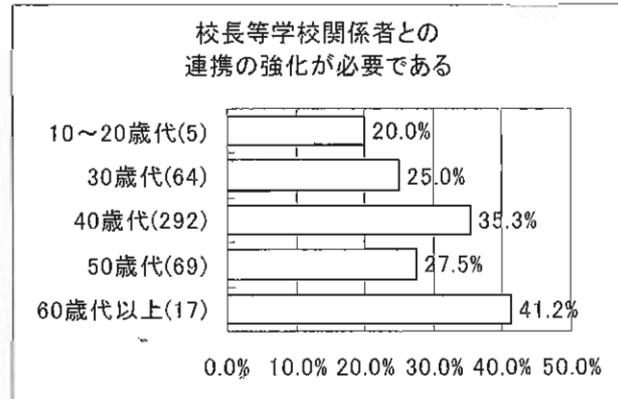
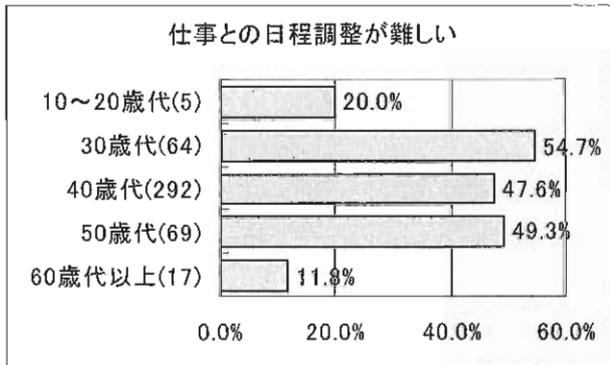


「子どもの居場所作り」アンケート結果

【年齢層別】

上位4項目を年齢層別にみると、活動の中心的存在である30歳代～50歳代で「仕事との日程調整が難しい」の割合が5割前後となっている。「校長等学校関係者との連携の強化が必要である」の割合は40歳代で3割台半ばとなっている。

図2-8-3 年齢層別（上位4項目）

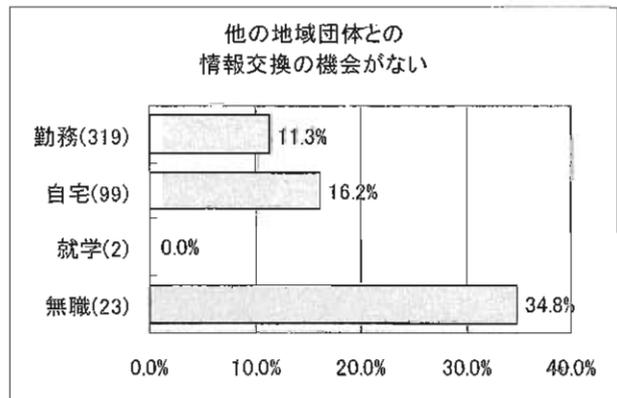
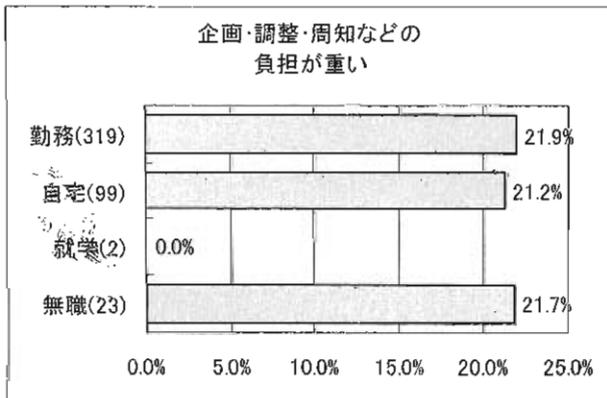
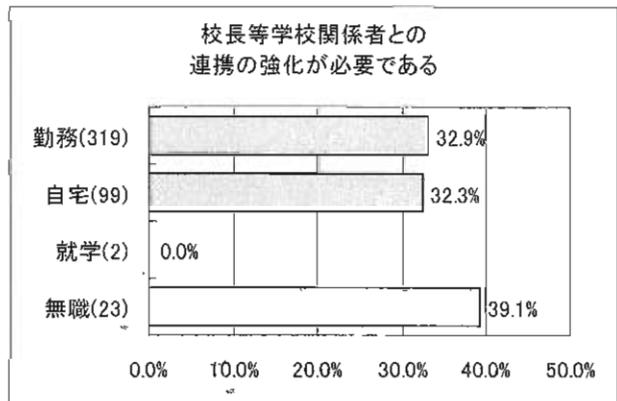
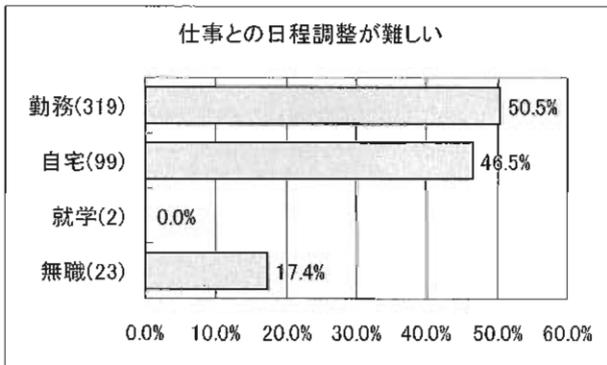


「子どもの居場所作り」アンケート結果

【仕事別】

上位4項目を仕事別にみると、「勤務」の人の「仕事との日程調整が難しい」の割合は「自営」の人より3.6ポイント高くなっている。

図2-8-4 仕事別（上位4項目）

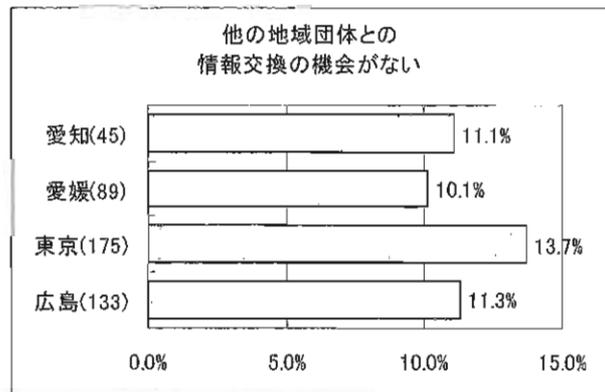
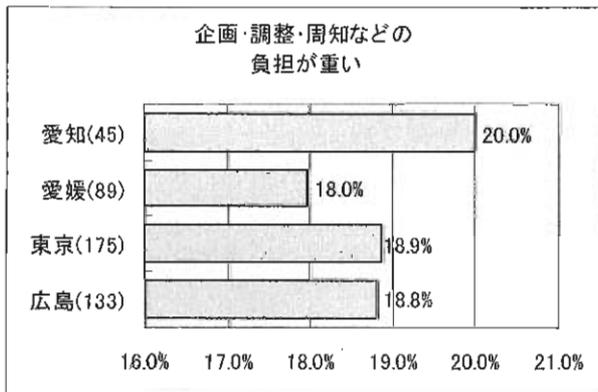
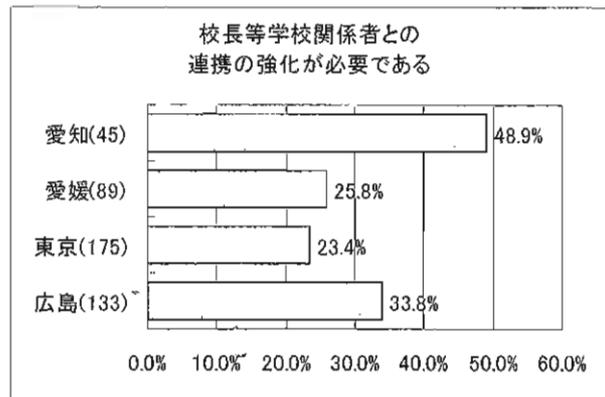
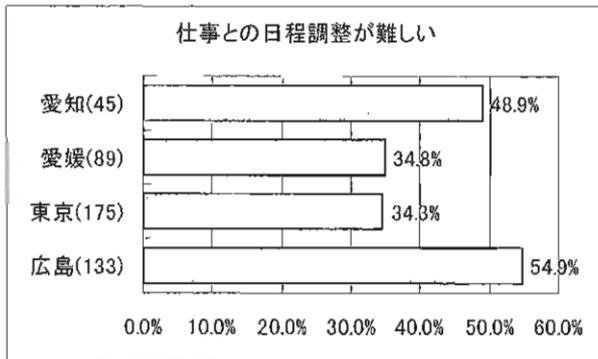


「子どもの居場所作り」アンケート結果

【地域別】

上位4項目を地域別（ある程度の基数のある4都県）にみると、広島県で「仕事との日程調整が難しい」の割合が54.9%となり、東京都を20ポイント上回っている。「校長等学校関係者との連携の強化が必要である」の割合は愛知県で5割弱となり、東京都より24.3ポイント高くなっている。

図2-8-5 地域別（上位4項目）



### 3-1 参加しやすい活動の形態

◇4人に1人が「今後とも参加できない」

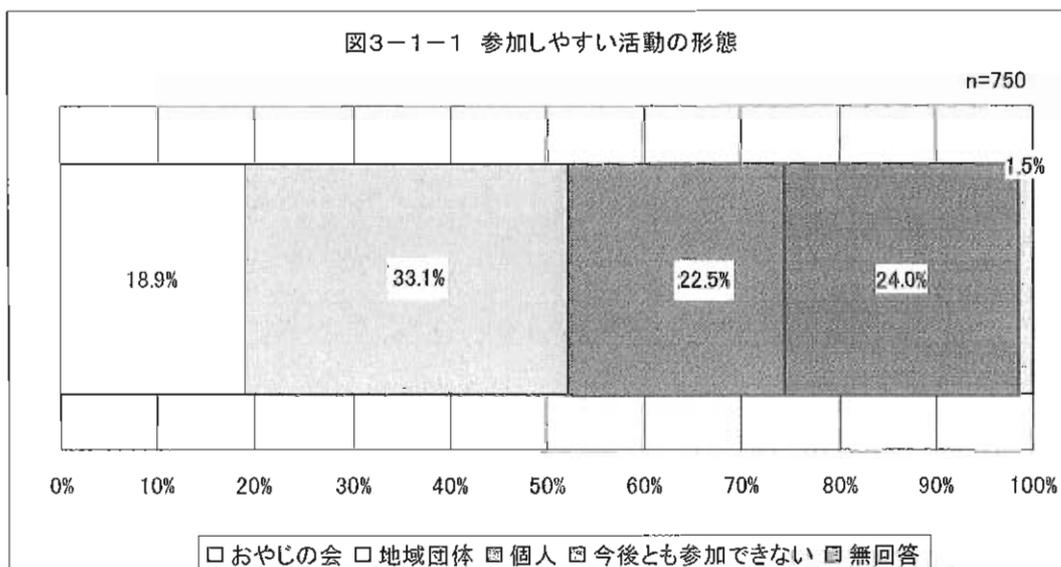
問3 問1で「b.いいえ」と回答した方のみ、ご意向を伺います。

1) どのような形であれば活動に参加しやすいと思いますか。

- a. おやじの会（父親中心に活動する地域団体）のメンバーとして
- b. おやじの会以外の地域団体のメンバーとして
- c. 団体でなく個人として
- d. 今後とも参加できない

#### 【総括】

放課後や休日などの時間に子どもの育成活動に参加していない人（750人）に、参加しやすい活動の形態を聞いたところ、3人に1人が「おやじの会以外の地域団体のメンバーとして」と回答し、また、子どもの育成活動に参加していない人のほぼ4人に1人が「今後とも参加できない」と回答している。

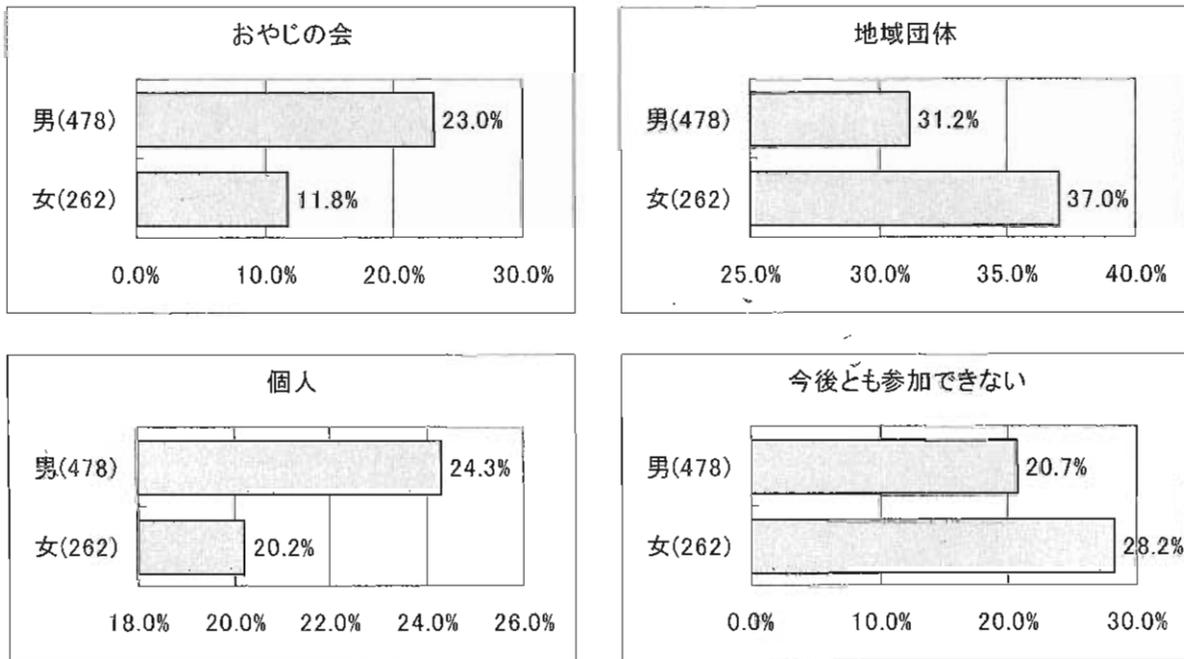


# 「子どもの居場所作り」アンケート結果

## 【性別】

性別にみると、「おやじの会のメンバーとして」と「団体でなく個人として」の割合は男性が女性を上回るが、「おやじの会以外の地域団体のメンバーとして」の割合は女性が5.4ポイント高くなっている。「今後とも参加できない」の割合は女性が7.5ポイント高くなっている。

図3-1-2 性別

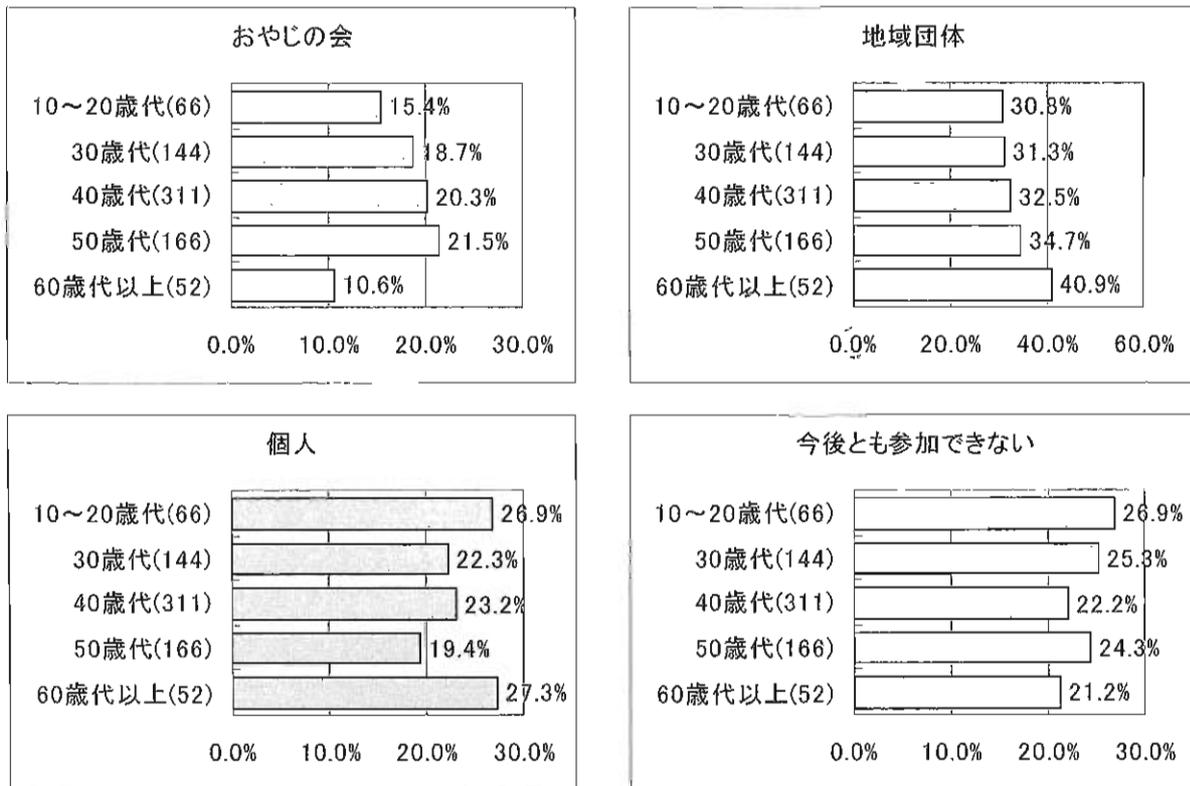


「子どもの居場所作り」アンケート結果

【年齢層別】

年齢層別にみると、10～20歳代と60歳代以上では「団体でなく個人として」の割合が高く、「おやじの会のメンバーとして」の割合は30歳代と40歳代で2割を越えている。「今後とも参加できない」の割合は60歳代以上が21.2%で最も低く、10歳・20歳代では全体の割合（24.0%）を約3ポイント上回っている。

図3-1-3 年齢層別

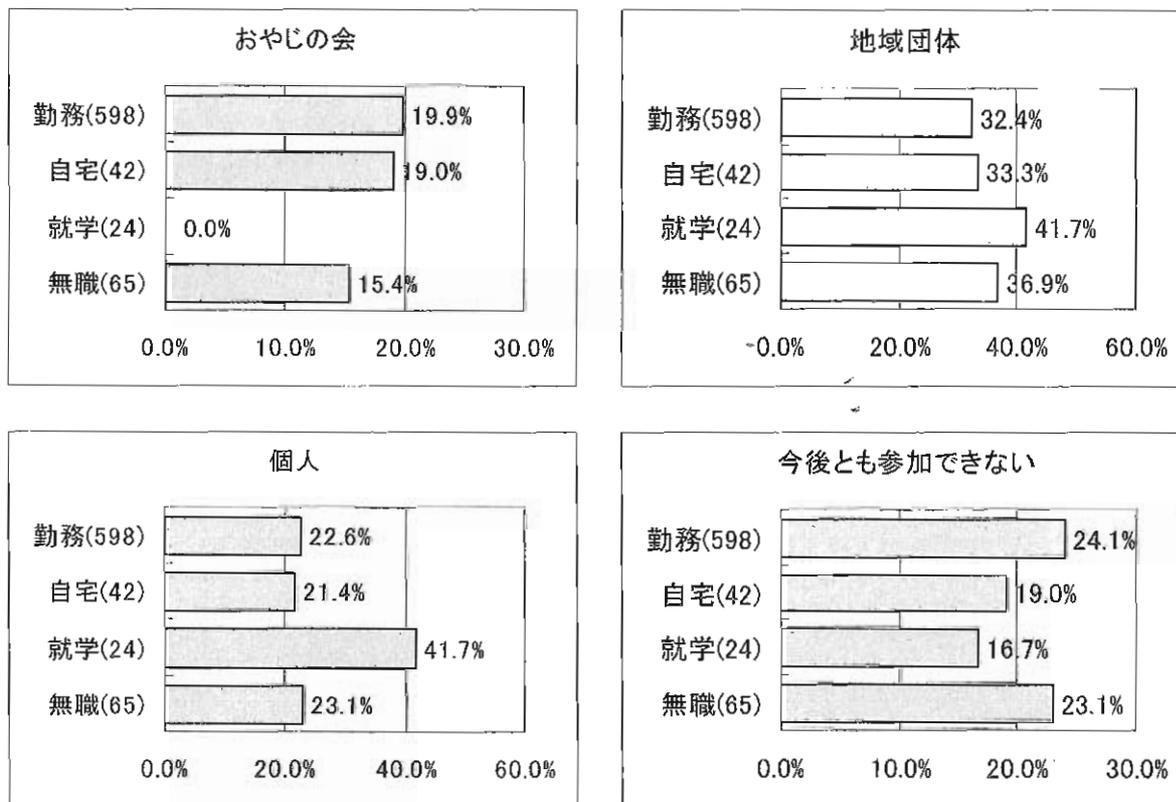


「子どもの居場所作り」アンケート結果

【仕事別】

仕事別にみると、「勤務」の人の割合は全体の割合と大きな差がない。「自営」の人は「団体でなく個人として」の割合が最も高く、「今後とも参加できない」の割合は全体の割合より5ポイント低くなっている。

図3-1-4 仕事別

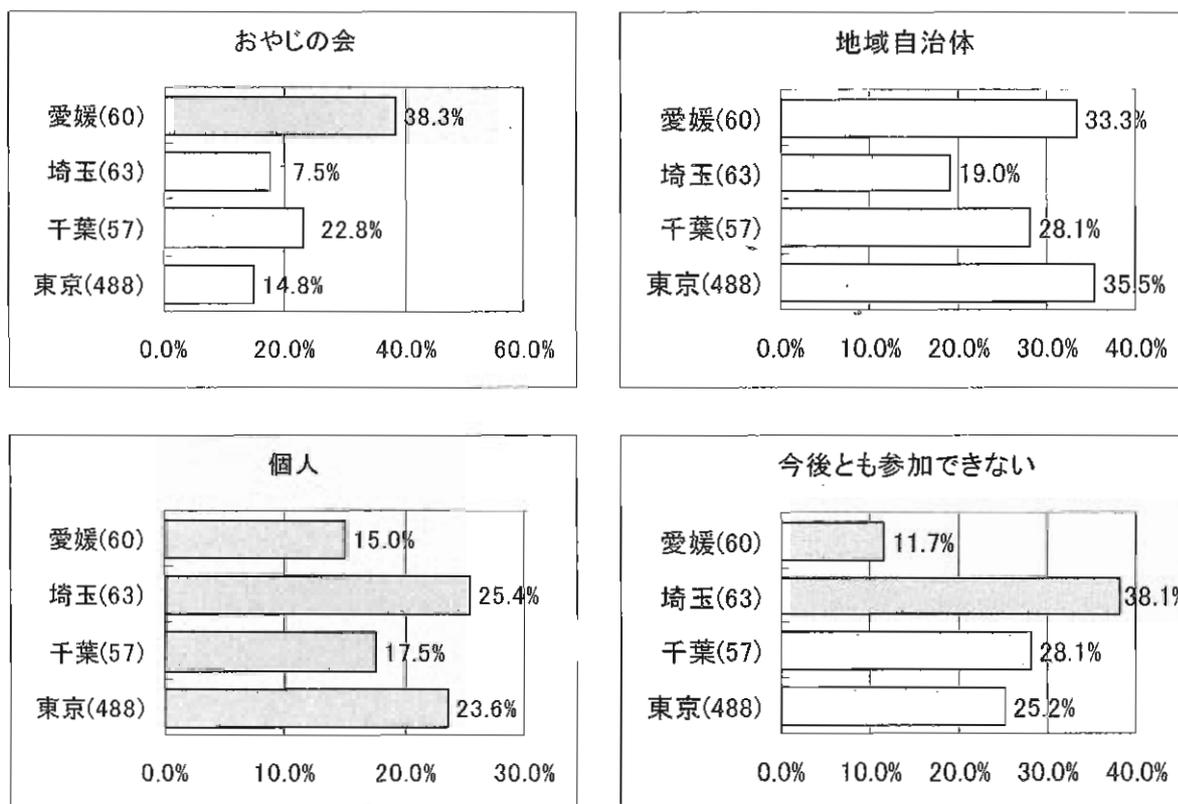


「子どもの居場所作り」アンケート結果

【地域別】

地域別（ある程度の基数のある4都県）にみると、「おやじの会のメンバーとして」の割合は愛媛県（38.3%）が最も高く、東京都を23.5ポイント上回っている。「団体でなく個人として」の割合は東京都（23.6%）が最も高く、愛媛県を8.6ポイント上回っている。「今後とも参加できない」の割合は埼玉県（38.1%）が最も高く、愛媛県を26.4ポイント上回っている。

図3-1-5 地域別



### 3-2 参加したい活動の分野

#### ◇「行事、お祭り等の交流活動」が4割強

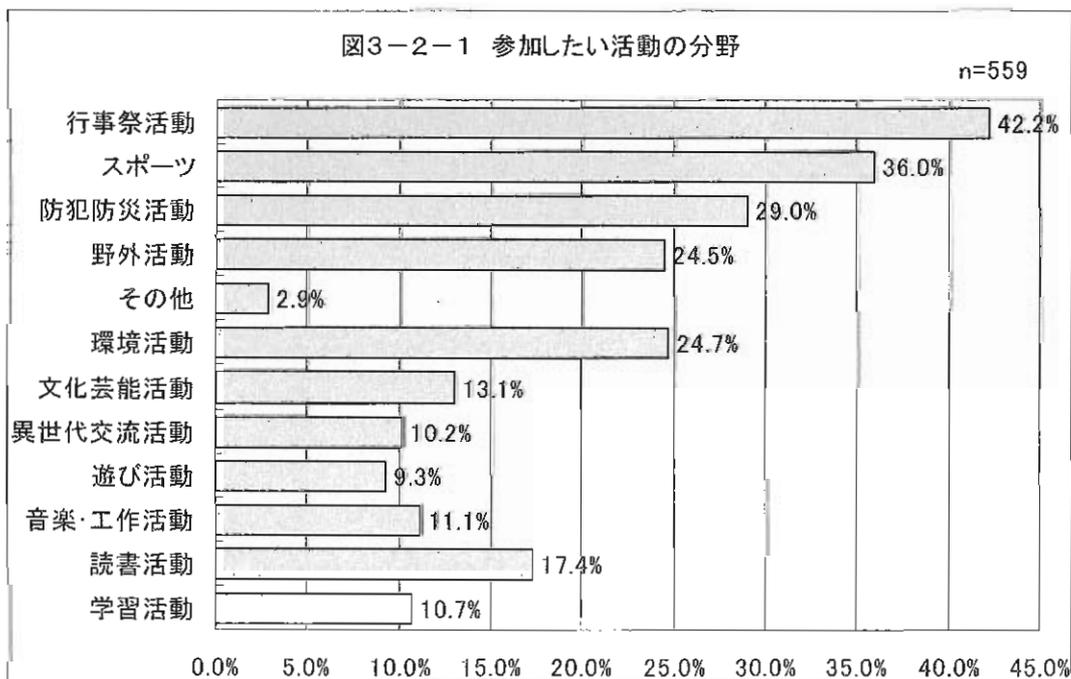
2) 前問で「a. おやじの会」「b. 地域団体」「c. 個人」と回答した方のみ伺います。

①今後、活動するとすればどのような分野であれば参加したいと思いますか。該当するものに○をしてください。(複数選択も可)

- a. スポーツ体験活動 b. 予習、復習、補習等の学習活動 c. 読書、読み聞かせ活動  
 d. 伝統文化・芸能等の体験活動 e. 音楽、工作等体験活動 f. 昔遊び、伝承遊び活動  
 g. 行事、お祭り等の交流活動 h. キャンプ、野外体験活動 i. 登下校時等の安全確保、防犯、防災活動  
 j. 環境美化活動 k. 地域の高齢者等異世代との交流活動 l. その他

#### 【総括】

前問で子どもの育成活動への意欲を示した人(559人)に、参加したい活動の分野(国の「放課後子どもプラン」推進のため連携方策で例示された取組みを参考に発問)を複数選んでもらったところ、「行事、お祭り等の交流活動」(42.2%)、「スポーツ体験活動」(36.0%)が4割前後、「登下校時等の安全確保、防犯、防災活動」、「キャンプ、野外体験活動」、「環境美化活動」の5分野が20%を上回っている。



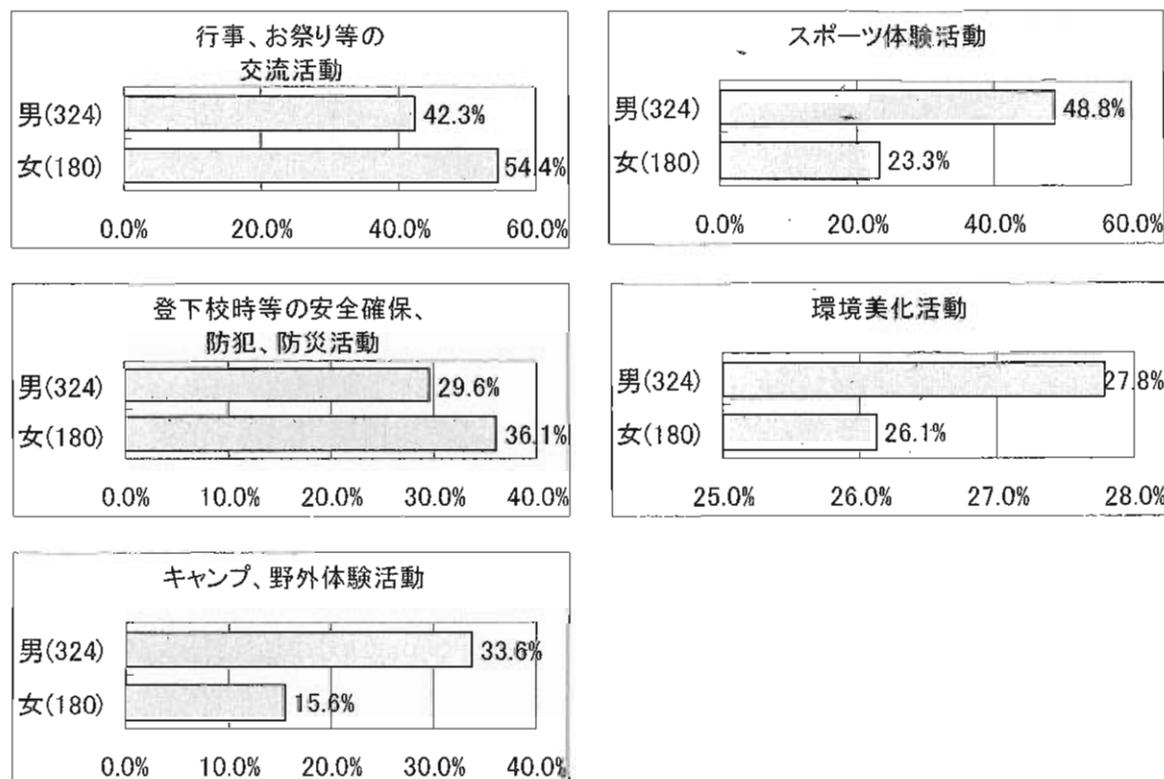
## 「子どもの居場所作り」アンケート結果

育成活動に参加している人の活動分野（2-1参照）と比較すると、参加していない人の意向は「行事、お祭り等の交流活動」の割合で10.5ポイント、「スポーツ体験活動」の割合で12.8ポイント低い反面、「予習、復習、補習等の学習活動読書」、「読み聞かせ活動」、「環境美化活動」では約9～14ポイント高くなっている。「登下校時等の安全確保、防犯、防災活動」はほとんど差がない。

### 【性別】

上位5種目を性別にみると、男性では「スポーツ体験活動」の割合（48.8%）が最も高く、女性を25.5ポイント上回っている。女性では「行事、お祭り等の交流活動」の割合（54.4%）が最も高く、男性を12.1ポイント上回っている。

図3-2-2 性別（上位5種目）

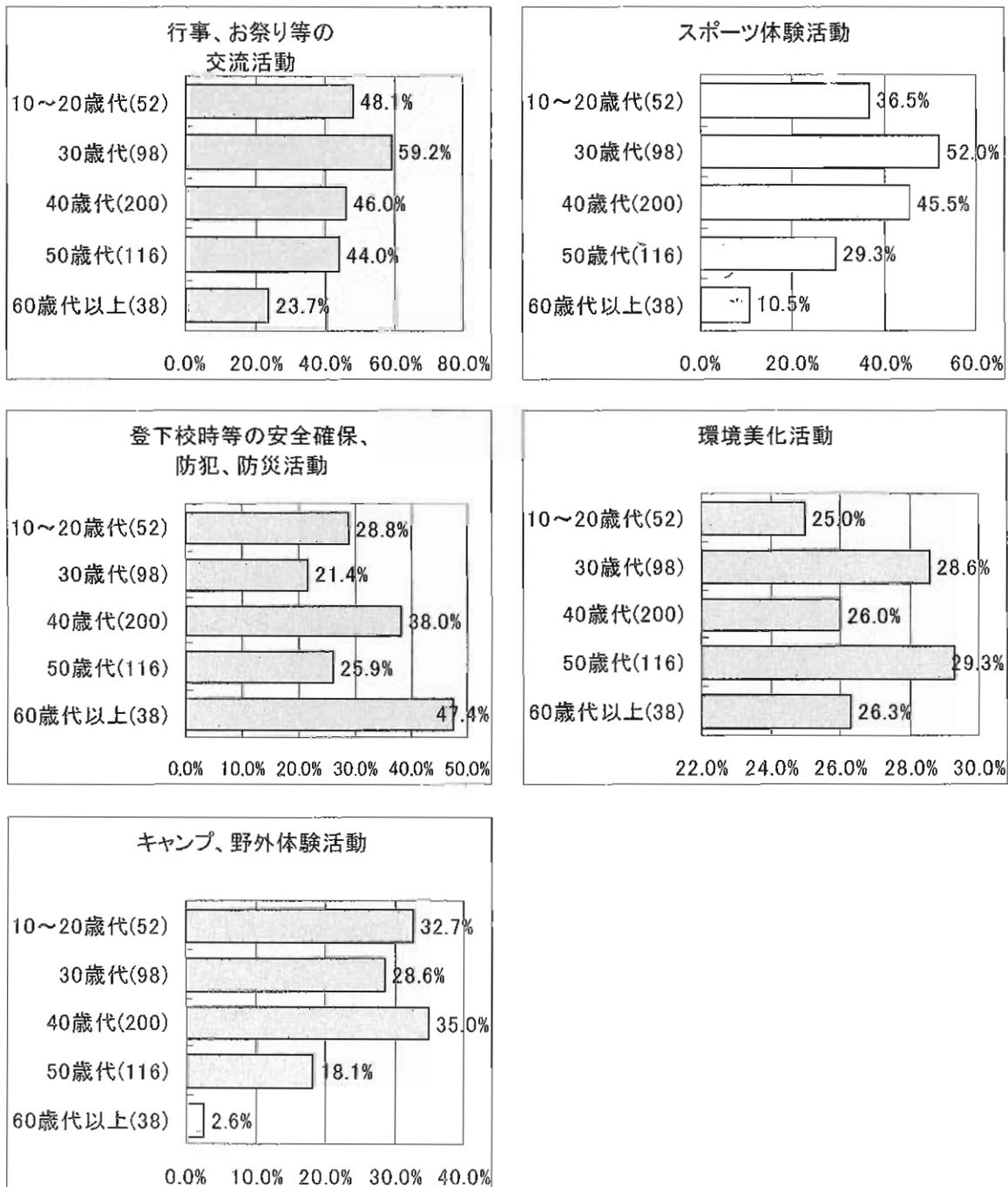


「子どもの居場所作り」アンケート結果

【年齢層別】

上位5種目を年齢層別にみると、60歳代以上を除いた各年齢層で「行事、お祭り等の交流活動」の割合が最も高く、「スポーツ体験活動」がこれに次いで高くなっている。「環境美化活動」、「登下校時等の安全確保、防犯、防災活動」の割合は全年齢層で2割を越えている。

図3-2-3 年齢層別（上位5種目）

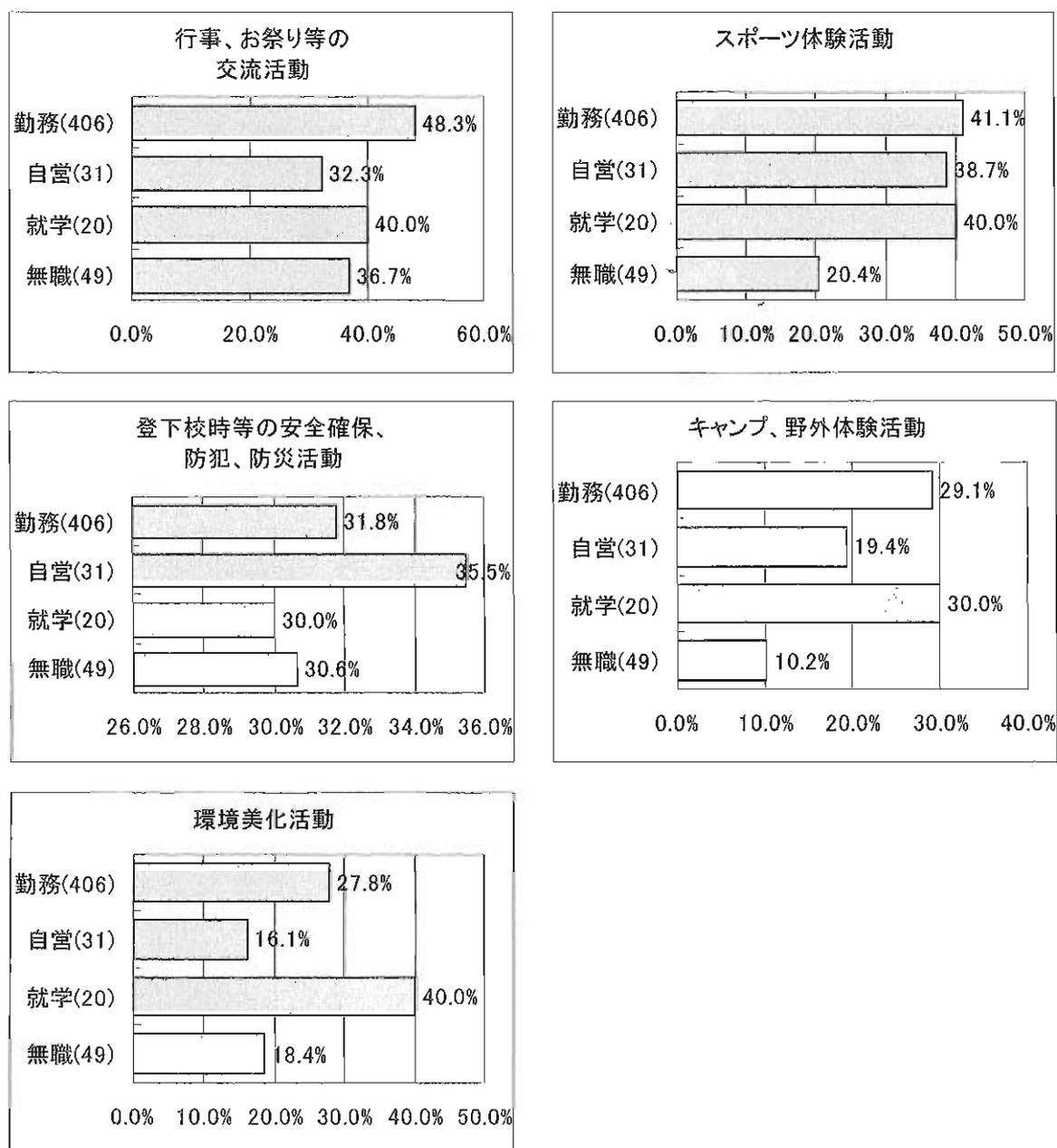


## 「子どもの居場所作り」アンケート結果

### 【仕事別】

上位5種目を仕事別にみると、「勤務」の人では「行事、お祭り等の交流活動」の割合（48.3%）が、「自営」の人では「スポーツ体験活動」の割合（38.7%）が最も高くなっている。「登下校時等の安全確保、防犯、防災活動」はすべての区分で3割以上となっている。

図3-2-4 仕事別（上位5種目）



### 3-3 活動への参加にあたって必要なこと

#### ◇ 「地域に関わる人々との人間関係」が6割弱

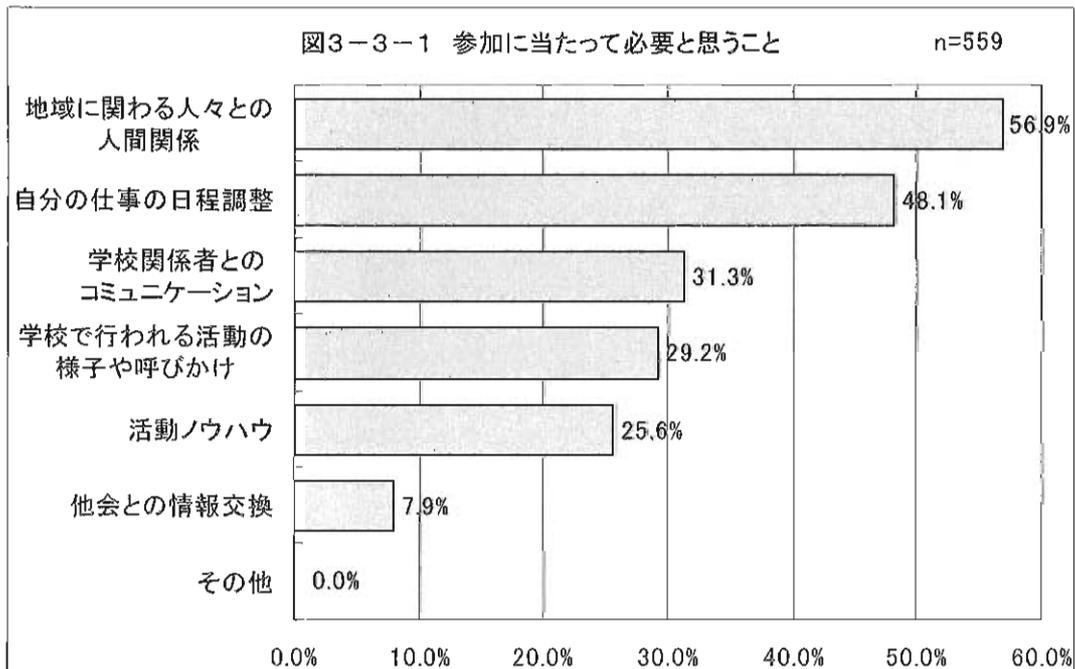
②活動への参加にあたって、どのようなことが必要だと思われますか。(複数選択も可)

- a. 校長等学校関係者とのコミュニケーション
- b. 自分の仕事の日程調整
- c. 学校で行われる活動の様子や呼びかけ
- d. 活動に必要なノウハウやマニュアル
- e. 他の「おやじの会」との情報意見交換
- f. 地域に関わる人々との人間関係
- g. その他

#### 【総括】

おやじの会、おやじの会以外の地域団体のメンバー又は個人として活動する意欲のある人(559人)に、参加にあたって必要と思うことを聞いたところ、「地域に関わる人々との人間関係」の割合が56.9%と最も高く、「自分の仕事の日程調整」の割合も5割に近くなっている。

育成活動に参加している人の課題意識(2-8参照。ただし、おやじの会及びおやじの会以外の地域団体のメンバーのみ)と比較すると、参加していない人では「地域に関わる人々との人間関係」では51.2ポイント、「活動に必要なノウハウやマニュアル」の割合で19.4ポイント高くなっている。「自分の仕事の日程調整」の割合には大きな差はない。

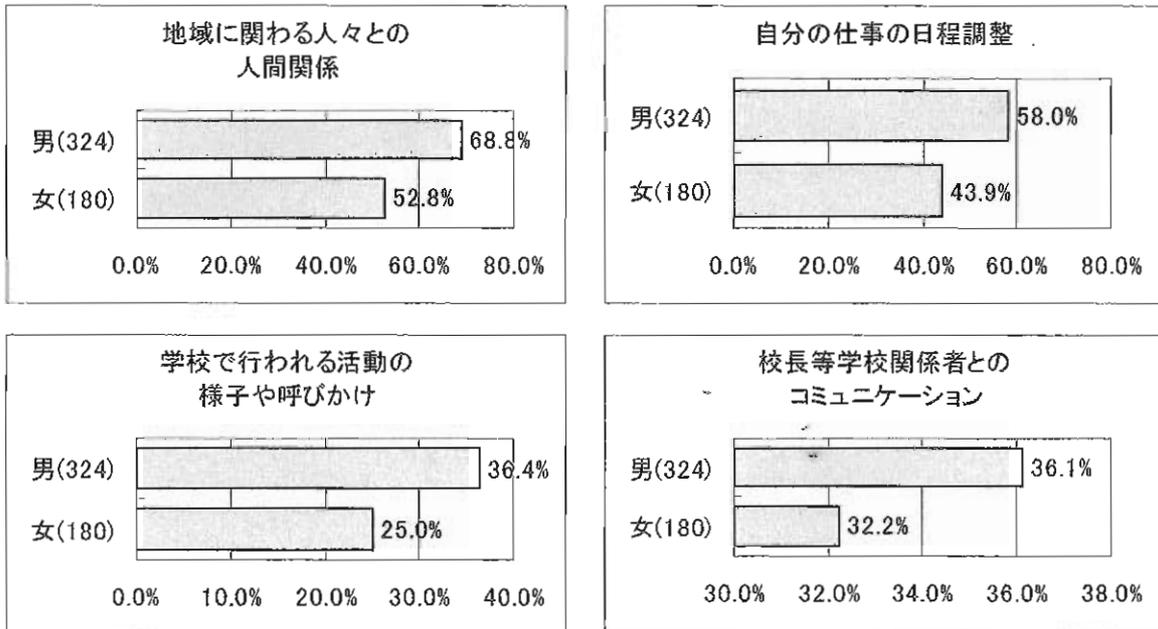


# 「子どもの居場所作り」アンケート結果

## 【性別】

上位4項目を性別にみると、男性が全項目で女性より高く、「地域に関わる人々との人間関係」の割合では16ポイント、「自分の仕事の日程調整」の割合では14.1ポイント上回っている。

図3-3-2 性別(上位4項目)

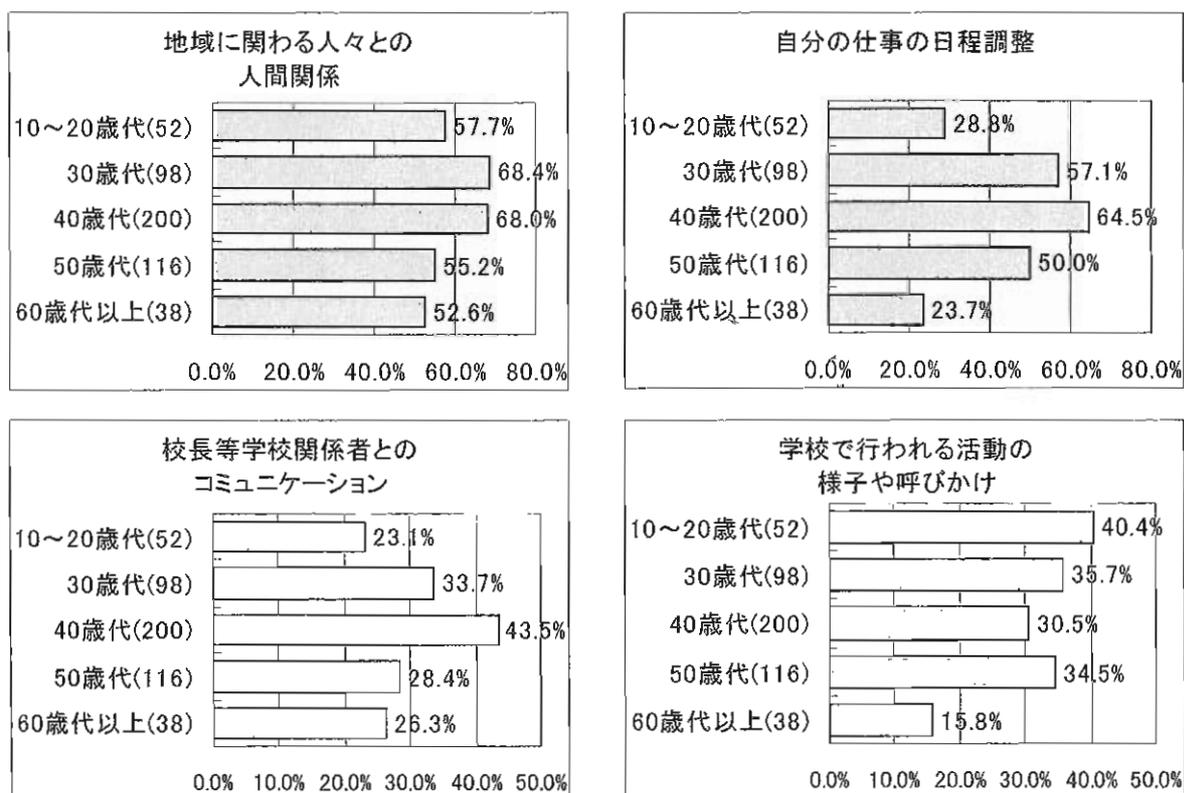


「子どもの居場所作り」アンケート結果

【年齢層別】

上位4項目を年齢層別にみると、すべての年齢層で「地域に関わる人々との人間関係」の割合が最も高く、30歳代と40歳代で7割に近づいている。40歳代では「自分の仕事の日程調整」の割合が6割台半ばとなっている。

図3-3-3年齢層別(上位4項目)

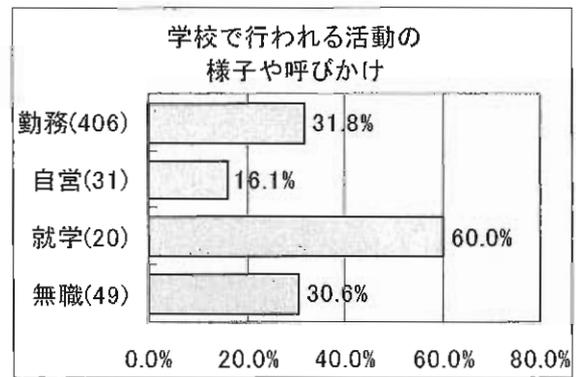
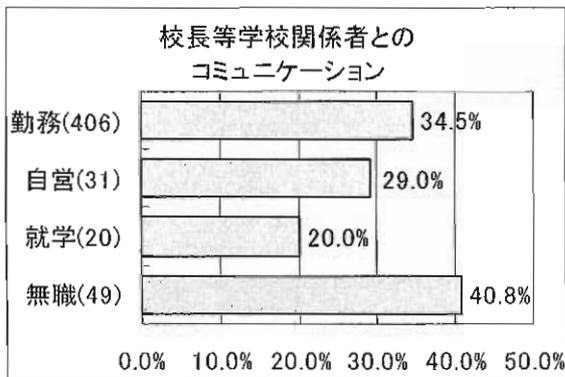
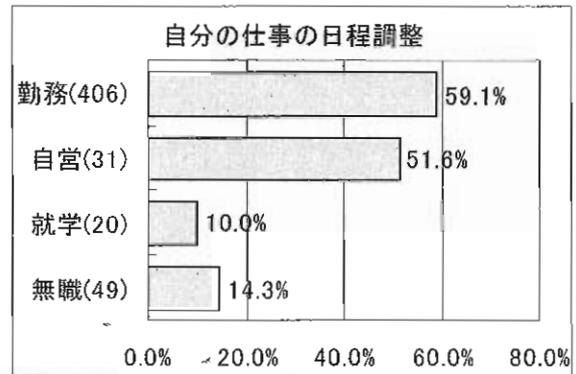
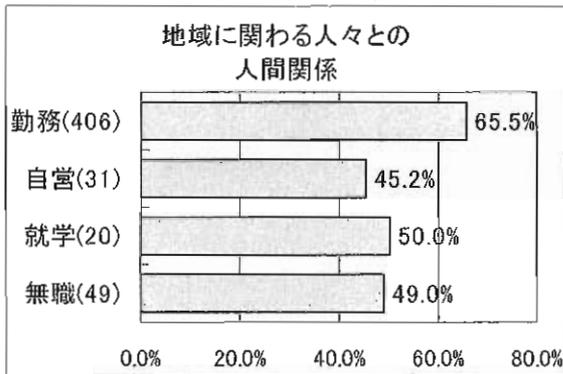


「子どもの居場所作り」アンケート結果

【仕事別】

上位4項目を仕事別にみると、「勤務」の人「地域に関わる人々との人間関係」の割合は6割半ばを越え、「自営」の人を20.3ポイント上回っている。「自営」の人では「自分の仕事の日程調整」の割合(51.6%)が最も高いが、「勤務」の人を7.5ポイント下回っている。

図3-3-4 仕事別(上位4項目)

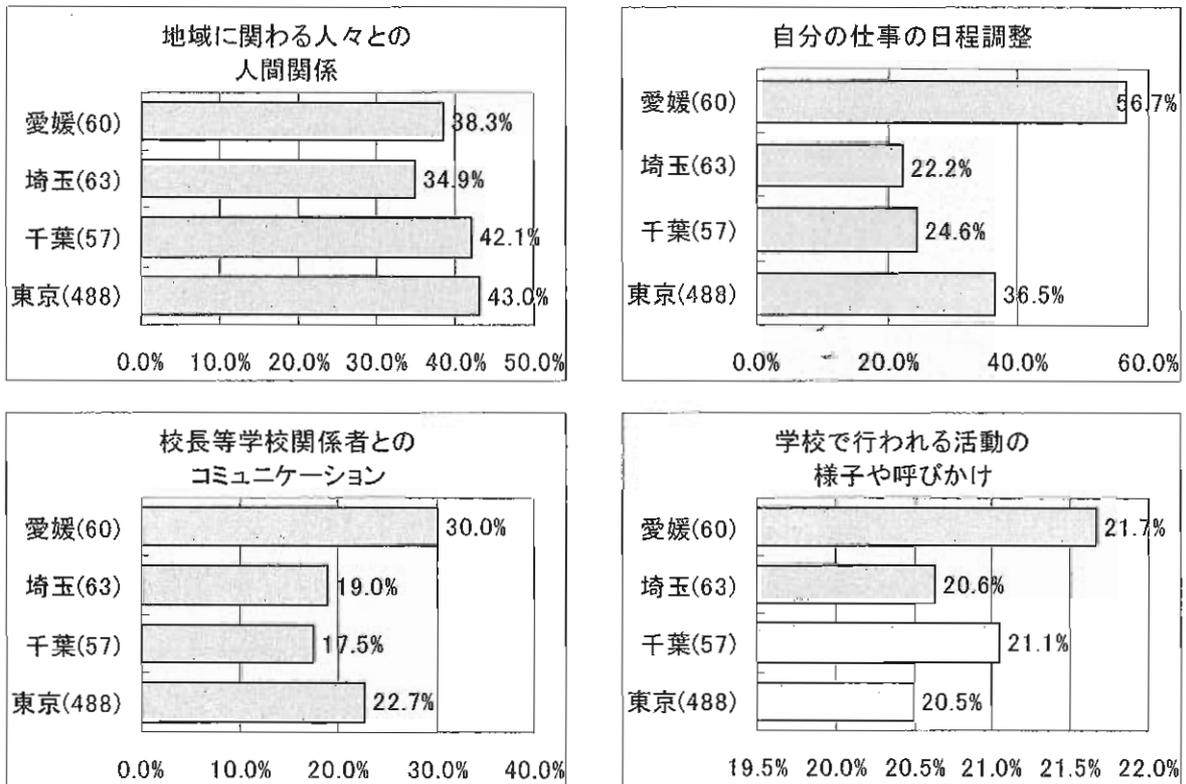


「子どもの居場所作り」アンケート結果

【地域別】

上位4項目を地域別(傾向が分かる基数のある4都県)にみると、「地域に関わる人々との人間関係」の割合は東京都と千葉県が4割を越え、埼玉県より7~8ポイント高くなっている。「自分の仕事の日程調整」の割合では愛媛県が6割弱と、埼玉県、千葉県を32~34ポイント強上回っている。

図3-3-5 地域別(上位4項目)



#### 4-1 「放課後子どもプラン」の認知度

##### ◇7割強が「知らない」

問4 文部科学省と厚生労働省の連携で実施されている「放課後子どもプラン」について伺います。現在実施されている「放課後子どもプラン」のことをご存知ですか。

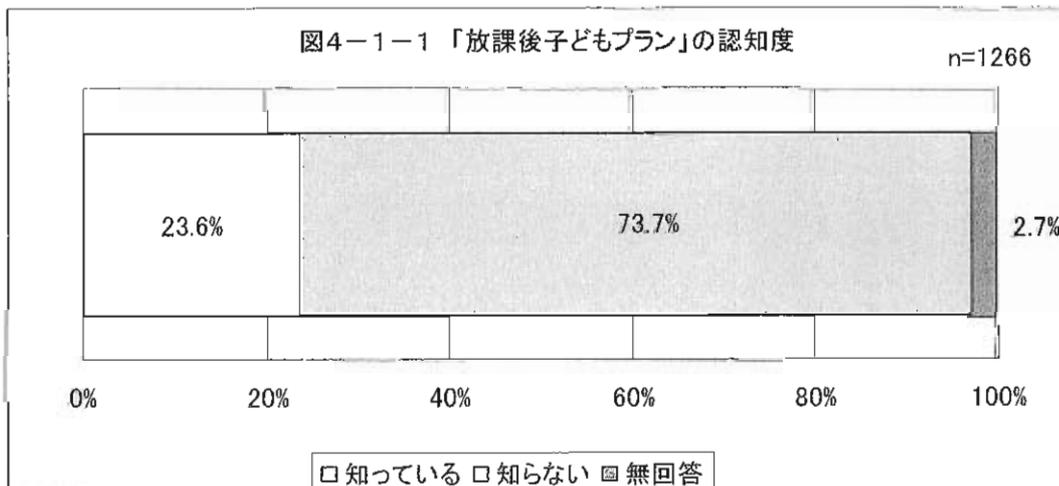
- a. 知っている
- b. 知らない

##### 【総括】

「放課後子どもプラン」の認知度について聞いたところ、「知っている」割合は23.6%で、7割強の人が「知らない」（73.7%）と回答している。

子どもたちの育成活動への参加状況（問1）の関連をみると、参加している509人のうちの64.6%（329人）が「知らない」と、参加していない750人のうちの20.3%（152人）が「知っている」と回答している。

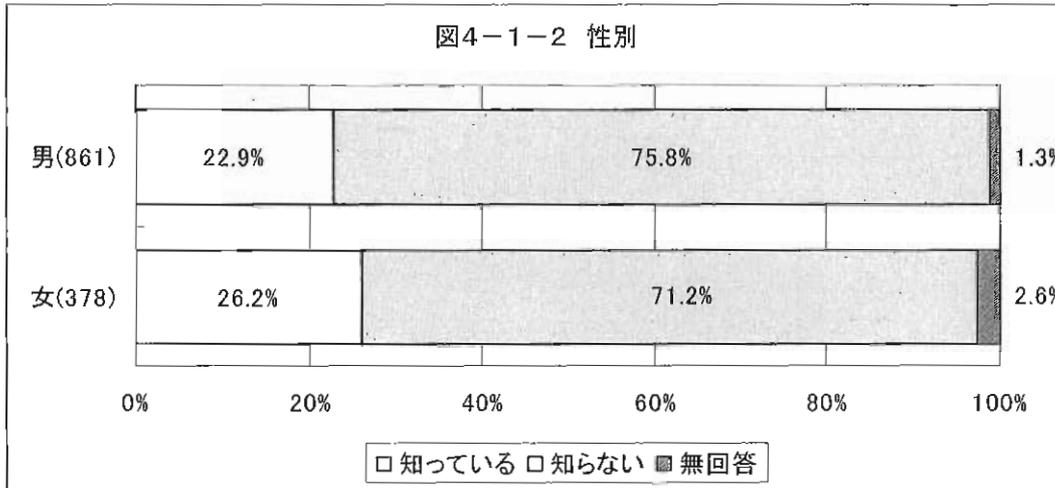
図4-1-1 放課後子どもプランの認知度



「子どもの居場所作り」アンケート結果

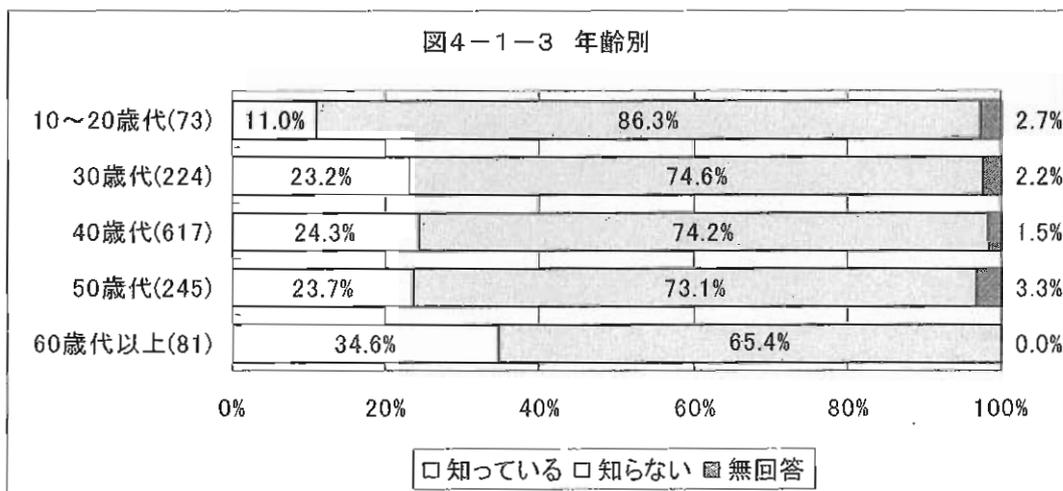
【性別】

性別にみると、女性の認知度は26.2%で男性を3.3ポイント上回っている。



【年齢層別】

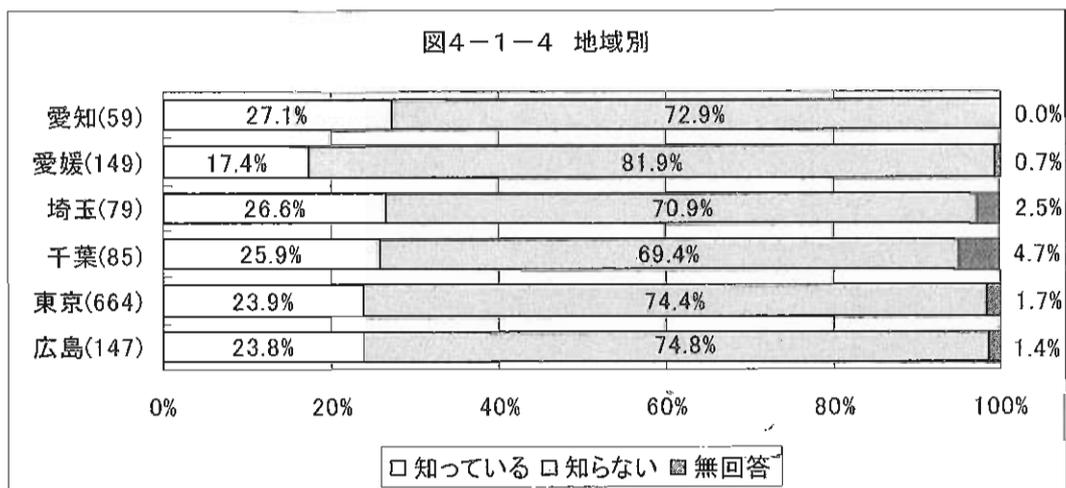
年齢層別にみると、「知っている」の割合は、最も高い60歳代以上（34.6%）が最も低い10～20歳代（8.6%）を26.9ポイント上回っている。「知らない」割合は10～20歳代では86%台になっている。



「子どもの居場所作り」アンケート結果

【地域別】

地域別（ある程度の基数のある6都県）にみると、「知っている」の割合は愛媛県（17.4%）で全体の割合（23.6%）を6.2ポイント下回っている以外は全体の割合との大きな違いはない。



## 4-2 「放課後子どもプラン」への参加意向

◇ 「すでに参加している」「参加したいと思う」が7割弱

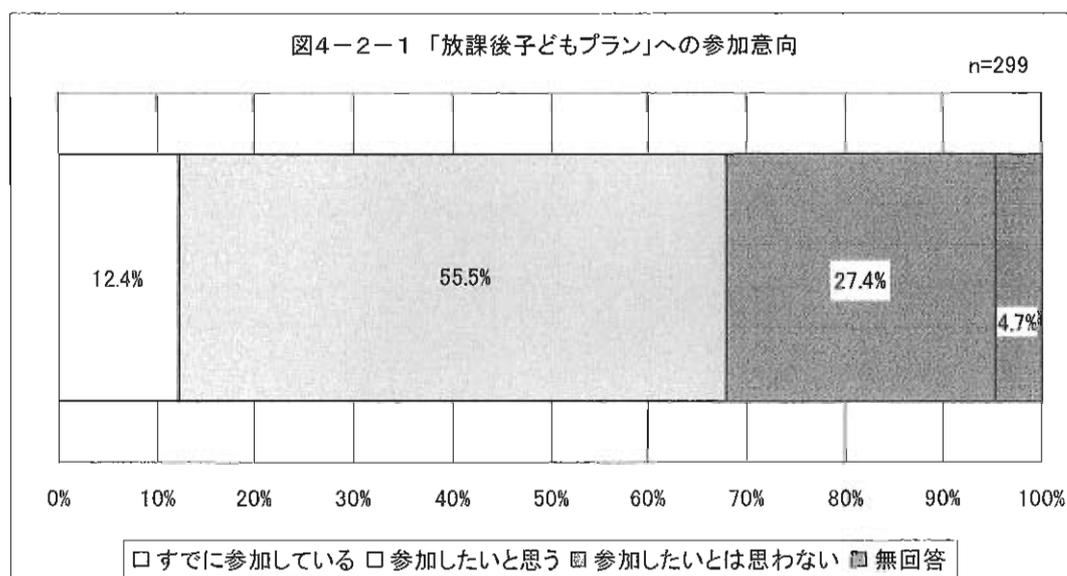
①（「a. 知っている」と答えた方）このプランに参加したいと思いますか。

- a. すでに参加している
- b. 参加したいと思う
- c. 参加したいとは思わない

### 【総括】

「放課後子どもプラン」について「知っている」と回答した人（299人）に参加の意向を聞いたところ、「すでに参加している」（12.4%）と「参加したいと思う」（55.5%）を合わせると67.9%が参加に意欲的で、「参加したいと思わない」（27.4%）を40ポイント強、上回っている。

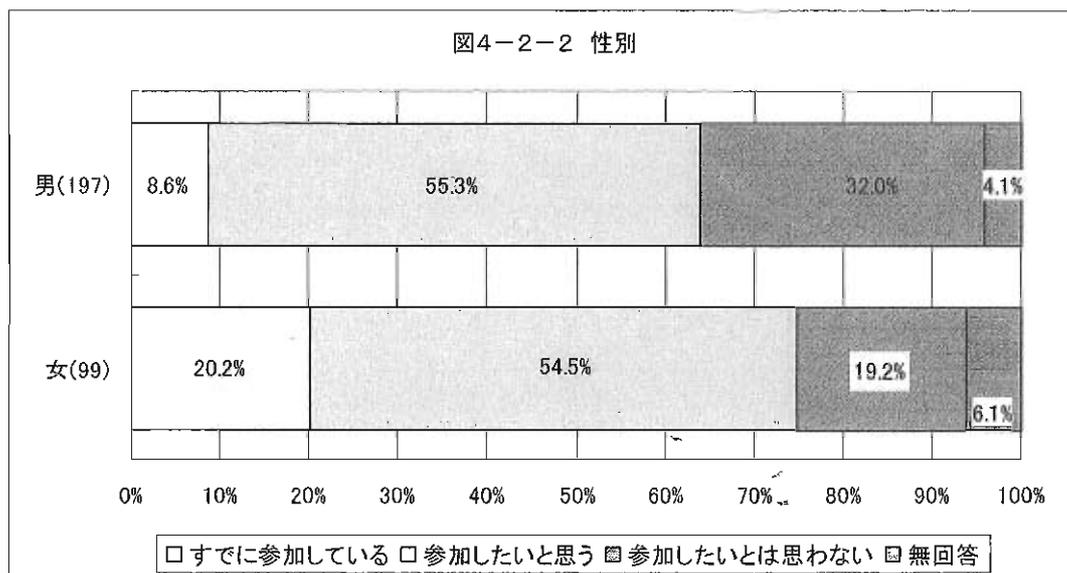
子どもたちの育成活動への参加状況（問1）の関連で「すでに参加している」割合をみると、育成活動に参加しかつ「放課後子どもプラン」を知っていると回答した人（144人）の25.7%を占めている。



「子どもの居場所作り」アンケート結果

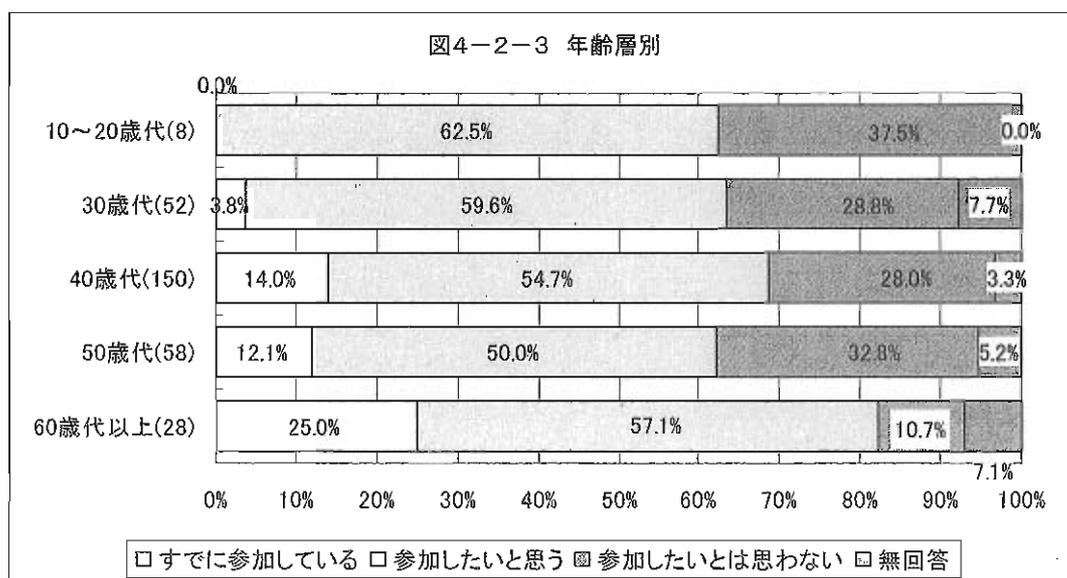
【性別】

性別にみると、「すでに参加している」の割合は女性（20.2%）が男性を11.6ポイント上回り、「参加したいと思わない」の割合は男性（32.0%）が女性を12.8ポイント上回っている。



【年齢層別】

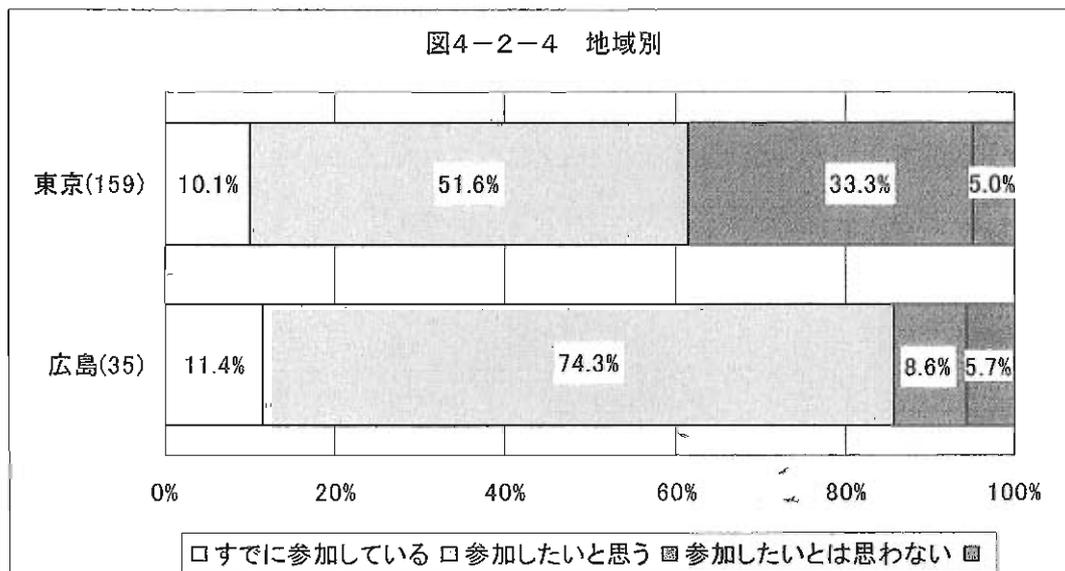
年齢層別（10歳・20歳代は基数が不足）にみると、「すでに参加している」と「参加したいと思う」の割合は40歳が68.7%で全体の割合を上回っている。基数（28）が十分とはいえないが、60歳代以上で意欲的な姿勢が際立っている。「参加したいとは思わない」の割合は50歳代で3割を越えている。



# 「子どもの居場所作り」アンケート結果

## 【地域別】

地域別（ある程度の基数のある2都県）にみると、「すでに参加している」と「参加したいと思う」を合わせた割合は広島県（85.7%）が東京都を19.6ポイント上回っている（ただし広島県の基数35は十分とはいえない）。



### 4-3 「放課後子どもプラン」のことを知りたいか

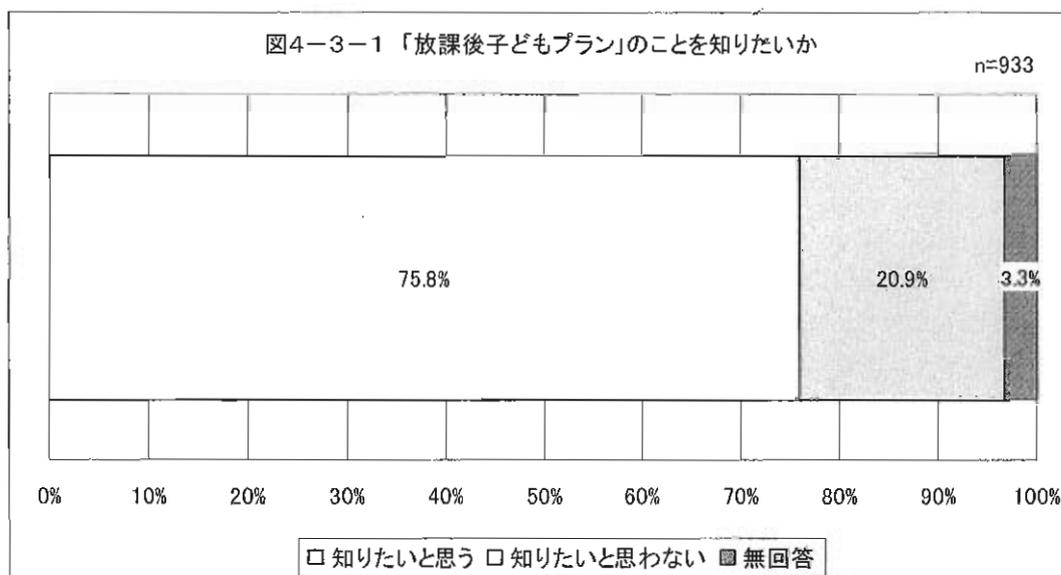
◇7割半ばが「知りたいと思う」

②（「b.知らない」と答えた方）このプランのことを知りたいと思いますか。

- a. 知りたいと思う
- b. 知りたいと思わない

#### 【総括】

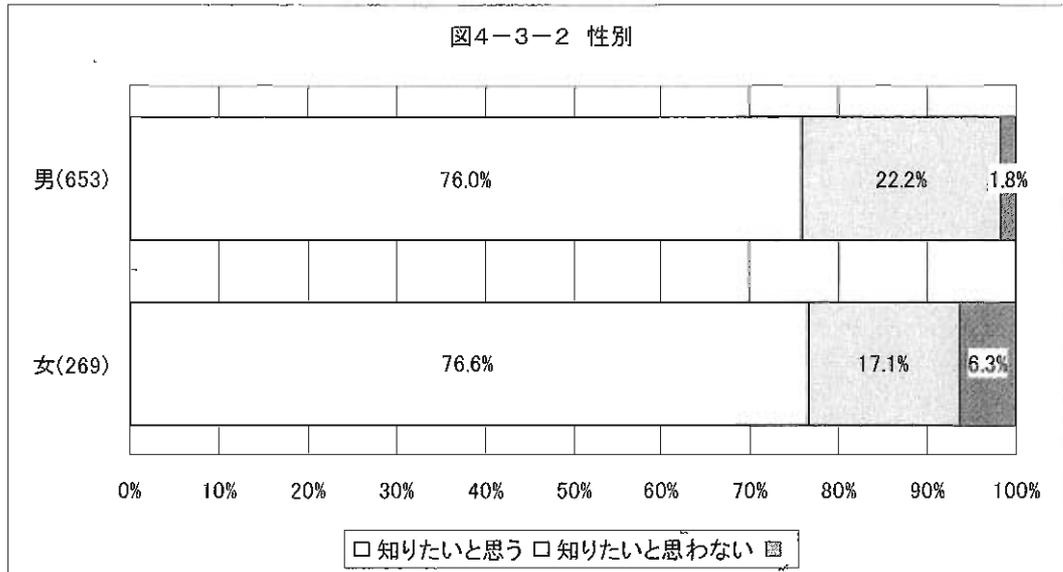
「放課後子どもプラン」について「知らない」と回答した人（933人）に、このプランのことを知りたいと思うか聞いたところ、75.8%が「知りたいと思う」と回答し、「知りたいと思わない」を約5.5ポイント上回っている。



「子どもの居場所作り」アンケート結果

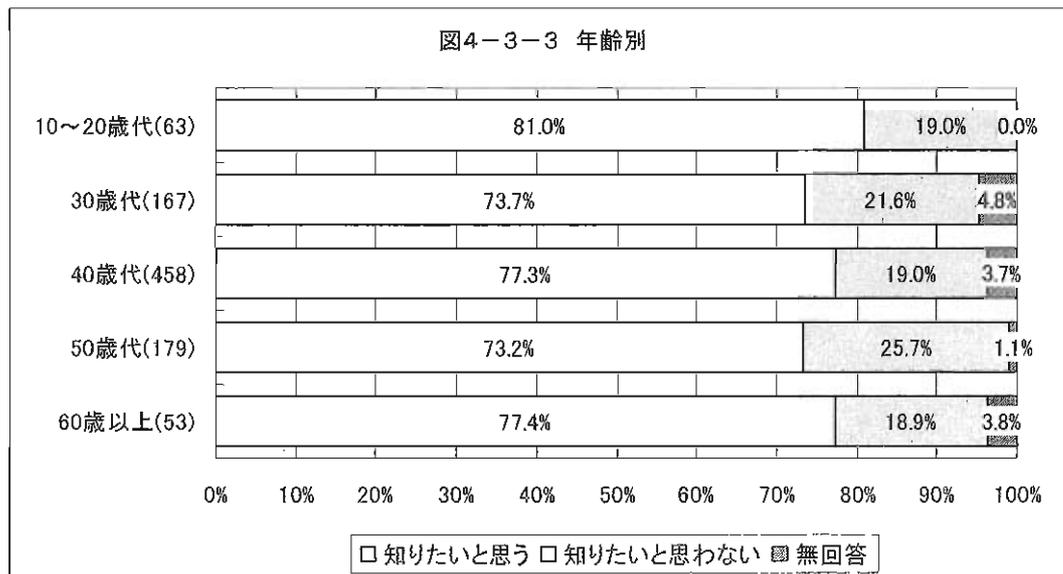
【性別】

性別にみると、「知りたいと思う」の割合は、男性と女性でほとんど差はない。



【年齢層別】

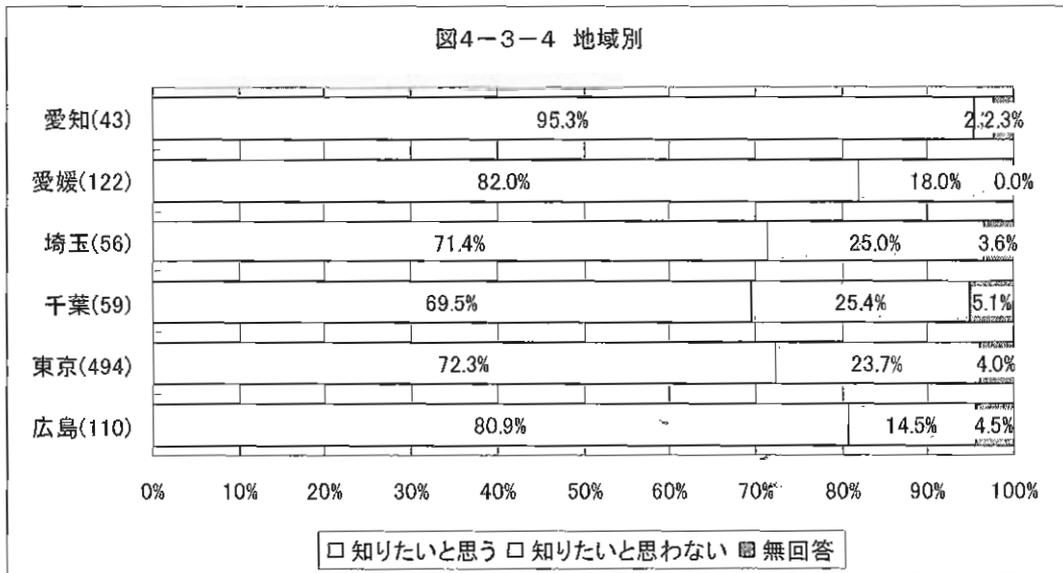
年齢層別にみると、「知りたいと思う」の割合は10～20歳代が81.0%で最も高く、50歳代と30歳代でやや低くなっている。



「子どもの居場所作り」アンケート結果

【地域別】

地域別（傾向が分かる基数のある6都県）にみると、「知りたいと思う」の割合は愛知県が95.3%で最も高く、広島県（86.4%）、愛媛県（82.8%）も全体の割合を越えている。



#### IV. 付言「放課後子どもプラン」推進のために

最後に、「おやじ日本」のネットワークを活用して実施した今回の調査から読み取れる「放課後子どもプラン」推進上の課題について簡単に付言します。

まず活動の分野です（今回の調査では国の資料で例示された「放課後子どもプラン」のメニューを参考に設問しました）。現に参加している人たちには「行事・お祭り等の交流事業」や「スポーツ体験活動」への集中化、学習系や音楽・工作等の体験などへの関与の低調さがみられますが、今後参加する意欲のある人たちの活動意向には2分野への集中化の緩和傾向（分散化）があることが分かりました。今後、新たな活動者の掘り起こしが促進されれば、「放課後子どもプラン」に広がりが出てくるのではないのでしょうか。

つぎに、育成活動推進の条件や課題です。「仕事の日程調整」の難しさが、現に参加している人たちと今後参加する意欲のある人たちに共通し、また「今後とも参加できない」と考えている人たちの最大の理由になっています。「次世代育成支援対策推進法」改正の動きがありますが、仕事と子育てとの両立しやすい環境の整備は「放課後子どもプラン」推進の礎となるもので、急務といえます。また、今後参加する意欲のある人たちの高いハードルとして「地域にかかわる人々との人間関係」の難しさがあることも分かりました。来年度から文部科学省所管の「学校支援地域本部」事業が始まります。この取組みは、仕事で生活時間の大半を居住地域から離れて過ごしている（過ごしてきた）人や、子育てを終えた元おやじたちの地域デビューを促し、活躍の場を提供する上でも大きな意義をもっています。これを契機に、全国のおやじたちの団体、おやじ日本のような中間支援団体との連携を図り、おやじたち自身が「放課後子どもプラン」活動を楽しむ環境づくりに向けて、学校関係者等との意思疎通、子ども支援活動の情報を交換する場と機会の確保などを進めていくことが肝要です。このような関係者の「伴走」によって、「放課後子どもプラン」への参加者に広がりや厚みが出てくるのではないのでしょうか。

三つ目は「放課後子どもプラン」の認知度です。おやじ日本のネットワークを活用した調査でしたが、プランの認知度は低く4人に3人がこのプランを知りませんでした。一方、知らない人の大半が「知りたいと思う」と答えています。知っている人の過半がこのプランへの参加意向を示してもいます。これらのことを合わせ考えると、様々なチャンネルを通したプランの周知、普及と多種多様な活動情報の開示、提供が大切だと考えます。

末尾に、「放課後子どもプラン」の推進には、行政関係者、学校関係者、父母、地域人材、企業経営者等々、大人側にいるすべての人々が相互に連携し、それぞれの立場で積極的に取り組める条件を整えていくことが肝要です。それは20年、30年後の未来社会からの使者ともいべき子どもたちへの大人たちの責務だといえます。

子どもの居場所づくりの取組みへの父親の参加意識等のアンケート  
文部科学省「放課後子どもプラン」推進事業

発行 おやじ日本

〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町1-1  
渋谷区役所前駐車場地下1階 TEL/FAX 03-3462-7113  
e-mail [desk@oyaji-nippon.org](mailto:desk@oyaji-nippon.org)  
URL <http://www.oyaji-nippon.org>

# 父親が中心になって活動している 団体やグループ等への活動事例調査

文部科学省「放課後子どもプラン」推進事業

平成 20 年 3 月

## 目次

I. 団体一覧	1
II. 活動事例	2～38

番号	団体名	会員数	所在地	活動名称	教委との関係	財源
1	若狭小おやじの会	約20人	埼玉県所沢市	若狭小おやじの会活動	特になし	自主財源
2	豊住地区体育協会	60人	千葉県成田市	地域スポーツ少年団	後援	自主財源及び自治体の補助・助成
3	七中おやじの会	約20人	千葉県市川市	必勝おやじ餅	特になし	保護者負担
4	久住おやじの会	約35人	千葉県成田市	駅前パトロール	特になし	自主財源
5	増尾レッドスターズ	約100人	千葉県柏市	増尾レッドスターズ(少年野球チーム、小学生)	後援	保護者負担
6	船中おやじの会	16人	東京都世田谷区	第12回お父さんのスポーツ大会(ソフトバレーボール)	後援	自治体補助・助成
7	尾山台小学校おやじの	約20人	東京都世田谷区	サバイバルキャンプ	特になし	保護者負担
8	板一中オヤジ会	約30人	東京都板橋区	板一中夏まつり	後援	自治体補助・助成
9	百草スポーツ少年団		東京都日野市	少年軟式野球	特になし	保護者負担
10	杉七おやじの会	約40人	東京都杉並区	杉七盆おどり	特になし	自主財源
11	杉八親&児の会	18人	東京都杉並区	杉八キャンプ村	特になし	保護者負担
12	おやじネットワーク杉並	約500人	東京都杉並区	杉並紙ヒコーキ決定戦	協賛	自主財源
13	貞静学園中学高等学校PTA	約20人	東京都文京区	学校行事への参加、協力など	特になし	保護者負担
14	e-ネットキャラバン運営協議会	約1000人	東京都	e-ネットキャラバン	特になし	自主財源
15	中里小おやこの会	7人	東京都世田谷区	おやこの会	特になし	自治体補助・助成
16	芳水小学校 親爺倶楽部	約30人	東京都品川区	学校おとまり会	後援	自治体補助・助成
17	神奈川県立瀬谷養護学校		神奈川県横浜市瀬谷区	シドームの会	特になし	保護者負担
18	石巻山麓おやじの会	約15人	愛知県豊橋市	ディスクカバーいしまき「ふるさとわいわいフェスティバル」	特になし	自治体補助・助成
19	岡崎おやじの会	7人	愛知県岡崎市	やんちゃ和尚岡崎まんかてん不登校ディサービス	特になし	自主財源
20	福岡小学校おやじの会	約40人	愛知県豊橋市	キャンプファイヤー お泊まり会	特になし	保護者負担
21	栄おやじの会	20人	愛知県豊橋市	校内美化清掃	共催	自治体補助・助成
22	多`米おやじの会	約20人	愛知県豊橋市	山の上から多米を知ろう	特になし	自主財源
23	中野小おやじの会	36人	愛知県豊橋市	夏休み お泊り会	特になし	保護者負担
24	磯辺おやじの会	15人	愛知県豊橋市	お泊り会	特になし	保護者負担
25	ニツおやじの会	約30人	愛知県豊橋市	若狭小おやじの会活動	特になし	自主財源
26	富田パイレーツ	26人	愛媛県今治市	離島(関前関村)での水泳、パーベキュー大会	特になし	保護者負担
27	日高ドリームスポーツ少年団	50人	愛媛県今治市	学童軟式野球	特になし	保護者負担
28	常盤ヴィクターズ	約50人	愛媛県今治市	学童軟式野球	特になし	保護者負担
29	ひまわりクラブ	16人	広島県二日市市	地域における活動	特になし	自主財源
30	吉島東とうさんの会	15人	広島県広島市	防犯パトロール、ゴミ拾い	特になし	保護者負担
31	ウルトラマンの会	30人	広島県広島市	PTA支援	特になし	自主財源
32	はつかいち 青少年多目的広場運営委員会	20人	広島県廿日市市		共催	自治体補助・助成
33	広島大学附属東雲小学校PTA	530人	広島県広島市南区	下校指導、公共交通機関乗車降車指導	特になし	保護者負担
34	野坂中学校区おやじの	10人	広島県二日市市		特になし	自主財源
35	イナズマレインボーズ(ドッチボールクラブ)	30人	広島県二日市市	全国ドッチボール選手権予選大会	特になし	保護者負担
36	愛∞魂(ラブムゲンソウル)	47人	広島県二日市市	ソーラン	特になし	自主財源
37	宮内地区コミュニティ作り協議会	14人	広島県二日市市	宮内こやど	特になし	自治体補助・助成

団体名	若狭小おやじの会	構成員数	約20人
所在地(自治体名)	埼玉県所沢市		
団体の主な活動			
1. 名称	若狭小おやじの会活動		
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財源	自主財源		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】</p> <p>子どもと遊ぶ。特に父親がいるからできることを、子供たちと一緒にやって行く。父親として学校行事に手伝えることを行う。</p> <p>【プログラム・内容】</p> <p>月1回のミーティング、年2～3回の催し物の企画。</p> <p>【実施場所】</p> <p>学校内</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>特に定めていない。</p> <p>【参加人数】</p> <p>子ども：50人～200人</p> <p>学校関係者：50人</p> <p>子ども自身で考え行動するように指導、基本練習の繰り返し</p>		
5. 活動(事業)の特色づくりのために工夫点	自由な活動を行うこと、行動をしばらないこと、強制力を持たないこと		
6. 活動(事業)を進める上で苦勞した点	仕事を持ちながらおやじの会の活動を行っており、仕事と活動の両立がが難しい		

団 体 名	豊住地区体育協会 (同協会を中心におやじの会設立予定)	構成員数	60 人
所在地(自治体名)	千葉県成田市		
団体の主な活動			
1. 名 称	地域スポーツ少年団		
2. 教育委員会との関係	後 援		
3. 財 源	自主財源及び自治体の補助・助成		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】</p> <p>スポーツを楽しむことによって、住民の健康と体力の向上を図る。相互の親睦とアマチュアスポーツ精神の高揚を図る。</p> <p>【プログラム・内容】</p> <p>地区運動会、歩け歩け大会、ナイター野球リーグ、駅伝大会</p> <p>【実施場所】</p> <p>豊住スポーツ広場、管理棟</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>年間行事計画により実施</p> <p>【参加人数】</p> <p>子ども：150人 保護者：300人、地域住民ボランティア：20人、 学校関係者10人、その他：20人</p>		
5. 活動(事業)の特色づくりのために工夫点	<p>地域は少子化になり、また高齢化しており、このため、対象者を広げる工夫により行事を可能にしている。競技は、競技性のある種目から買い物レース、パークゴルフニヤピン、ストラックアウトなど楽しめる種目を開催</p>		
6. 活動(事業)を進める上で苦労した点	<p>参画意識を持ってもらうこと、計画づくりを事務局主導にせず、参加者の意見を集約する形で、各参加者の意識が高まった。また、オリジナル名札・Tシャツなどの作成で役員の自覚ができた。</p>		

団 体 名	七中おやじの会	構成員数	約20人
所在地（自治体名）	千葉県市川市		
団体の主な活動			
1. 名 称	必勝おやじ餅		
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財 源	保護者負担		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】</p> <p>子どもたちの激励</p> <p>【プログラム・内容】</p> <p>授業参観日に併せて、餅つき大会を実施</p> <p>【実施場所】</p> <p>市川市第七中学校</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>12月1日（土）</p> <p>【参加人数】</p> <p>子ども：800人</p>		
5. 活動（事業）の特色づくりのために工夫点			
6. 活動（事業）を進める上で苦労した点	<p>地元町内会から用具を借用したこと。</p> <p>餅つきの際のつき手の確保。</p>		

団 体 名	久住おやじの会	構 成 員 数	約 35 人
所在地（自治体名）	千葉県成田市		
団体の主な活動			
1. 名 称	駅前パトロール		
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財 源	自主財源		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】</p> <p>地域内の小中学生、高校生の安全を図るとともに健全育成のため。</p> <p>【プログラム・内容】</p> <p>久住駅前を中心に、久住地区内を駐在所の駐在所の警察官と一緒にパトロールを行う。</p> <p>【実施場所】</p> <p>久住駅前を中心にした地域</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>月 3～4 回</p> <p>【参加人数】</p> <p>1 回、3 人～7 人参加</p>		
3. 活動（事業）の特色づくりのために工夫点			
4. 活動（事業）を進める上で苦勞した点			

団体名	増尾レッドスターズ	構成員数	約100人
所在地(自治体名)	千葉県柏市		
団体の主な活動			
1. 名称	増尾レッドスターズ(少年野球チーム、小学生)		
2. 教育委員会との関係	後援		
3. 財源	保護者負担		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】</p> <p>地域内の小中学生、高校生の安全を図るとともに健全育成のため。</p> <p>【プログラム・内容】</p> <p>スポーツを通じた、健全な子供の育成。団体競技を通して、やさしさ、思いやり、勝負とは、努力等々を学ぶ機会にする。</p> <p>【実施場所】</p> <p>地域の小学校(隣接の学校でも実施)</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>土曜日、日曜日、祝日の午前・午後</p> <p>【参加人数】</p> <p>幼稚園から小学校まで：100人程度参加 保護者や地域住民ボランティア、その他：50人</p>		
3. 活動(事業)の特色づくりのために工夫点	試合には、全員が参加できるようにチーム編成を行う。		
4. 活動(事業)を進める上で苦労した点	親同志の理解、コミュニケーションを円滑に図ること、批判や中傷などをなくす雰囲気づくり。		

団体名	船中おやじの会	構成員数	16人
所在地（自治体名）	東京都世田谷区		
団体の主な活動			
1. 名称	第12回お父さんのスポーツ大会（ソフトバレーボール）		
2. 教育委員会との関係	後援		
3. 財源	自治体補助・助成		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】</p> <p>地域のおやじ達のコミュニケーションを図ること。 地域を通して子どもたちを見守っていくこと。</p> <p>【プログラム・内容】</p> <p>スポーツ交流（ソフトバレーボール） 近隣の小中学校のお父さんの交流（9校）</p> <p>【実施場所】</p> <p>世田谷区立船橋中学校 体育館</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>平成19年11月25日（日）、（今年で12年目を迎える）</p> <p>【参加人数】</p> <p>子ども：約40人（お父さんの応援） 学校関係者：50人 （保護者） 近隣小中学校のおやじの会 約120人 近隣小中学校のお母さん 約50人 （学校関係者）近隣小中学校の校長他 約15人 （地域住民ボランティア）地区委員会関係 約10人 （その他） 世田谷区教育委員会関係 約5人</p>		
5. 活動（事業）の特色づくりのために工夫点	毎月第2土曜日に親子スポーツを開催し、11月はソフトバレーボールを行っている。様々なスポーツを通じ、親子の交流を支援している。		
6. 活動（事業）を進める上で苦労した点	実施に係るスポーツ用品（備品）を整えること。保険のための費用を集めること（平成19年度には補助金の支援を受けている）		

団体名	尾山台小学校おやじの会	構成員数	約20人
所在地(自治体名)	東京都世田谷区		
団体の主な活動			
1. 名称	サバイバルキャンプ		
2. 教育委員会との関係	なし		
3. 財源	保護者負担(参加費として)		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】</p> <p>災害時における体験、消火訓練等の実施</p> <p>【プログラム・内容】</p> <p>初期消火訓練、起震車による地震体験、火災時の避難訓練、体験館での体験宿泊</p> <p>【実施場所】</p> <p>学校内、校庭、体育館</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>毎年7月中旬の金曜日、土曜日(2日間)</p> <p>【参加人数】</p> <p>子ども:100人~150人</p> <p>保護者:20人~30人</p> <p>地域住民ボランティア:10人</p> <p>学校関係者10人</p>		
5. 活動(事業)の特色づくりのために工夫点	子供たちの興味関心を引き出すため、消防署にお願いして極力消防車(はしご車)の出動をお願いしている。		
6. 活動(事業)を進める上で苦勞した点	土曜日、日曜日の宿泊だと参加人数が少ないため、金曜日、土曜日の開催にしたが、おやじの出席率が減少したこと 学校側との意見の違いのすり合わせ		

団 体 名	板一中オヤジ会	構成員数	約30人
所在地(自治体名)	東京都板橋区		
団体の主な活動			
1. 名 称	板一中夏まつり		
2. 教育委員会との関係	後援		
3. 財 源	自主財源、自治体補助・助成		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】</p> <p>思い出づくり</p> <p>【プログラム・内容】</p> <p>模擬店、ゲーム、ステージ発表</p> <p>【実施場所】</p> <p>板橋第一中学校</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>8月最終土曜日</p> <p>【参加人数】</p> <p>子ども：200人</p> <p>保護者：20人</p> <p>学校関係者：10人</p>		
5. 活動(事業)の特色づくりのために工夫点	地域の様々な人々に呼びかけ、参加してもらう。		
6. 活動(事業)を進める上で苦勞した点	生徒主導で活動してもらうことを主眼にしていたため、時間の調整が難しかった。		

団体名	百草スポーツ少年団	構成員数	
所在地（自治体名）	東京都日野市		
団体の主な活動			
1. 名称	少年軟式野球		
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財源	保護者負担		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】</p> <p>児童の心身の健全育成を図る。</p> <p>【プログラム・内容】</p> <p>子どもたちによる少年野球の実施。</p> <p>【実施場所】</p> <p>小学校の校庭</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>通年</p> <p>【参加人数】</p> <p>子ども：約20人 保護者：約20人 地域住民ボランティア：5人</p>		
3. 活動（事業）の特色づくりのために工夫点	団体競技を通じ、他人への思いやりの心と目標達成時の喜び、目標達成のための努力する心を養う。		

団体名	杉七おやじの会	構成員数	約40人
所在地（自治体名）	東京都杉並区		
団体の主な活動			
1. 名称	杉七盆おどり		
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財源	自主財源、その他の財源		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】</p> <p>地域交流、子供の安全</p> <p>【プログラム・内容】</p> <p>盆おどり、杉七たいこ</p> <p>【実施場所】</p> <p>杉並第七小学校校庭</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>7月の2日間（土曜日、日曜日）</p> <p>【参加人数】</p> <p>子ども：400人程度</p> <p>保護者や地域住民ボランティア、その他：400人程度</p>		
3. 活動（事業）の特色づくりのために工夫点	子どもの参加が少なかったため、3年前から模擬店を開始し、親子で参加し楽しめるように工夫している。		
4. 活動（事業）を進める上で苦労した点	町会との関係 保護者の参加・協力の促進		

団体名	杉八親&児の会	構成員数	18人
所在地(自治体名)	東京都杉並区		
団体の主な活動			
1. 名称	杉八キャンプ村		
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財源	保護者負担		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】</p> <p>子ども達に楽しい思い出とともに仲間関係を広げ深める機会とする。子ども達の育成に関わる大人たちの連携と親を深める。</p> <p>【プログラム・内容】</p> <p>防災ゲーム 飯ごう炊さん、カレーづくり、近隣のお寺でのきもだめし、打ち上げ花火、テント宿泊</p> <p>【実施場所】</p> <p>杉並第八小学校及び長善寺</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>夏休みの最初の土曜日、日曜日</p> <p>【参加人数】</p> <p>子ども：(日帰り：26人)、(宿泊：60人) 大人：保護者 57人(PTA役員を含む) 学校関係者 16人 児童館関係者 2人 地域住民ボランティア 5人 親&amp;児の会 15人 その他ボランティア 19人</p>		
3. 活動(事業)の特色づくりのために工夫点	当会の活動資金源の一つに地域町会の薬剤散布作業に参加することによる報酬がある。地域町会との協力関係も得ることができ、一石二鳥と言える。		
4. 活動(事業)を進める上で苦勞した点	活動の主体となるメンバーは、それぞれ仕事を持っているので、どうしても参加を強いることができないこともあり、実質的な参加人数の確保に苦勞している。		

団体名	おやじネットワーク杉並	構成員数	約500人
所在地(自治体名)	東京都杉並区		
団体の主な活動			
1. 名称	杉並紙ヒコーキ決定戦		
2. 教育委員会との関係	協賛		
3. 財源	自主財源		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】</p> <p>おやじの会及びおやじたちが、それぞれの活動の場である学校で、子ども達と楽しみながら、参加者相互のより一層の親睦を図るとともに、学校やPTA・地域との連携を主体的に作り出す機会とする。</p> <p>【プログラム・内容】</p> <p>おやじの会やおやじたちが主体的にかかわっている学校単位で開催される「紙ヒコーキ大会(競技会)」の記録を、「おやじネットワーク杉並」が集約・集計し、杉並区単位での総合順位を決定し、表彰、公表を行う。 個人表彰10位まで、団体表彰3位までを表彰する。 (個人情報保護に関し、おやじネットワーク杉並が取り扱いについて内部規定を作成し実施)</p> <p>【実施場所】</p> <p>各学校及び長善寺</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>約1ヵ月間(土曜学校、PTA行事、学校行事など開催形態は問わない)</p> <p>【参加人数】(合計:740人)</p> <p>○小学校16校が参加 子ども:(児童:447人)、(乳幼児:53人) 大人:保護者 210人</p>		
3. 活動(事業)の特色づくりのために工夫点	<p>申し込みから学校との交渉や打ち合わせのタイミング、競技ルール、紙飛行機の作り方などを記した要項を作成し配布することにより、多くの参加者を得るように努めた。 参加に際しては、おやじの会等が主体的に参画していれば、PTAや学校行事でも可とするなど、参加しやすいよう工夫している。</p>		
4. 活動(事業)を進める上で苦勞した点	<p>結果を公表しているが、個人情報保護の関係で子どもの個人名の公表のあり方に苦勞した。</p>		

団 体 名	貞静学園中学高等学校PTA (おやじの会の結成について検討中)	構成員数	約20人
所在地(自治体名)	東京都文京区		
団体の主な活動			
1. 名 称	学校行事への参加、協力など		
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財 源	保護者負担		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】</p> <p>体育祭、文化祭などの行事への参加、協力</p> <p>【プログラム・内容】</p> <p>受付などへの協力</p> <p>【実施場所】</p> <p>学校</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>6月、10月</p> <p>【参加人数】</p> <p>子ども：300人</p> <p>保護者：100人</p> <p>学校関係者：50人</p>		
5. 活動(事業)の特色づくりのために工夫点	子ども自身で考え行動するように指導、基本練習の繰り返し		
6. 活動(事業)を進める上で苦勞した点	特になし、多くの方々に協力していただけるので活動が充実している。		

団体名	e-ネットキャラバン運営協議会 (おやじの会と連携して実施)	構成員数	約1000人
所在地(自治体名)	東京都		
団体の主な活動			
1. 名称	e-ネットキャラバン		
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財源	自主財源		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】</p> <p>インターネットのトラブルから子供を守る。</p> <p>【プログラム・内容】</p> <p>学校や地域からの要請により、インターネットのトラブルから子供を守るための知識や技術、大人の役割等につて、1～2時間の講演を行う。</p> <p>【実施場所】</p> <p>全国各地の学校、公民館等</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>1年間を通して実施(2006年から開始)</p> <p>【参加人数】</p> <p>子ども：今年度前半で約3万人に対して講演を行う。 大人：今年度前半で約3万人に対して講演を行う。</p>		
5. 活動(事業)の特色づくりのために工夫点	子供を守るため、子供を見守るべき立場にある大人にガイダンスを提供すること。HPやインターネットを活用して普及・啓発を行う。		
6. 活動(事業)を進める上で苦勞した点	少ない人数で、いかに効率的に活動を実施するか。		

団体名	中里小おやこの会	構成員数	7人
所在地（自治体名）	東京都世田谷区		
団体の主な活動			
1. 名称	おやこの会		
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財源	自治体補助・助成		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】 昔ながらの文化・生活を体験することにより、親子のきずなや助け合いの重要性、仲間意識を育てる。</p> <p>【プログラム・内容】</p> <p>もちつき大会 もち米を洗米し、せいろで炊き、臼について、できたてのおもちを参加者全員で食べる。</p> <p>【実施場所】 中里小学校校庭</p> <p>【実施日または期間】 2月10日（土）</p> <p>【参加人数】（合計：451人） 子ども：189人 保護者：217人 地域住民、ボランティア：17人 学校関係者：28人</p>		
5. 活動（事業）の特色づくりのために工夫点	保護者でも1度も餅つきをしたことがない人がほとんどであり、児童館などの手伝い、他からの備品等の借用などにより運営している。		
6. 活動（事業）を進める上で苦労した点	餅の量がかなり多いため、もちをつく役割など保護者の役割分担の事前調整に苦労する。		

団体名	芳水小学校 親爺倶楽部	構成員数	約 30人
所在地(自治体名)	東京都品川区		
団体の主な活動			
1. 名称	学校おとまり会		
2. 教育委員会との関係	後援		
3. 財源	自治体補助・助成		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】</p> <p>子どもの健全育成、思い出づくり</p> <p>【プログラム・内容】</p> <p>防災訓練。飯盒炊さん、キャンプファイヤー、肝試し、学校宿泊体験</p> <p>【実施場所】</p> <p>芳水小学校</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>7月下旬の土曜日、日曜日(2日間)</p> <p>【参加人数】</p> <p>子ども：120人  保護者：100人  地域住民、ボランティア：10人  学校関係者：5人</p>		
3. 活動(事業)の特色づくりのために工夫点	宿泊活動だけでなく、防災訓練、防犯訓練などを取り入れて実施している。		
4. 活動(事業)を進める上で苦労した点	屋外における活動が多いため、台風や雨天時の対応が困難		

団 体 名	神奈川県立瀬谷養護学校 (シドームの会)	構成員数	
所在地(自治体名)	神奈川県横浜市瀬谷区		
団体の主な活動			
1. 名 称	シドームの会		
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財 源	P T A 負担		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】</p> <p>保護者や父親の障害児等に関する啓発</p> <p>【プログラム・内容】</p> <p>有識者の講演会の実施</p> <p>【実施場所】</p> <p>神奈川県立瀬谷養護学校</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>9月29日の1回</p> <p>【参加人数】</p> <p>大人のみ参加</p> <p>保護者 : 40人(うち父親30人)</p> <p>学校関係者 : 3人</p>		
3. 活動(事業)の特色づくりのために工夫点	P T A の委員会との連携により実施		
4. 活動(事業)を進める上で苦労した点	事業の実施には親が参加しており、その間の子ども(障害児)の世話をどのようにするか。		

団体名	石巻山麓おやじの会	構成員数	約 15人
所在地（自治体名）	愛知県豊橋市		
団体の主な活動			
1. 名称	ディスカバーいしまき 「ふるさとわいわいフェスティバル」		
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財源	自治体補助・助成		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】</p> <p>小学校区にある史跡、文化財、自然、景観、祭りを見つめ直し再認識することにより、これを契機に祭り、里山などを次世代へ継承する。</p> <p>【プログラム・内容】</p> <p>石巻ウォッチング（スタンプラリー）、熱気球でウォッチング、石巻総おどり、鬼の踊り、手筒花火</p> <p>【実施場所】</p> <p>石巻小学校校庭</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>平成18年8月5日（土）～6日（日）（2日間）</p> <p>【参加人数】</p> <p>子ども及び大人：1000人</p> <p>地域住民やボランティアがスタッフとして参加</p> <p>学校</p>		
5. 活動（事業）の特色づくりのために工夫点	子ども自身で考え行動するように指導、基本練習の繰り返し		
6. 活動（事業）を進める上で苦勞した点	スタッフ等の連絡・通信		

団体名	岡崎おやじの会	構成員数	7人
所在地（自治体名）	愛知県岡崎市		
団体の主な活動			
1. 名称	やんちゃ和尚岡崎まんかてん不登校ディサービス		
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財源	自主財源		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】</p> <p>不登校の子どもの立ち直りを支援する。</p> <p>【プログラム・内容】</p> <p>体験学習として毎朝同時刻に出店し、同時刻に退店する。</p> <p>【実施場所】</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>平日実施、家庭での引きこもりがなくなるまで実施</p> <p>【参加人数】</p> <p>大人 3名程度</p>		
5. 活動（事業）の特色づくりのために工夫点			
6. 活動（事業）を進める上で苦勞した点	子供の性格により、異なった支援方法を取らなければならない。		

団 体 名	福岡小学校おやじの会	構成員数	約 40 人
所在地（自治体名）	愛知県豊橋市		
団体の主な活動			
1. 名 称	キャンプファイヤー お泊まり会		
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財 源	保護者負担		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】</p> <p>子どもたちの集団活動を通じて仲間意識、規範意識を育む、災害時における行動や生活を体験することにより、災害時の備えとする。</p> <p>【プログラム・内容】</p> <p>夜の通学路を歩いて学校にたどりつく、防災体験、体育館に宿泊する。          キャンプファイヤー（18：00～）、学校探検、宿泊（21：00～）</p> <p>【実施場所】</p> <p>学校</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>平成19年9月22日（土）</p> <p>【参加人数】</p> <p>子ども：                  キャンプファイヤー：150人、宿泊：100人          おやじの会：20人          PTA：5人          学校関係者：10人          消防団</p>		
5. 活動（事業）の特色づくりのために工夫点	先生とは違うおやじの特色を出す。		
6. 活動（事業）を進める上で苦勞した点	活動の運営経費のねん出。会員の参加人数の確保。		

団 体 名	栄おやじの会	構成員数	20人
所在地（自治体名）	愛知県豊橋市		
団体の主な活動			
1. 名 称	校内美化清掃		
2. 教育委員会との関係	共催		
3. 財 源	自治体補助・助成		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】</p> <p>ボランティアで参加する形態での運動による子供と大人のふれあいづくり。</p> <p>【プログラム・内容】</p> <p>①学校内清掃、②プールでの遊び、③A D Eの講習会、 ④ピザとパスタを提供</p> <p>【実施場所】</p> <p>学 校</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>7月の日曜日、午前中から昼まで</p> <p>【参加人数】</p> <p>子ども：50人 保護者：40人</p>		
3. 活動（事業）の特色づくりのために工夫点	子どもに興味を持たせる活動のプログラムを作る。（時間の過ごし方や構成）		
4. 活動（事業）を進める上で苦勞した点			

団体名	多 <sup>〇</sup> 米おやじの会	構成員数	約 20人
所在地（自治体名）	愛知県豊橋市		
団体の主な活動			
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財 源	自主財源		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】</p> <p>校区の北と東雅山に囲まれている環境を生かし、山歩き（宝探しがテーマ）をしながら、自然や歴史と触れ合い、親子の対話を図る。</p> <p>【プログラム・内容】</p> <p>自然の話を書く→山歩き（宝さがし）→昼食→歴史の話を書く→防災体験</p> <p>【実施場所】</p> <p>豊橋市立多米小学校</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>平成18年12月24日（日）8：15～14：00</p> <p>【参加人数】（合計：140人）</p> <p>子ども：80人  保護者：25人  地域住民（消防団）： 3人  学校関係者：約10人  おやじの会：約15人  おやじの会関係者：若干名</p>		
3. 活動（事業）の特色づくりのために工夫点	子どもが自然や歴史に興味を持てるような仕掛け作り。		
4. 活動（事業）を進める上で苦労した点	高学年から低学年にわたり、すべての子供たちにわかるような話題の設定		

団体名	中野小おやじの会	構成員数	36人
所在地（自治体名）	愛知県豊橋市		
団体の主な活動			
1. 名称	夏休み お泊り会		
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財源	保護者負担		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】</p> <p>おやじの会と子どもたちの夏の思い出を作る。親父（お父さん）の力で子どもにできることを知恵、身体を使って表現する。（おやじ力の発揮）</p> <p>【プログラム・内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テントを張る（4年・5年・6年生と大人で実施）</li> <li>・カレー、バーベキューをおやじの会で作り、子供たちに提供する</li> <li>・学校の中を探索（平成19年度は肝試しを実施）</li> <li>・テントでの宿泊（中・上級生と下級生の班別にして交流を深める。）</li> </ul> <p>【実施場所】</p> <p>テント（27張）、体育館、校舎</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>平成19年8月25日（土）～26日（日）（2日間）</p> <p>学校関係者：50人  子ども：199人  保護者：30人  学校関係者：5人  子ども</p>		
5. 活動（事業）の特色づくりのために工夫点	子どもが退屈しないよう、様々なプログラムや工夫を用意し、思い出づくりを徹底させた。（ペットボトルと懐中電灯による「行燈づくり」、テント張り、食事の準備や内容、学校探検等）		
6. 活動（事業）を進める上で苦労した点			

団体名	磯辺おやじの会	構成員数	15人
所在地（自治体名）	愛知県豊橋市		
団体の主な活動			
1. 名称	お泊り会		
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財源	保護者負担		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】 子どもたちを楽しませ、思い出づくりをする。 災害避難所の体験をさせる。</p> <p>【プログラム・内容】 夕食を一緒に作り・食べ、お化け屋敷を作って遊び、体育館で宿泊した。災害避難所の体験をさせる。</p> <p>【実施場所】 小学校</p> <p>【実施日または期間】 夏休み後半の土曜日、日曜日（2日間）</p> <p>【参加人数】 子ども：100人 おやじの会等：30人 学校関係者：5人</p>		
5. 活動（事業）の特色づくりのために工夫点	子どもの興味を引くような仕掛けを工夫した（お化け屋敷を作る）		
6. 活動（事業）を進める上で苦労した点	おやじの会だけでは人手不足であり、お手伝いをしてくれる人の確保		

団体名	ニツおやじの会	構成員数	約30人
所在地(自治体名)	愛知県豊橋市		
団体の主な活動			
1. 名称	若狭小おやじの会活動		
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財源	自主財源		
4. 具体的な内容	学校行事にPTA活動の補助として参加。		
5. 活動(事業)の特色づくりのために工夫点			
6. 活動(事業)を進める上で苦勞した点			

団 体 名	富田パイレーツ	構成員数	26人
所在地（自治体名）	愛媛県今治市		
団体の主な活動			
1. 名 称	離島（関前関村）での水泳、バーベキュー大会		
団 体 名	久住おやじの会	構成員数	約35人
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財 源	保護者負担 (参加費：大人：3000円、子ども：1500円、小学生未満：無料)		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】 明るく、楽しい、家族参加型のチームづくり</p> <p>【プログラム・内容】 水泳、スイカ割り、島内散策、魚釣り、バーベキュー、全員で後片付け・清掃</p> <p>【実施場所】 今治市関前関村、海水浴場、離党開発総合センター</p> <p>【実施日または期間】 平成19年7月29日（日）</p> <p>【参加人数】 子ども：26人 保護者：17人 地域住民やボランティア：1人</p>		
3. 活動（事業）の特色づくりのために工夫点	子どもだけの参加もあり。子ども達ができることは自分で行うようにした。		
4. 活動（事業）を進める上で苦勞した点	屋外なので日陰をつくるのに苦勞した。		

団 体 名	日高ドリームスポーツ少年団	構成員数	50人
所在地（自治体名）	愛媛県今治市		
1. 名 称	学童軟式野球		
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財 源	保護者負担		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】 子ども達の健全育成と体力の向上</p> <p>【プログラム・内容】 軟式野球の練習または試合</p> <p>【実施場所】 小学校の校庭</p> <p>【実施日または期間】 年間を通して実施（水曜日、土曜日、日曜日に実施）</p> <p>【参加人数】 子ども：3年生以上の希望者50人程度 保護者：多数 地域住民ボランティア：10人（コーチとして）</p>		
3. 活動（事業）の特色づくりのために工夫点	協調性を養うため、日ごろから子どもに働きかけを行う		
4. 活動（事業）を進める上で苦勞した点	保護者の理解を得る		

団体名	常盤ヴィクトーズ	構成員数	約 50人
所在地(自治体名)	愛媛県今治市		
団体の主な活動			
1. 名称	学童軟式野球		
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財源	保護者負担		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】          野球を通じて、協調性、思いやり、礼儀を身につける。</p> <p>【プログラム・内容】          火曜日、木曜日の放課後練習、土曜日、日曜日は試合</p> <p>【実施場所】          小学校校庭</p> <p>【実施日または期間】          年間を通じて実施</p> <p>【参加人数】          子ども：1年生～3年生 30人(土・日曜日のみ練習または試合)                    4年生～5年生 20人          大人：監督及びコーチ 5人          学校関係者：50人</p>		
5. 活動(事業)の特色づくりのために工夫点	子ども自身で考え行動するように指導、基本練習の繰り返し		
6. 活動(事業)を進める上で苦勞した点	保護者と指導者の意思の疎通、意識の共有化		

団体名	ひまわりクラブ	構成員数	16人
所在地（自治体名）	広島県二日市市		
団体の主な活動			
1. 名称	地域における活動		
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財源	自主財源		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】 地域住民との親睦を図る。</p> <p>【プログラム・内容】 夏祭、秋祭り、とんどの手伝い等への参加</p> <p>【実施場所】 町内</p> <p>【実施日または期間】 催事に併せて随時実施</p> <p>【参加人数】 子ども：40人 地域住民ボランティア：20人</p>		
5. 活動（事業）の特色づくりのために工夫点			
6. 活動（事業）を進める上で苦勞した点			

団体名	吉島東とうさんの会	構成員数	15 人
所在地（自治体名）	広島県広島市		
団体の主な活動			
1. 名 称	防犯パトロール、ゴミ拾い		
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財 源	保護者負担		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】 登校時の子どもの見守りと地域の清掃の取組</p> <p>【プログラム・内容】 登校時間に合わせ、地域のパトロールとゴミ拾いを行う。</p> <p>【実施場所】 学校区を中心に</p> <p>【実施日または期間】 月 1 回</p> <p>【参加人数】 保護者：5～6人（1回当たり）</p>		
5. 活動（事業）の特色づくりのために工夫点	パトロールのために、旗を作成したりタスキをかけるなど目立つ格好をして、地域や通行の人々にアピールする。		
6. 活動（事業）を進める上で苦労した点	参加者の確保		

団体名	ウルトラマンの会	構成員数	30人
所在地(自治体名)	広島県広島市		
団体の主な活動			
1. 名称	PTA支援		
3. 財源	自主財源		
団体名	久住おやじの会	構成員数	約35人
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】 地域行事支援、行事への参加</p> <p>【プログラム・内容】 地域伝統文化行事への参加、高齢者支援</p> <p>【実施場所】 主に校区内</p> <p>【実施日または期間】 行事に併せて随時実施</p> <p>【参加人数】 子ども：1183人 保護者：30人</p>		
3. 活動(事業)の特色づくりのために工夫点	親睦会の実施(会員の意思の疎通、親睦、連絡、アイディアの検討などの場)		
4. 活動(事業)を進める上で苦労した点			

団体名	はつかいち 青少年多目的広場運営委員会	構成員数	20人
所在地（自治体名）	広島県廿日市市		
団体の主な活動			
2. 教育委員会との関係	共催		
3. 財源	自治体補助・助成		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】</p> <p>青少年の健全育成          青少年、大人、地域の居場所づくり          スポーツ・レクリエーション等の練習、指導、大会          （スケートボード、インラインスケート、BMX）          清掃活動、見守り活動、救命講習会</p> <p>【実施場所】</p> <p>はつかいち 青少年多目的広場</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>平成18年4月～平成19年9月</p> <p>【参加人数】</p> <p>子ども：年間約6000人          大人：約1200人</p>		
3. 活動（事業）の特色づくりのために工夫点	参加者（利用者）から運営委員になっていただく、会員の意識改革		
4. 活動（事業）を進める上で苦労した点	人員不足		

団体名	広島大学附属東雲小学校PTA	構成員数	530人
所在地（自治体名）	広島県広島市南区		
団体の主な活動			
1. 名称	下校指導、公共交通機関乗車降車指導		
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財源	保護者負担		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】</p> <p>小学校では、広域学区、自立登下校が原則であり、公共交通機関を使用しているため、登下校におけるルールやマナーを指導する。</p> <p>【プログラム・内容】</p> <p>公共交通機関の使用方法、ルールやマナーの指導。</p> <p>【実施場所】</p> <p>学校周辺</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>【参加人数】</p> <p>子ども： 大人： 学校</p>		
5. 活動（事業）の特色づくりのために工夫点	子ども自身で考え行動するように指導、基本練習の繰り返し		
6. 活動（事業）を進める上で苦勞した点			

団体名	野坂中学校区おやじの会	構成員数	10人
所在地(自治体名)	広島県二日市市		
団体の主な活動			
1. 名称			
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財源	自主財源及びその他		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】          青少年の健全育成、居場所づくり、就職支援、大人社会の意識改革</p> <p>【プログラム・内容】          青少年の声かけパトロール、就職支援、講演活動</p> <p>【実施場所】</p> <p>【実施日または期間】          毎週土曜日、随時開催</p> <p>【参加人数】          地域住民ボランティア：4～5人</p>		
5. 活動(事業)の特色づくりのために工夫点	会員個人の人格形成		
6. 活動(事業)を進める上で苦労した点	地域の無理解、地域の無関心		

団 体 名	イナズマレインボーズ（ドッチボールクラブ）	構成員数	30 人
所在地（自治体名）	広島県二日市市		
1. 名 称	全国ドッチボール選手権 予選大会		
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財 源	保護者負担		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】</p> <p>青少年の健全育成</p> <p>【プログラム・内容】</p> <p>【実施場所】</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>【参加人数】</p>		
5. 活動（事業）の特色づくりのために工夫点	基本的には厳しく指導する。時々遊びを入れる。		
6. 活動（事業）を進める上で苦労した点	子どもの気持ちを考えながら、身体と心を鍛えること		

団体名	愛∞魂(ラブ ムゲン ソウル)	構成員数	47人
所在地(自治体名)	広島県廿日市市		
団体の主な活動			
団体名	久住おやじの会	構成員数	約35人
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財源	自主財源		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】          子どもの生きる力をつける。地域の活性化。</p> <p>【プログラム・内容】          子ども達へのソーランの指導と発表</p> <p>【実施場所】          各小学校</p> <p>【実施日または期間】</p> <p>【参加人数】          子ども：70人以上          大人：47人</p>		
3. 活動(事業)の特色づくりのために工夫点	学校の枠を超えて、子ども達を一つにまとめること。		
4. 活動(事業)を進める上で苦勞した点	学校の枠を超えて、子ども達を一つにまとめること。		

団 体 名	宮内地区コミュニティ作り協議会	構成員数	14人
所在地（自治体名）	広島県二日市市		
団体の主な活動			
2. 教育委員会との関係	特になし		
3. 財 源	自治体補助・助成		
4. 具体的な内容	<p>【事業のねらい】  子ども達の居場所づくり  体力測定、ニュースポーツ</p> <p>【実施場所】  小学校、運動場、体育館</p> <p>【実施日または期間】  平成19年7月14日</p> <p>【参加人数】  子ども：20人  保護者：20人  地域住民ボランティア：10人</p>		
3. 活動（事業）の特色づくりのために工夫点			
4. 活動（事業）を進める上で苦労した点			

父親が中心になって活動している団体やグループ等の活動事例調査  
文部科学省「放課後子どもプラン」推進事業

発行 おやじ日本

〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町1-1  
渋谷区役所前駐車場地下1階 TEL/FAX 03-3462-7113

e-mail [desk@oyaji-nippon.org](mailto:desk@oyaji-nippon.org)

URL <http://www.oyaji-nippon.org>